

平成 30 年度神戸市次世代育成支援対策推進行動計画
「新・神戸っ子すこやかプラン」の検証について

神戸市

もくじ

ページ

1	検証の実施について	
(1)	新・神戸っ子すこやかプランの策定	1
(2)	検証の方法	1
2	神戸市の現状について	
(1)	就学前児童の居場所（平成 31 年度）	2
(2)	保育所・認定こども園・小規模保育等定員数・待機児童数の推移	3
3	計画の検証	
(1)	市民（保護者）調査結果	4
(2)	施設利用者調査結果	17
(3)	企業調査結果	58
4	平成 30 年度における主な事業の進捗状況	64
5	地域子ども・子育て支援事業の実績（平成 30 年度）	67
	【別冊】各事業進捗状況	

1 検証の実施について

(1) 新・神戸っ子すこやかプランの策定

平成 24 年 8 月に子ども・子育て関連 3 法が制定され、それに伴い、本市は平成 27 年 3 月に「神戸市子ども・子育て支援事業計画」を策定した。その後、時限立法であった「次世代育成支援対策推進法」がさらに 10 年間延長されたことを受け、「神戸市子ども・子育て支援事業計画」等と一体化した行動計画として、平成 28 年 3 月に「新・神戸っ子すこやかプラン」を策定し、子育て支援を総合的に進めているところである。

(2) 検証の方法

本計画の点検・評価については、各施策の実施状況、各施設・事業の利用実績、利用者アンケートによる市民意見等を把握し、PDCA サイクルに基づいて、毎年度「神戸市子ども・子育て会議」において検証する。

検証の手法としては、国の指針に示されているとおり、計画全体の進捗状況の評価するため、個別事業を束ねた施策レベルと個別事業レベルの進捗状況を点検・評価する。

【施策レベルの指標例】

施策	評価指標
地域における子育て支援	①子育てに関して不安感や負担感を持つ保護者の割合
	②子育てについて、気軽に相談できる人(近所の人・友人)がいる保護者の割合
	③希望した時期に保育サービスを利用することができたと感じる割合
職業生活と家庭生活との両立の推進	④仕事と生活の調和の実現が図られていると感じる割合(希望と現実の差)

施策レベルの成果を段階的に補足する評価指標として、個別事業の「認知度、利用度、達成度(満足度)」の設問を設定

〈調査内容〉

・市民(保護者)アンケート調査

3 歳児健診を受診する児童の保護者を対象に、個別事業・施策の「認知度、利用度、満足度」を調査

・施設利用者アンケート調査

施設利用者を対象に、各施設・施策の「満足度」を調査

[アンケート実施施設]

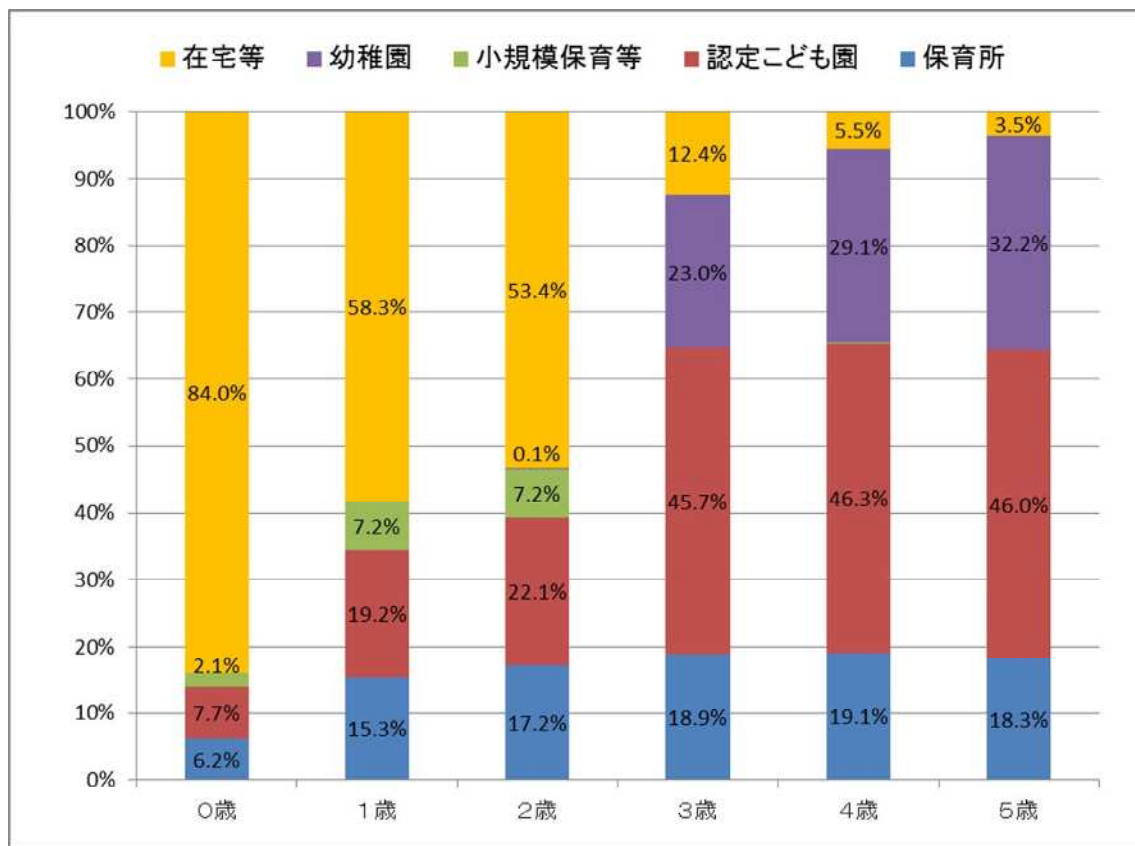
保育所、認定こども園、幼稚園、児童館、大学と連携した子育てひろば、学童保育、一時保育、子育てリフレッシュステイ、病児保育、ファミリーサポートセンター、小規模保育、事業所内保育、家庭的保育

・企業アンケート調査

市内の従業員 101 人以上の企業を対象に、各事業所での子育て支援の取組み状況を調査

2 神戸市の現状について

(1) 就学前児童の居場所（令和元年度）



就学前児童（0～5歳児）の居場所を見てみると、0歳児は84.0%、1～2歳児では、55%前後と在宅での育児比率が高い。3歳児では87.6%が、5歳児になると96.5%が幼稚園・認定こども園・保育園へ入所している状況である。

(2) 保育所・認定こども園・小規模保育等定員数・待機児童数の推移



保育所・認定こども園・小規模保育等定員数と待機児童数の平成 17 年度から平成 30 年度までの推移をみると、平成 26 年度の約 2,500 人分の保育枠の拡大に伴い、平成 27 年 4 月の待機児童数は 13 人と前年に比べ大幅に減少した。しかし、女性の就労機会の増加などを背景に保育所等の利用希望者数は増加傾向にあり、平成 31 年 4 月の待機児童数は、217 人という結果となった。

保育所等の利用希望者は、今後も増加することが見込まれるため、今年度もさらに保育枠を確保する予定である。

3 計画の検証

1 市民（保護者）調査結果

(1) 調査方法

3歳児健診を受診する児童の保護者に対し、問診票に調査票を同送し、健診の場で回収

(2) 調査期間

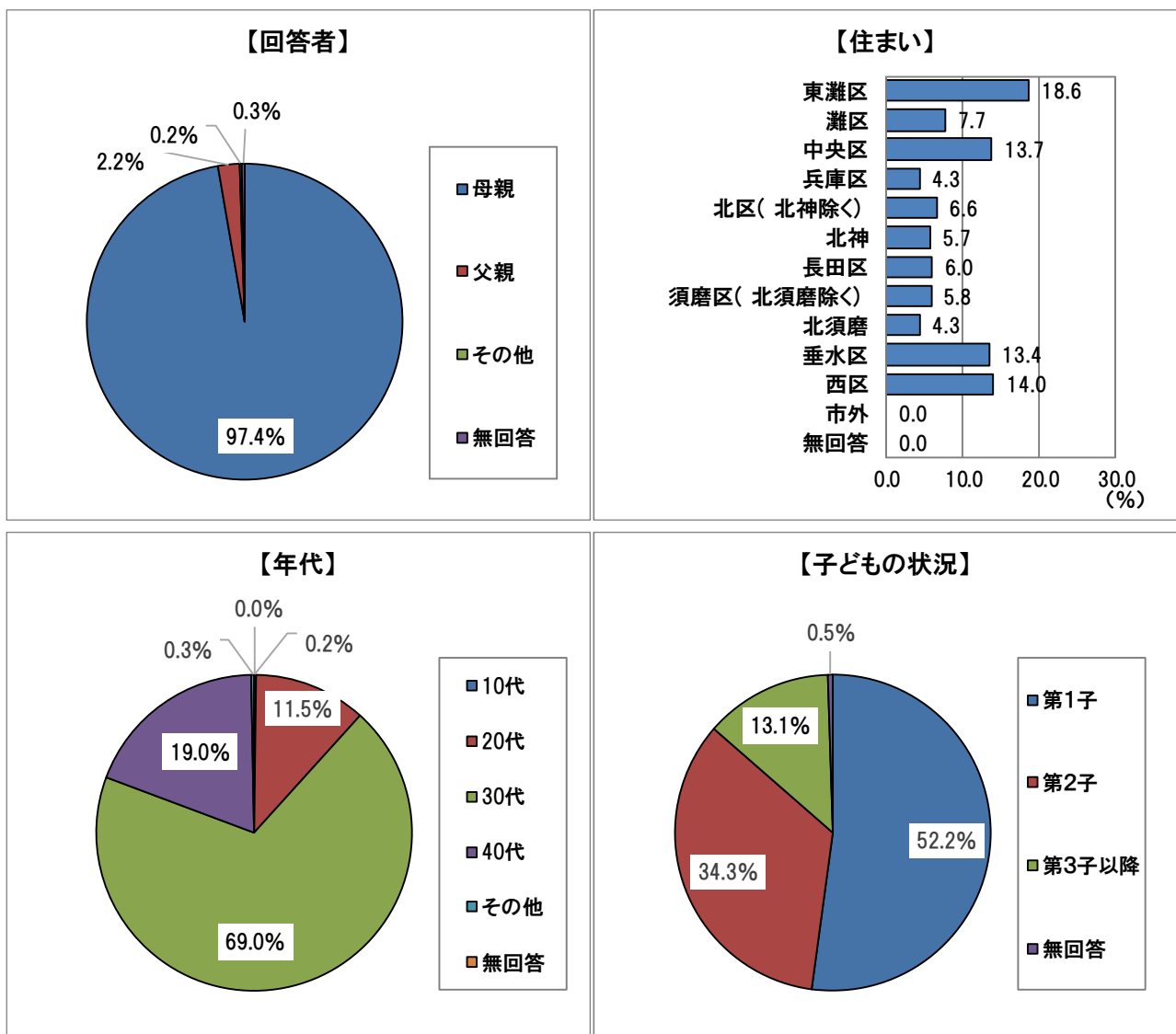
令和元年7月

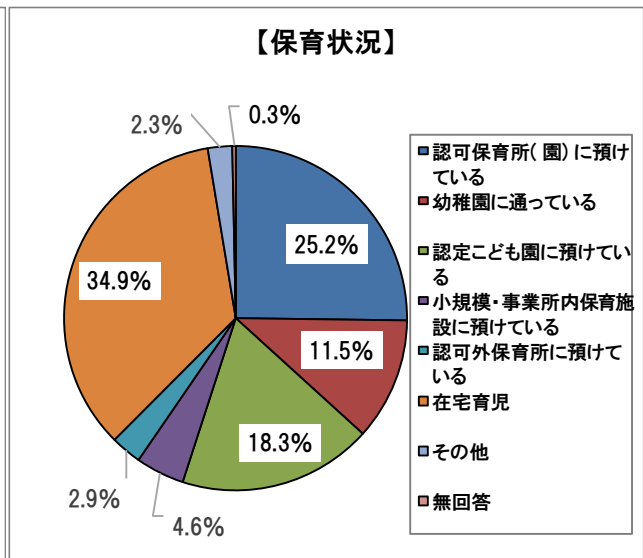
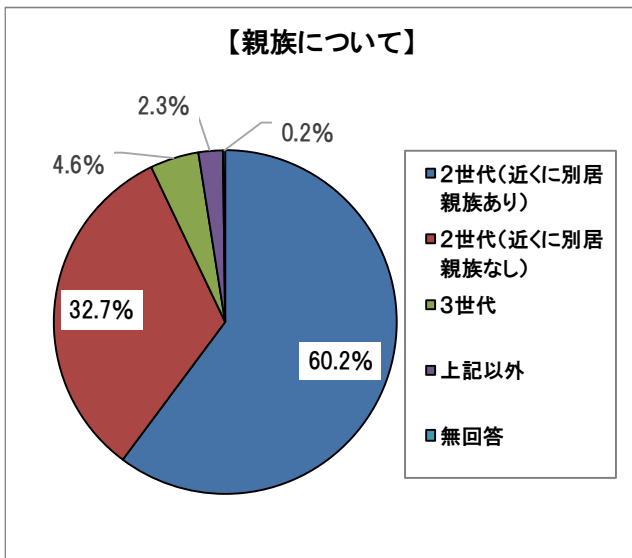
(3) 配布等

1. 配布数 1,089 セット
2. 回収数 651 サンプル
3. 回収率 59.8%

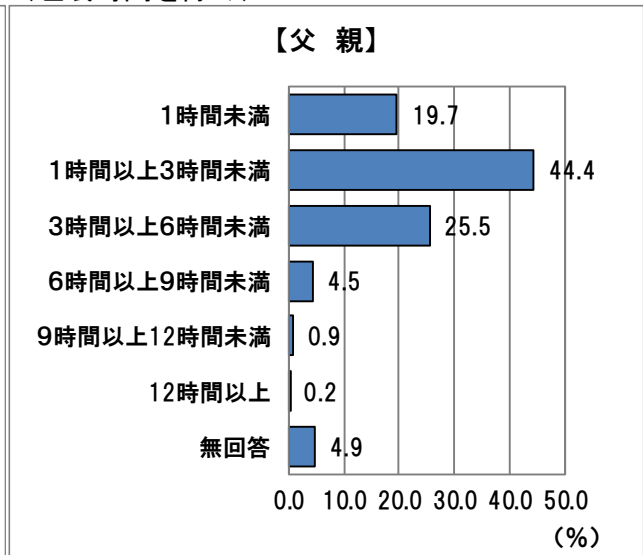
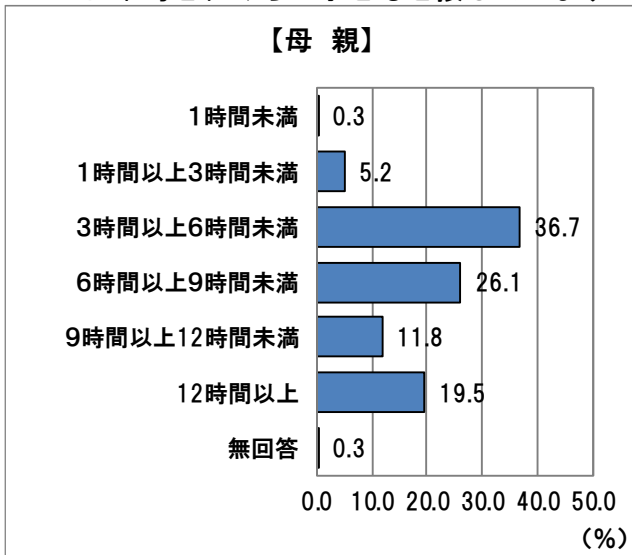
(4) 調査結果

1. 回答者属性

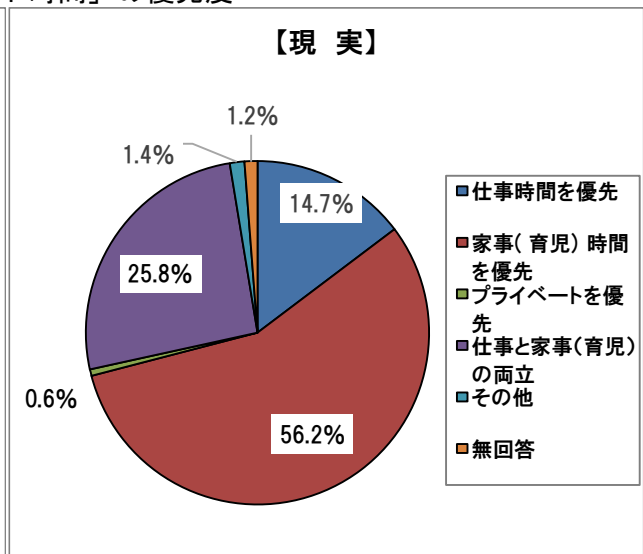
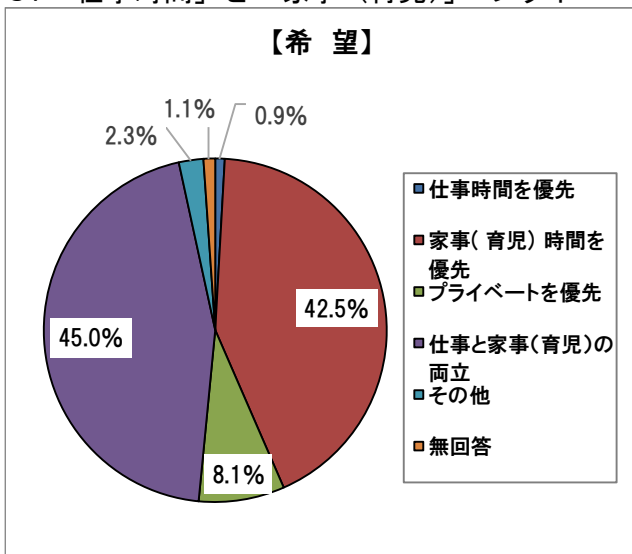




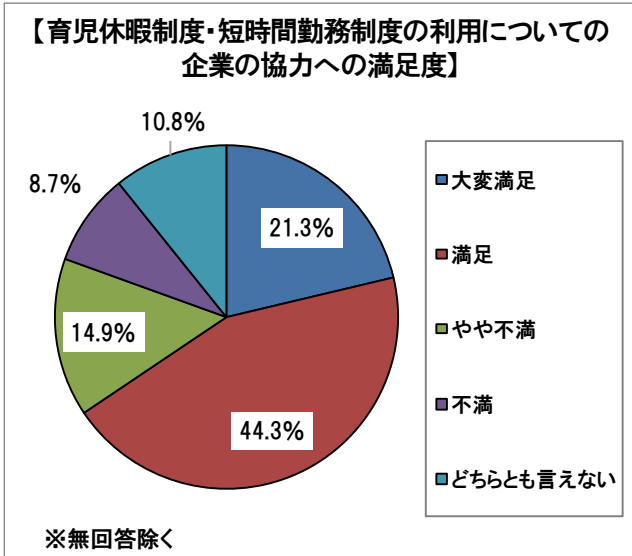
2. 1日平均どれくらい子どもと接していますか (睡眠時間を除く)



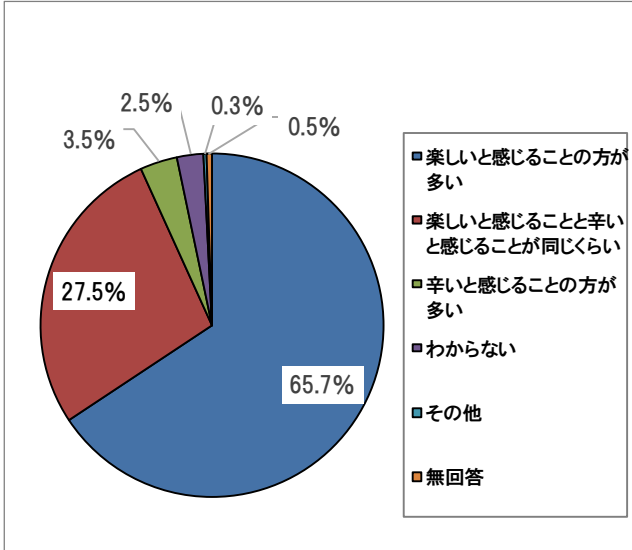
3. 「仕事時間」と「家事(育児)」「プライベート時間」の優先度



4. 育児休暇制度・短時間勤務制度の利用について、職場は協力的か。



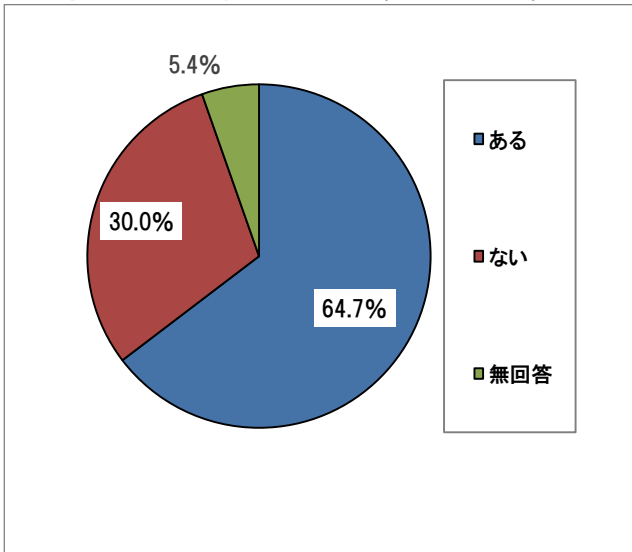
5. 子育てを楽しんでいると感じることが多いかどうか



【特にどういう時に辛いと感じるか】

- ・一人の時間が持てない、時間に追われる、思い通りに物事が進まないとき (33件)
- ・子どもが言うことを聞かないとき (23件)
- ・子どもがぐずっている、大声で泣いているとき (14件)
- ・一人で育児しているとき (10件)
- ・自分の体調が悪いとき (9件)
- ・子どもの機嫌が悪いとき (5件)
- ・その他、子どもに対してイライラしてしまうときなど (38件)

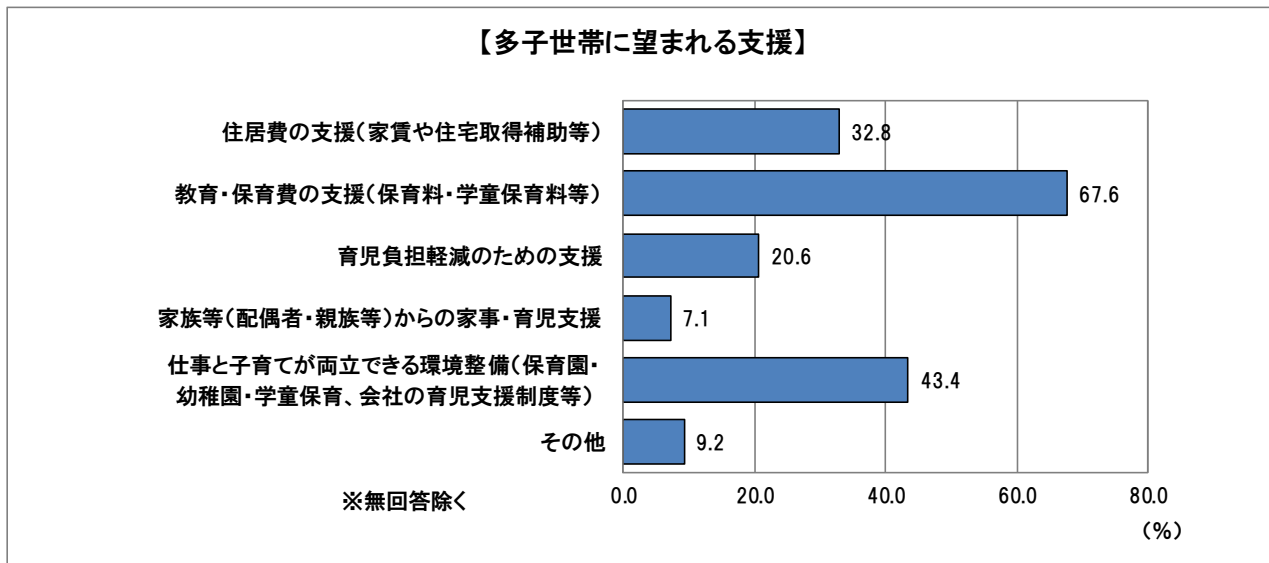
6. 子どもとの外出のときに困ること・困ったことがあるか



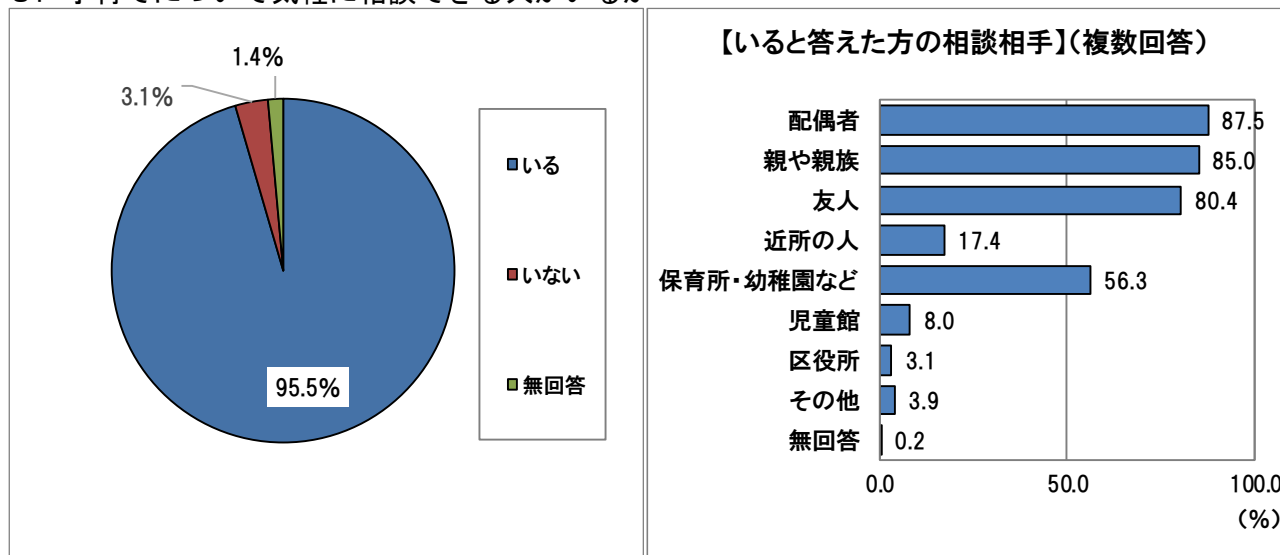
【何に困る・困ったか】

- ・エレベーターの未設置、設置場所が遠い、ベビーカーでの乗り入れなど移動に関する利便性が悪いこと (163件)
- ・子ども用、親子共同トイレが少ない、和式トイレしかない、女子トイレが混んでいる (150件)
- ・子ども連れで利用できる飲食店等が少ない (30件)
- ・その他、外出先や公共交通機関での子どもの迷惑行為が心配など (73件)

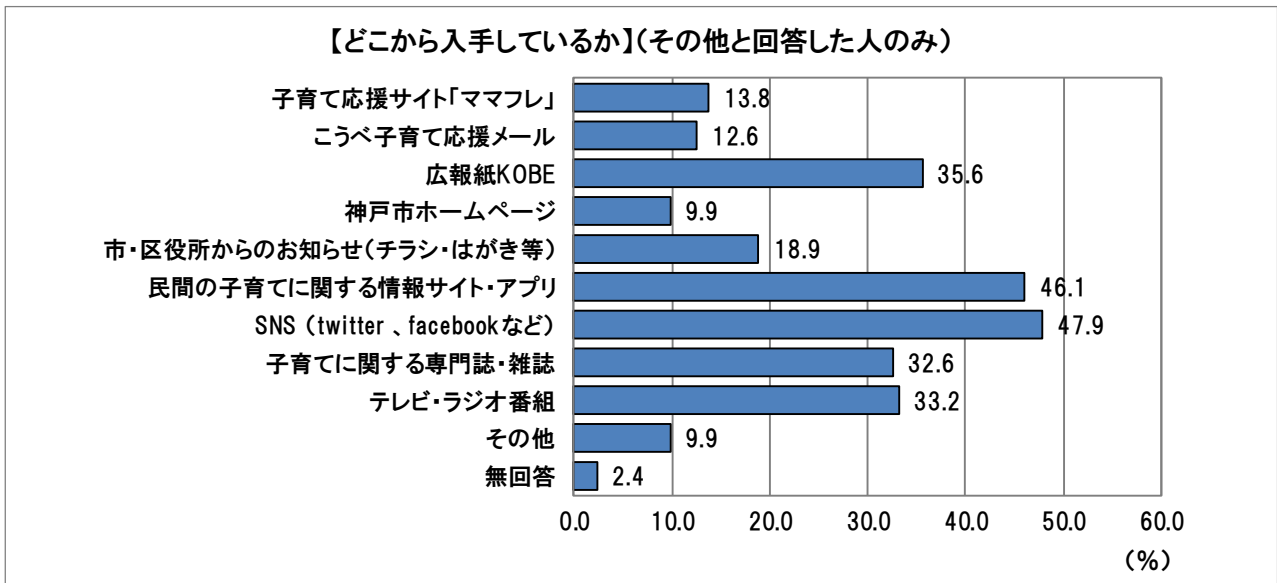
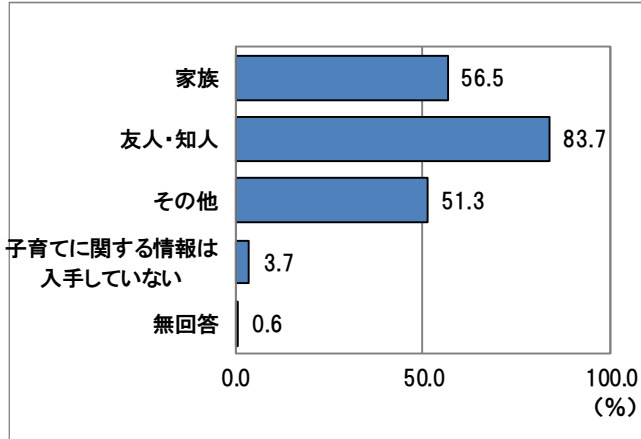
7. 多子世帯に望まれる支援



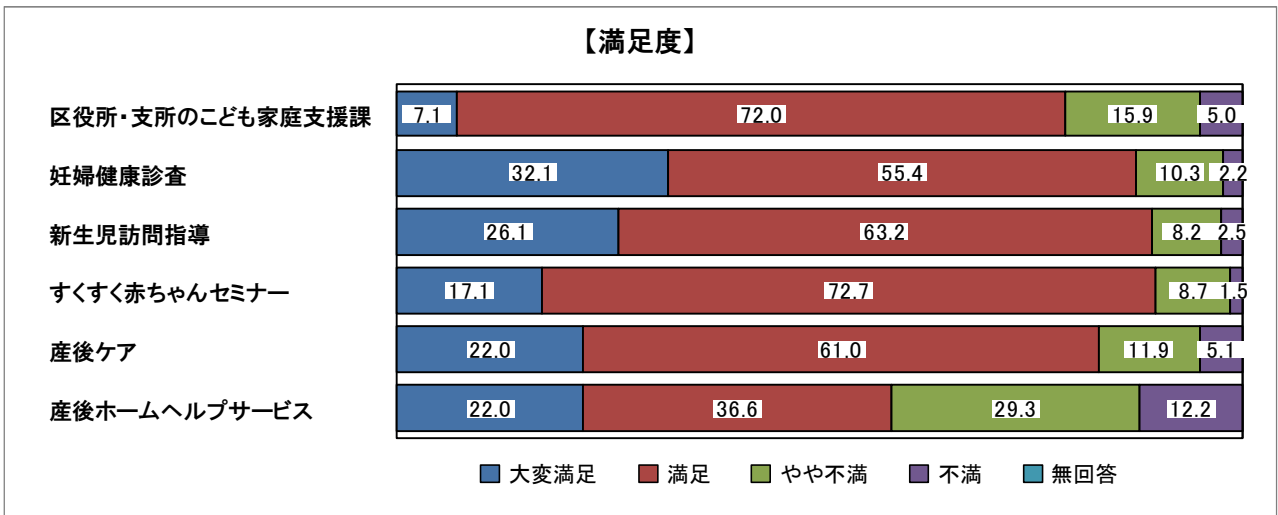
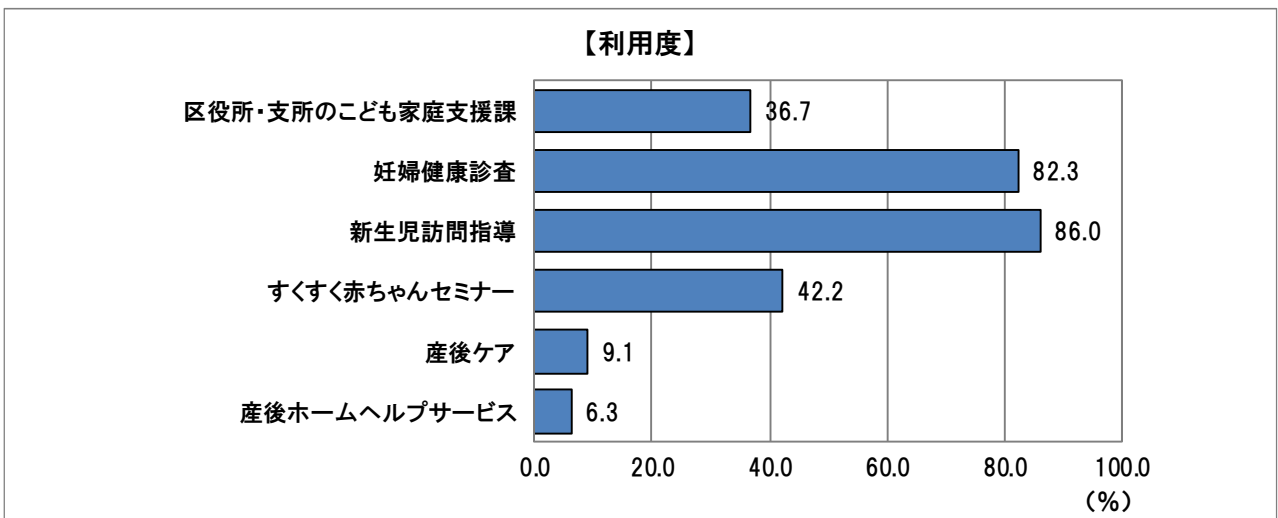
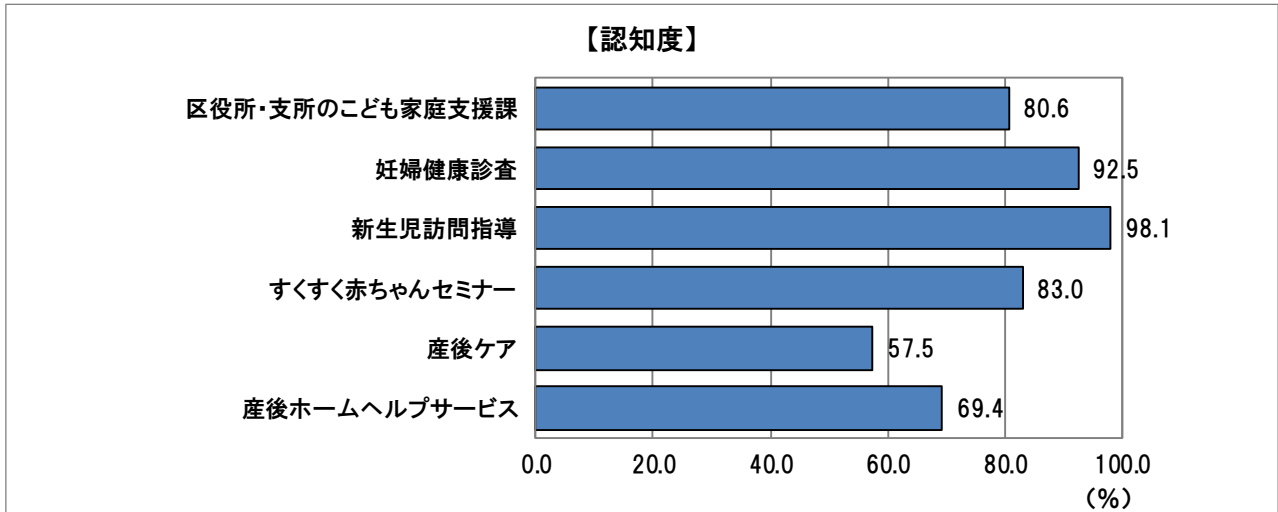
8. 子育てについて気軽に相談できる人がいるか



9. 育児に関する情報についてどこから入手しているか

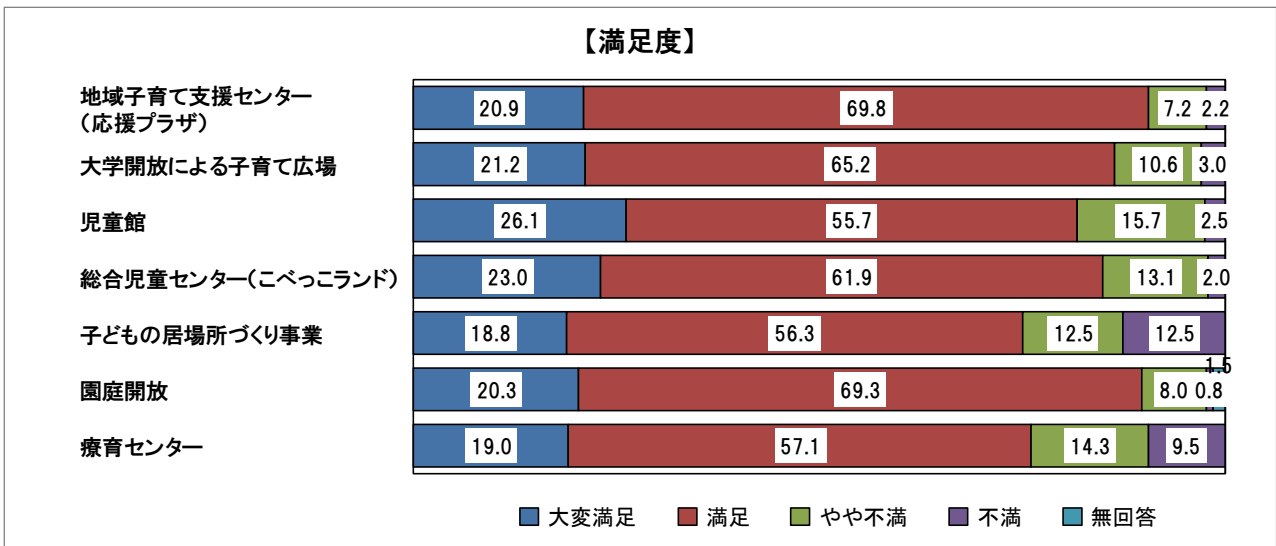
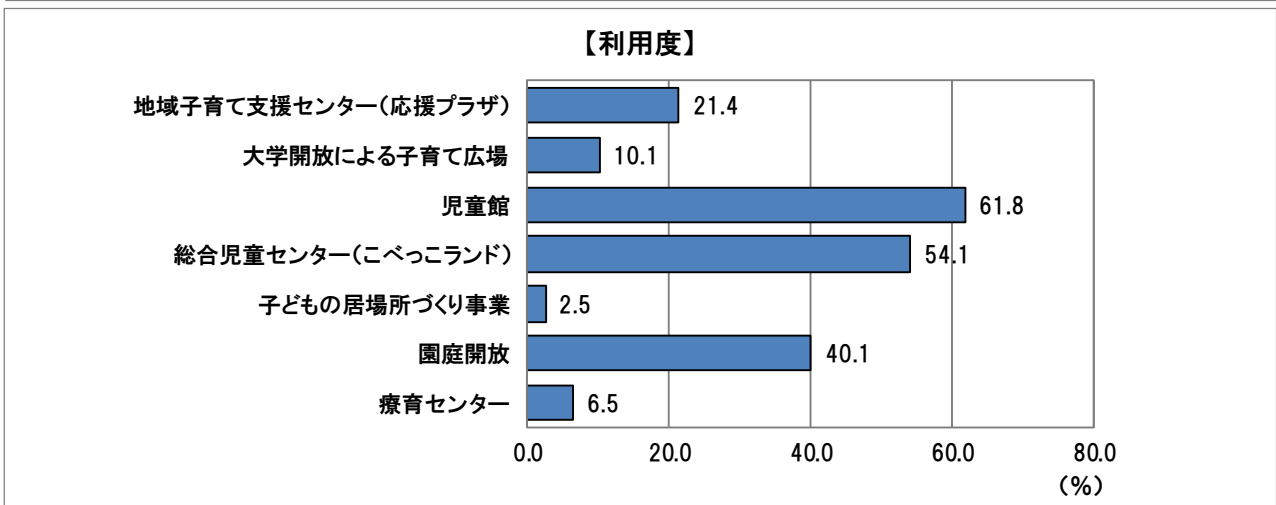
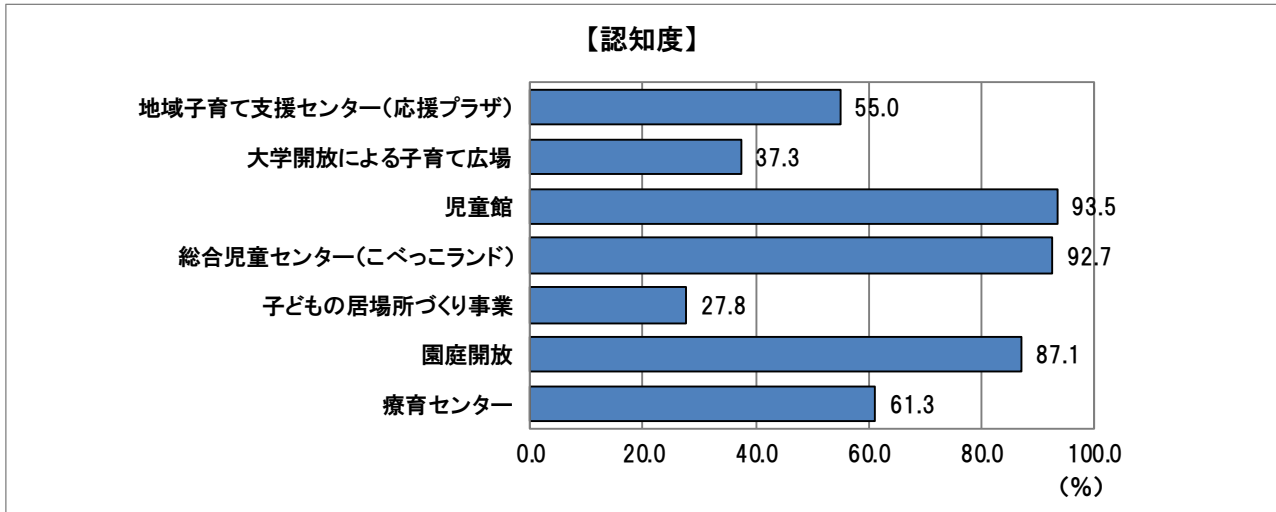


10. ①母子保健事業の認知度、利用度、満足度



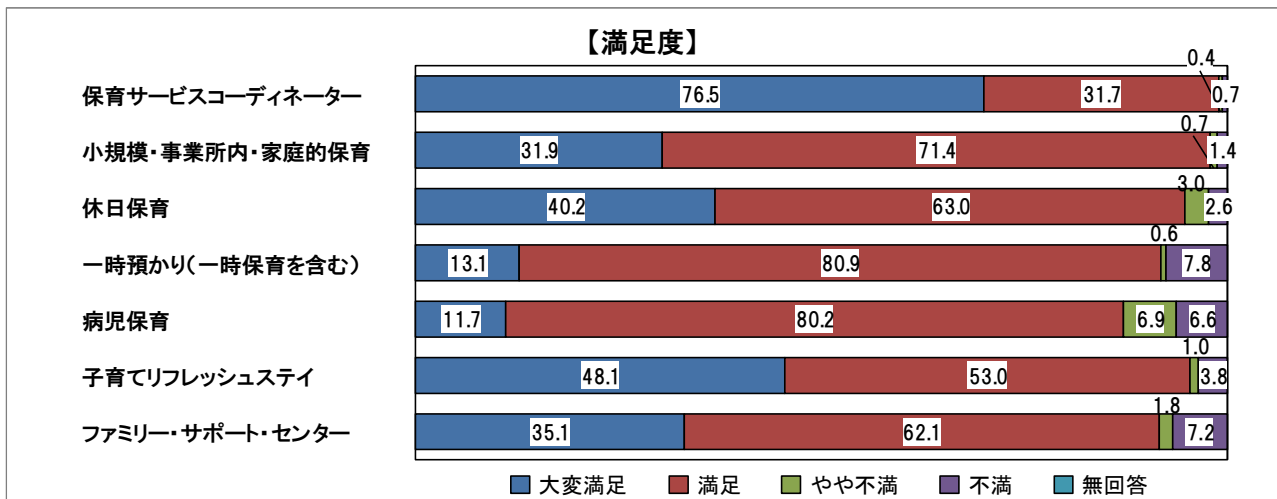
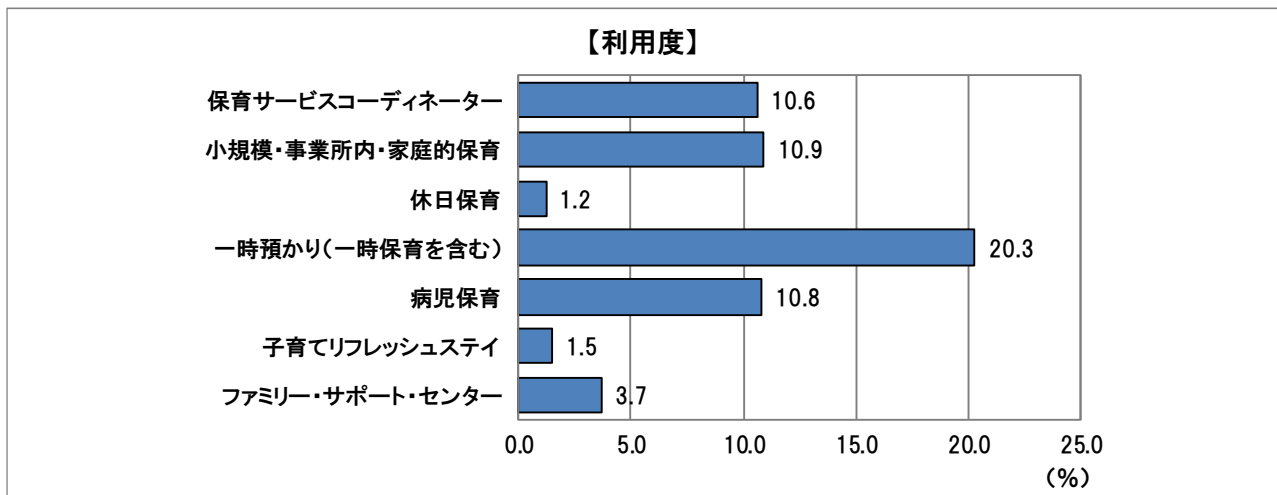
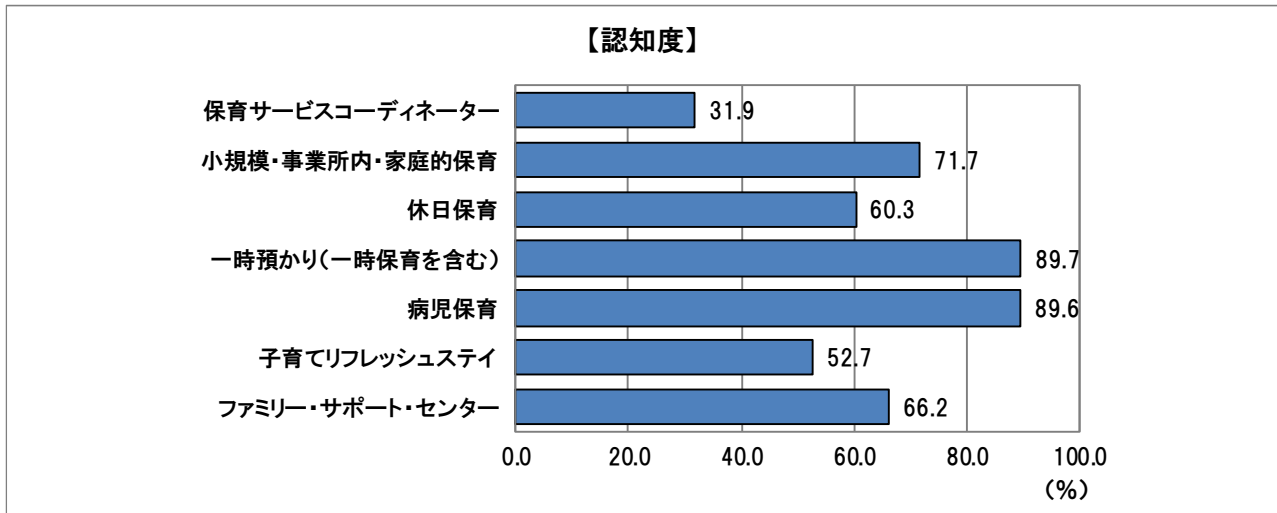
事業名	「やや不満」「不満」と回答した理由（抜粋）
区役所・支所のこども家庭支援課	・ 職員によって対応が違う。
妊婦健康診査	・ もう少し助成してほしい。 ・ 全額無料にしてほしい。
新生児訪問指導	・ 必要性を感じない。 ・ 保健師または助産師の対応が悪い。
すくすく赤ちゃんセミナー	・ 小人数制にしてほしかった。
産後ケア	・ 対応が悪かった。
産後ヘルプサービス	・ 手続きが面倒だった。 ・ 時間、回数が限られていた。

11. ①地域子育て支援事業の認知度、利用度、満足度



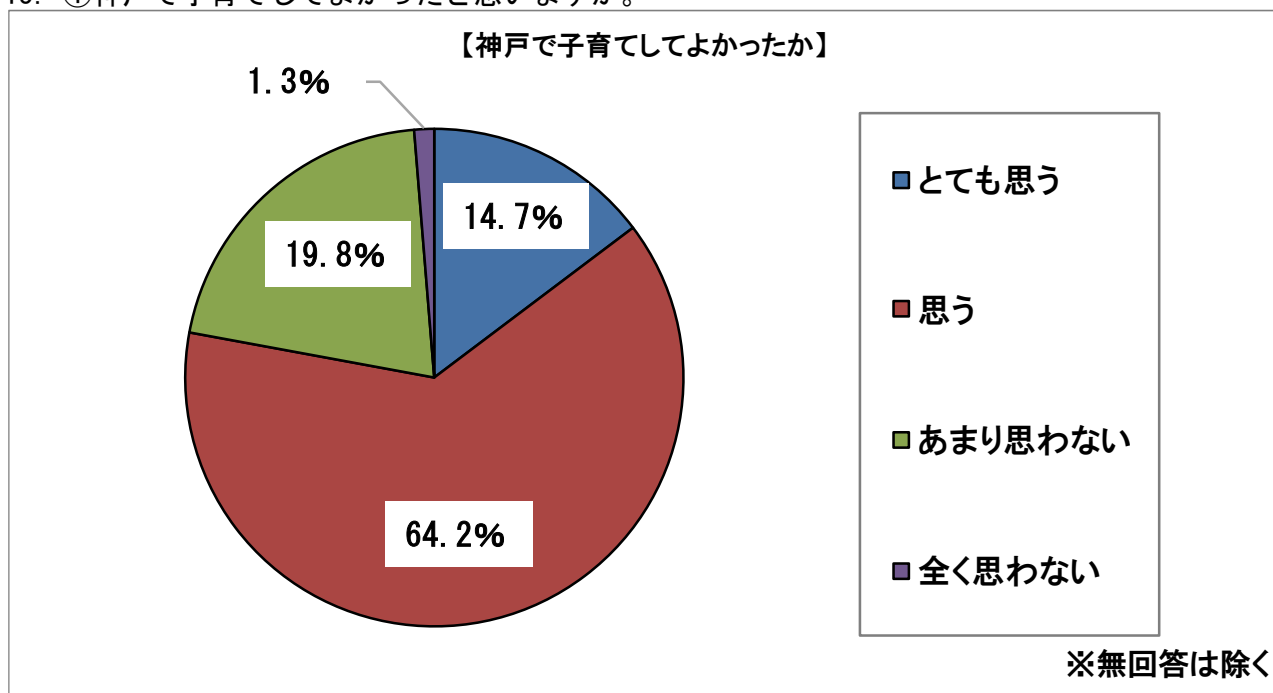
事業名	「やや不満」「不満」と回答した理由 (抜粋)
地域子育て支援センター	・ 参加人数を増やして欲しい。
大学開放による子育て広場	・ 遠くて不便だった。
児童館	・ プログラムを充実させてほしい。 ・ 初めての人が利用しづらい。
総合児童センター(こべっこランド)	・ 施設を広くしてほしい。 ・ 小さな子供が安全に遊べない。
園庭開放	・ 時間や回数が少ない。
療育センター	・ 予約がとれない。

12. ①保育サービスの認知度、利用度、満足度

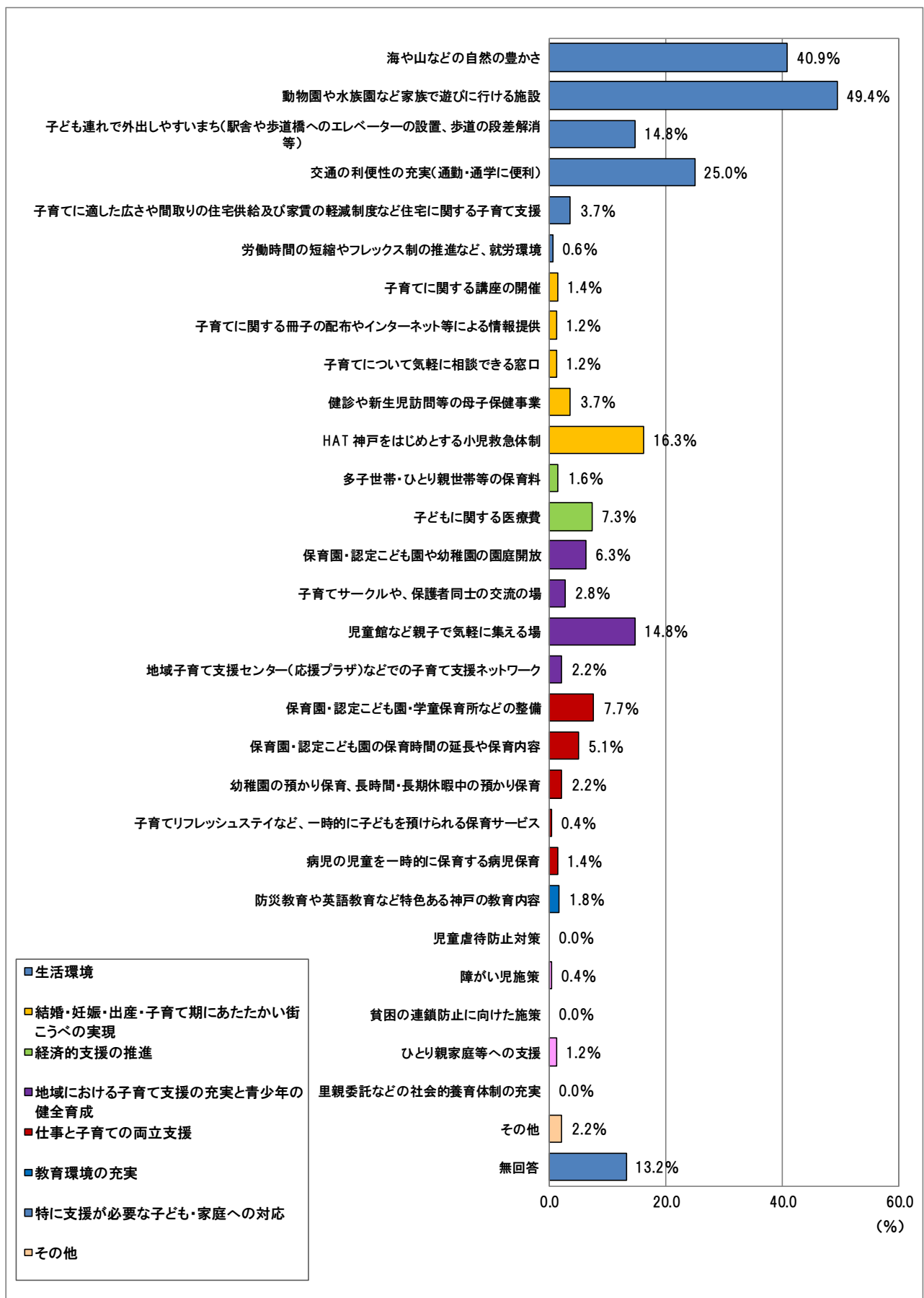


事業名	「やや不満」「不満」と回答した理由（抜粋）
保育サービスコーディネーター	・ 職員によって対応にむらがある。
小規模・事業所内・家庭的保育	・ 転園が困難。
休日保育	・ 実施している保育園数が少なく、受入人数も少ない。
一時預かり(一時保育を含む)	・ 利用枠が少なく、利用料が高い。
病児保育	・ 定員が少ない。予約がとれない。
子育てリフレッシュステイ	・ 預かりの人数を増やしてほしい。
ファミリー・サポート・センター	・ 登録までが面倒。 ・ 利用しづらい。サポーターとの調整が困難。

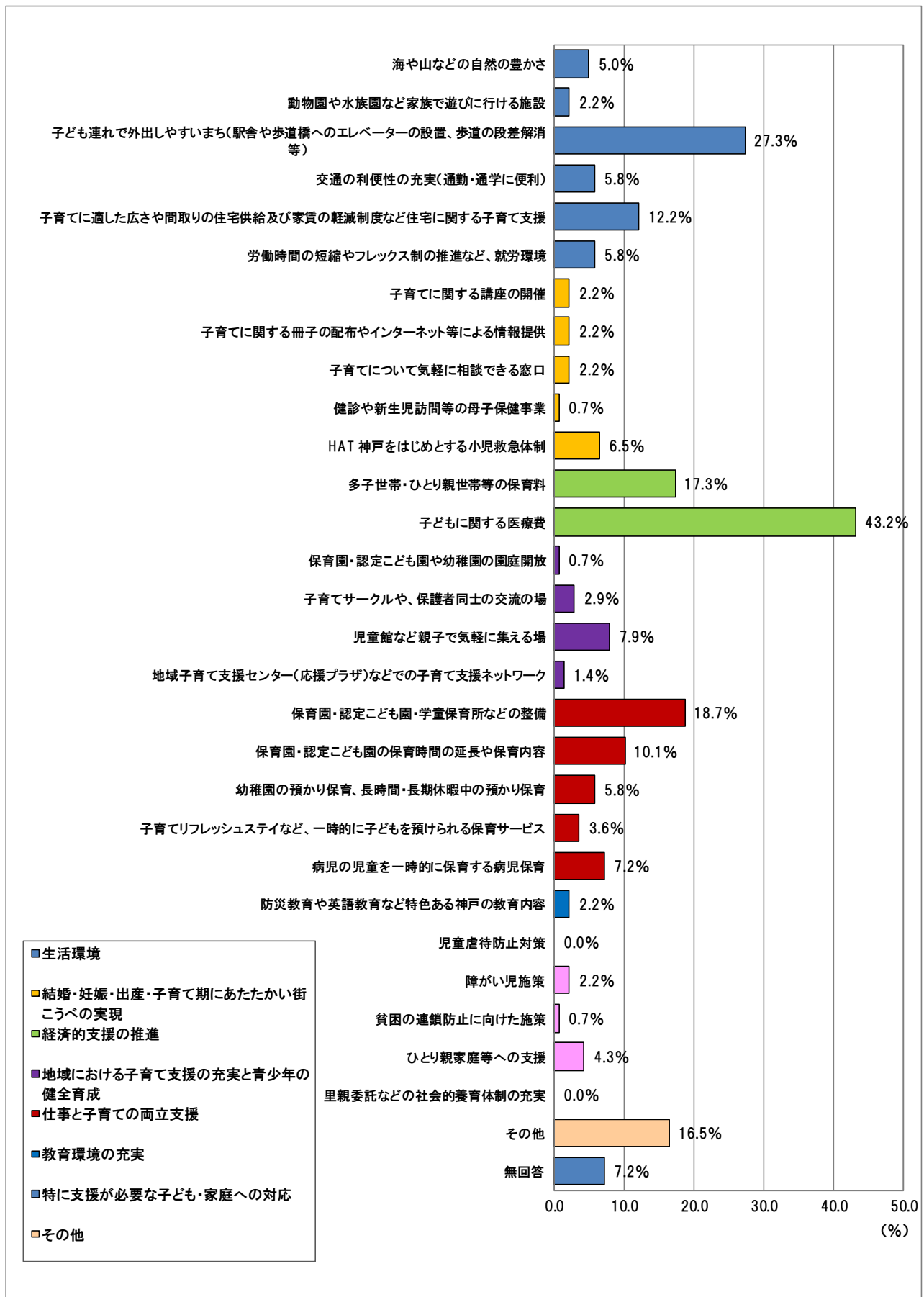
13. ①神戸で子育てしてよかったと思いますか。



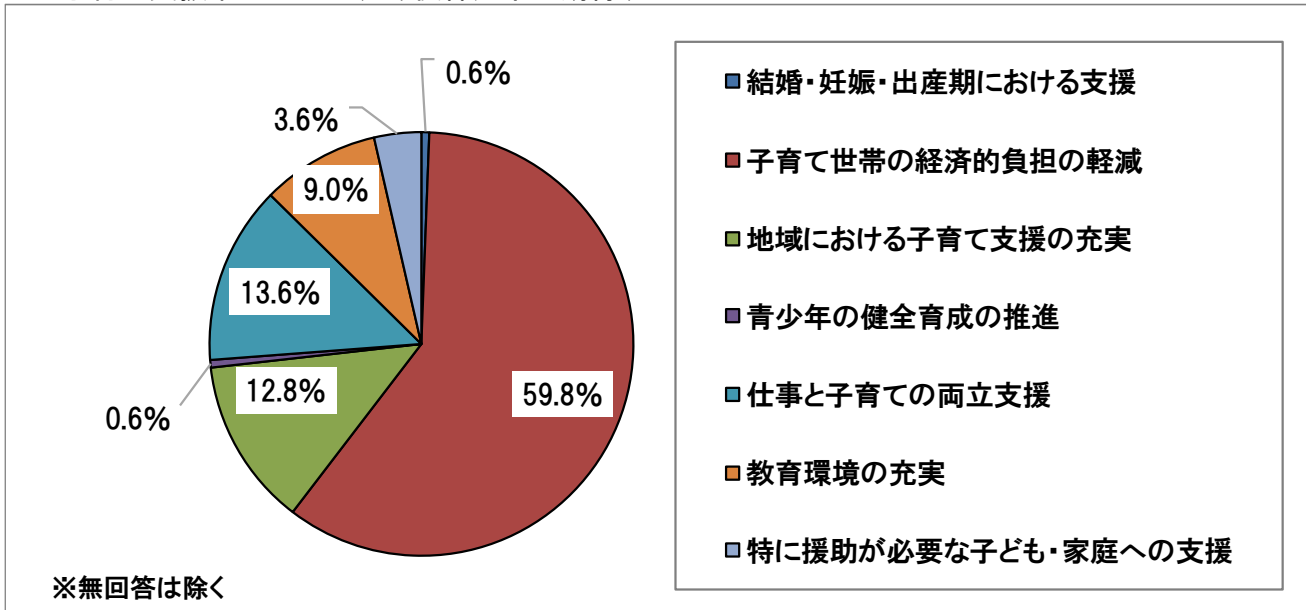
14. ②「とても思う」「思う」とお答えの方 具体的にどのようなところが良かったと思いますか。
(3つまで回答)



15. ③「あまり思わない」「全く思わない」とお答えの方は、具体的にどのようなところが良くないと思いますか。（3つまで回答）



16. 子育て支援策について、今後神戸市に期待すること



17. 神戸市の子育て支援についての自由意見【217件】(抜粋)

こども医療費など (71件)	
	助成費の拡大または無料にしてほしい。
	助成対象年齢を上げてほしい。
教育環境の充実 (26件)	
	塾や習い事ありきでなく、最低ラインを底上げするような教育をしてほしい。
	学力向上には特に力を入れ、学ぶ楽しさを教えてほしい。
誰もが暮らしやすいまちづくり (25件)	
	公共施設(公園・道路・駅など)の整備をしてほしい。
	屋内スポーツをする場所が少ないので、小・中学校の体育館をもっと開放してほしい。
仕事と子育ての両立 (17件)	
	仕事と育児の両立の難しさを学ぶ父親の育児参加推進のための事業を増やしてほしい。
	小規模保育施設卒園後の預け先を増やしてほしい。
	病児保育の受診システム、予約システムについて一度考えて頂きたいです。
学童・児童館 (14件)	
	夏休み等、地域の福祉センター等で宿題したり、お弁当を食べたり遊べる場がほしい。
	子どもを見てくれる保育園や学童保育を充実させてほしい。
子育て施設等の充実 (9件)	
	子どもの居場所づくり事業を充実させてほしい。
	各地区に気軽に参加できる交流コミュニティがあるといい。
保育料など (8件)	
	児童手当や保育料など助成に所得制限をなくしてほしい。
	多子世帯の経済負担をもう少し減らして欲しいです。
母子保健の充実 (8件)	
	子どもをたくさん産むメリットがあったほうがいいと思う。
	育児に関する情報は市のホームページなどで入手できるようにしてほしい。
子育て情報発信 (4件)	
	情報も各施設に電話しないとわからないので、区役所で情報を把握しておいてほしい。
	子育て世帯が利用できる市が支援のお知らせが家庭に届いたらいいと思います。
小児救急医療体制 (3件)	
	初期急病センターが遠すぎて、利用するのは困難な場合がある。
特に支援が必要な子ども・家庭への対応 (2件)	
	障がい児のリハビリ施設や学校、保育施設を増やし、障がい児の保護者の仕事と子育ての両立ができる支援があればいい。
その他 (30件)	
	新規で政策を増やすよりも、現状の政策をより手厚い内容にしてほしい。
	住民に寄り添った政策に転換してほしい。

2 施設利用者調査結果

(1) 調査時期

令和元年6月

(2) 調査対象

原則、各事業につき、実施箇所全施設を対象

①保育所

各施設12名を無作為抽出し、該当児童の保護者を対象に実施

②認定こども園

各施設12名を無作為抽出し、該当児童の保護者を対象に実施

③幼稚園

公立4名・民間6名を無作為抽出し、該当児童の保護者を対象に実施

④児童館

各施設20～40名の保護者を対象に実施

⑤大学と連携した子育てひろば

調査期間中の利用者30名を対象に実施

⑥学童保育

各施設5名を無作為抽出し、保護者、子どもを対象に実施

⑦一時保育

各施設、調査期間中の利用者8名を対象に実施

⑧子育てリフレッシュステイ

各施設、調査期間中の利用者10名を対象に実施

⑨病児保育

調査期間中の利用者30名を対象に実施

⑩ファミリー・サポート・センター

依頼会員（両方会員含む）から300名を無作為抽出し、実施

⑪小規模保育 ⑫事業所内保育 ⑬家庭的保育

各施設、調査期間中の利用者6名（5名未満の施設についてはその人数）を対象に実施

I 保育所

(1) 調査方法

公立保育所 57 箇所及び私立保育所 57 箇所計 114 箇所を通じて、保育所ごとに各年齢 2 名ずつ無作為抽出した子どもの保護者を対象に配布し、郵送で回収。

(2) 調査期間

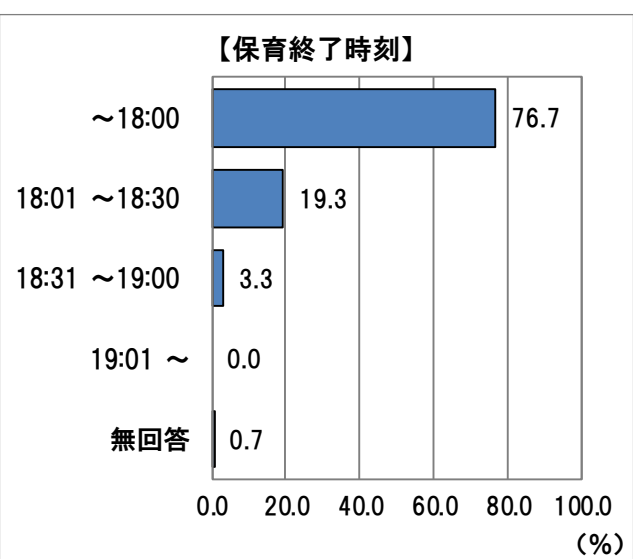
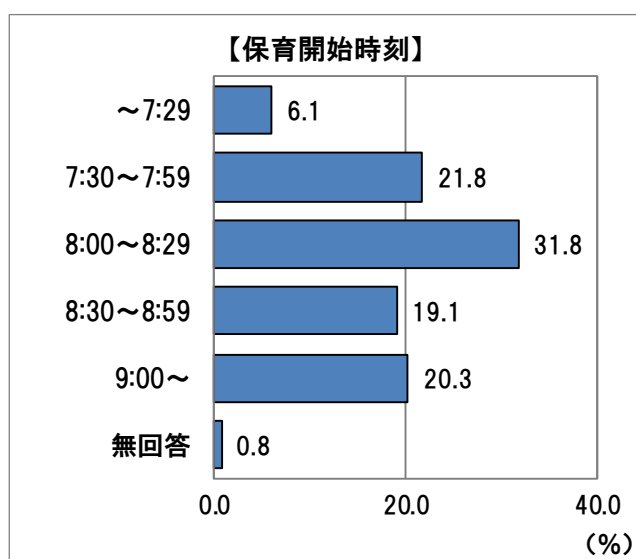
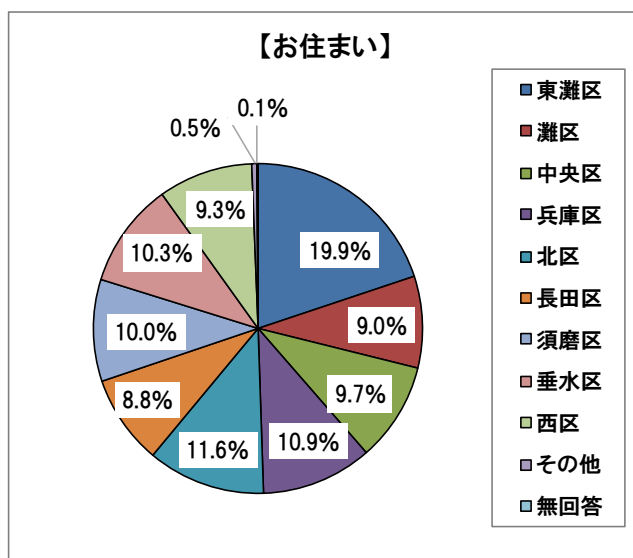
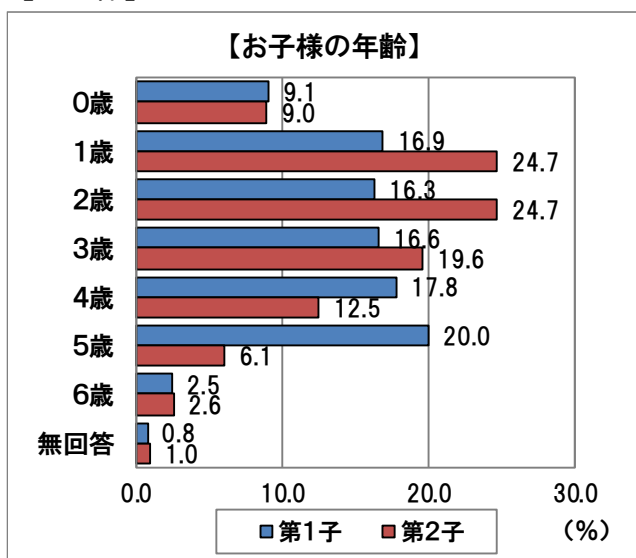
令和元年 6 月

(3) 配布等

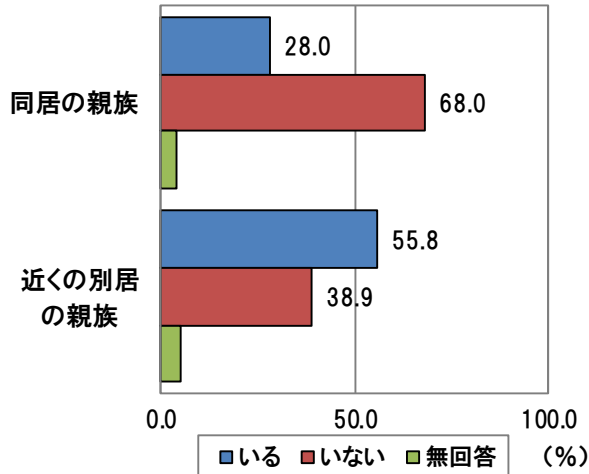
- ①配布数 1,257 セット (公立 : 612 私立 : 645)
- ②回収数 880 サンプル (公立 : 440 私立 : 440)
- ③回収率 70.0% (公立 : 71.9% 私立 : 68.2%)

(4) 調査結果

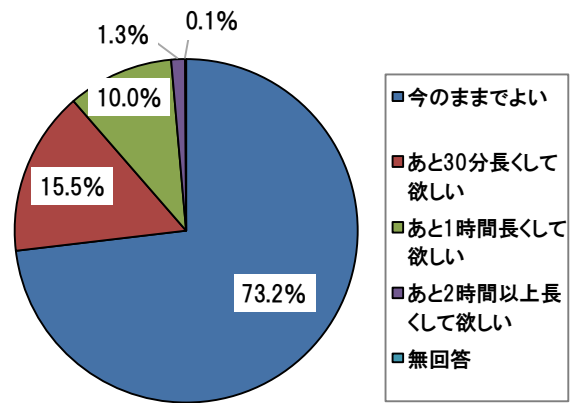
【全 体】



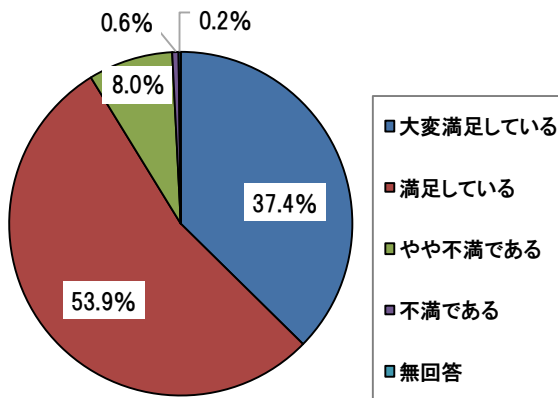
【同居の親族・近くの別居の親族の有無】



【保育時間についての希望】

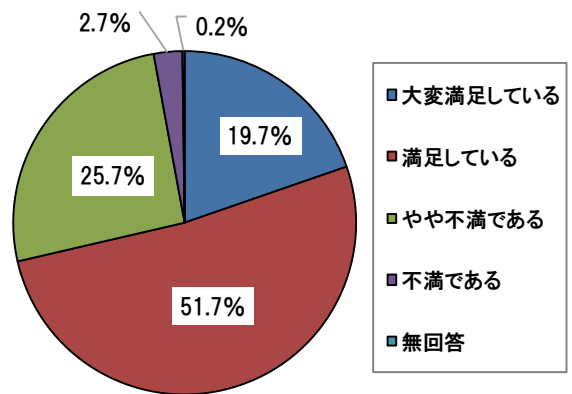


【保育内容全般について】



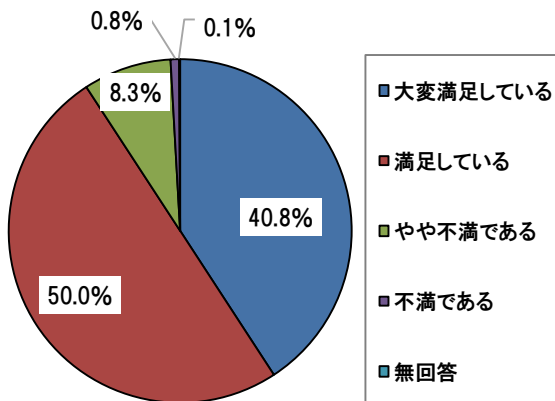
※「やや不満」「不満」の理由
 ・園でどう過ごしているかがわからない
 ・保育士の数がたりない
 ・外遊びが少ない など

【建物や園庭などの施設について】



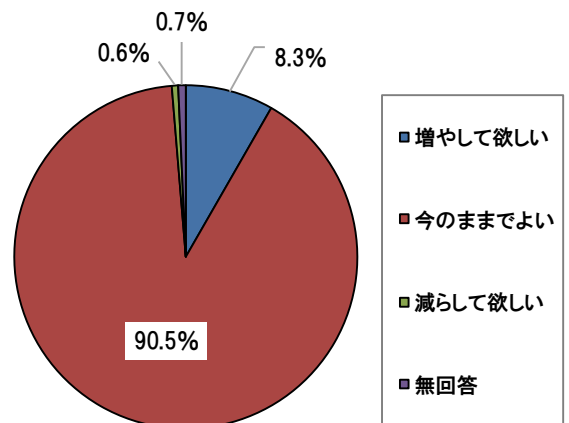
※「やや不満」「不満」の理由
 ・園庭が狭い
 ・駐車場がない、狭い
 ・教室が狭い
 ・雨の日の施設の不十分さ など

【職員の対応について】

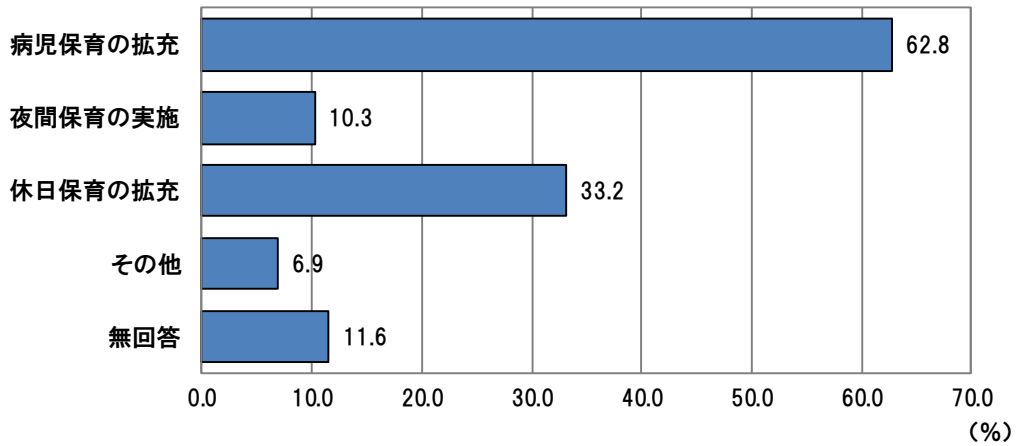


※「やや不満」「不満」の理由
 ・先生の言葉遣い
 ・情報が共有化されていない
 ・新人の方が多く、やや不安 など

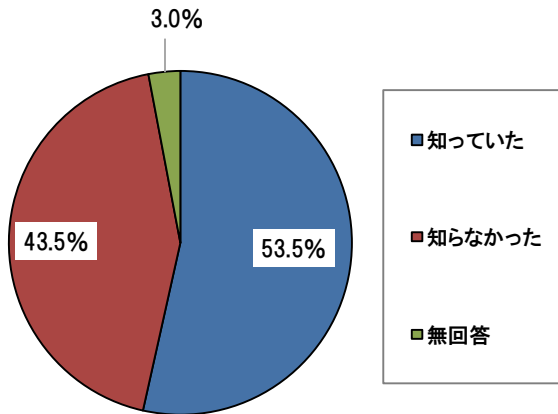
【地域の親子との交流について(園庭開放など)】



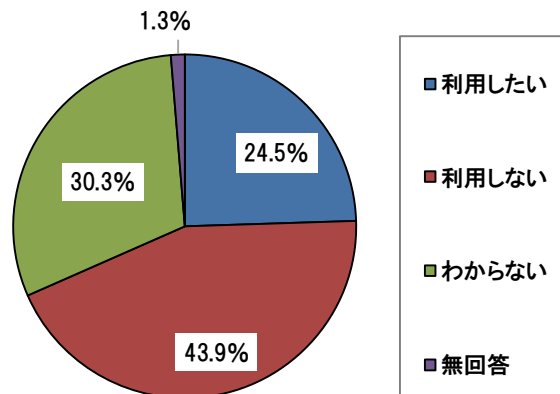
【特に充実してほしい支援策】



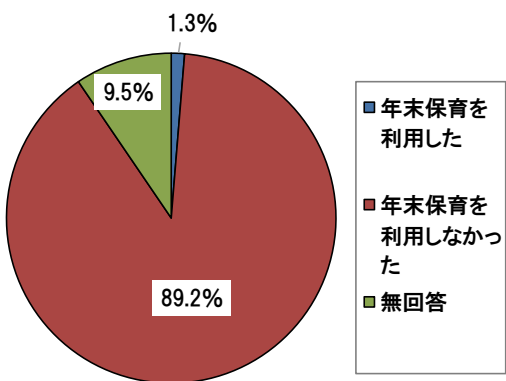
【年末保育の認知度】



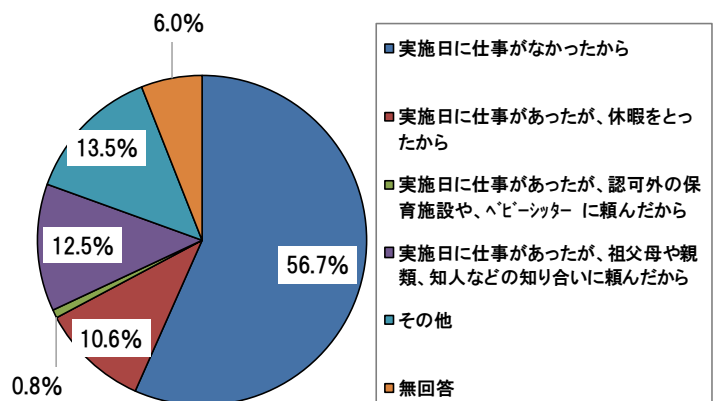
【年末保育の今後の利用意向】



【年末保育の利用状況】



【年末保育を利用しなかった理由】



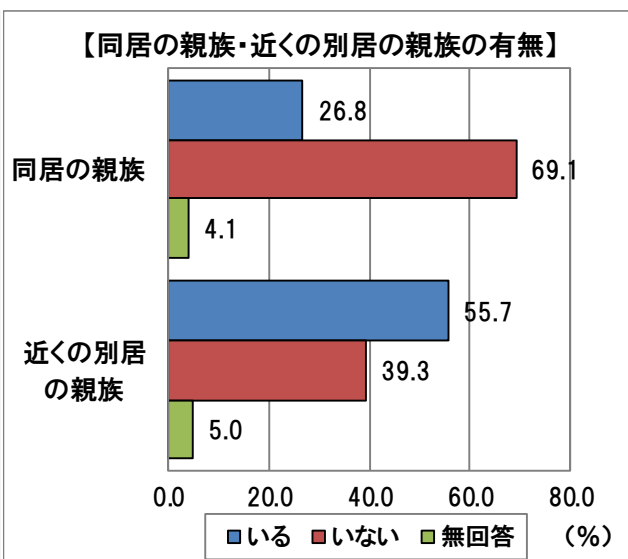
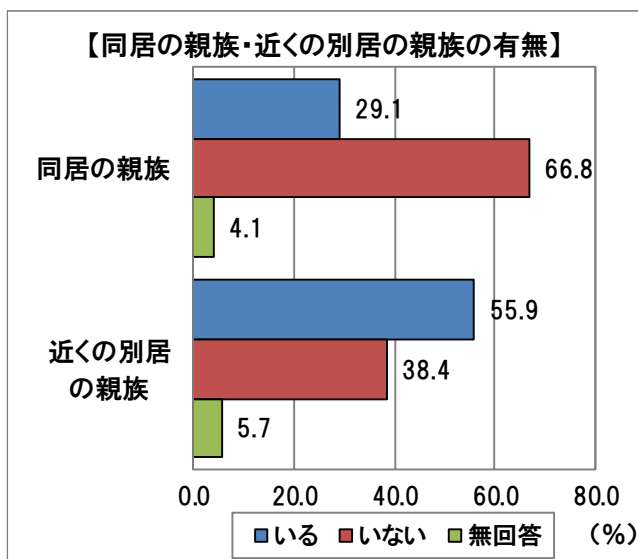
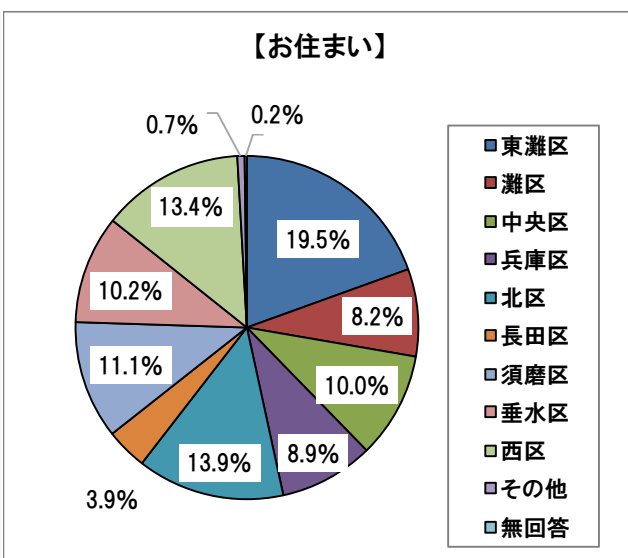
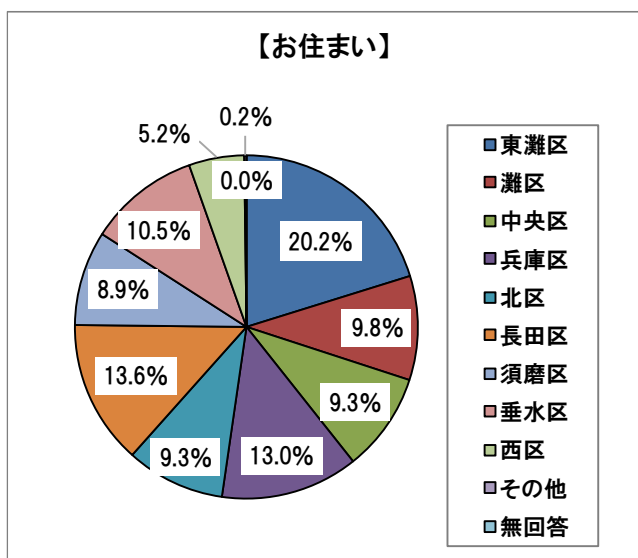
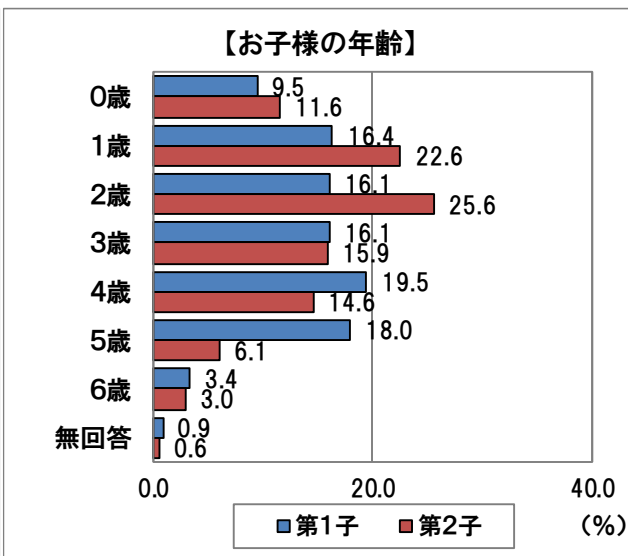
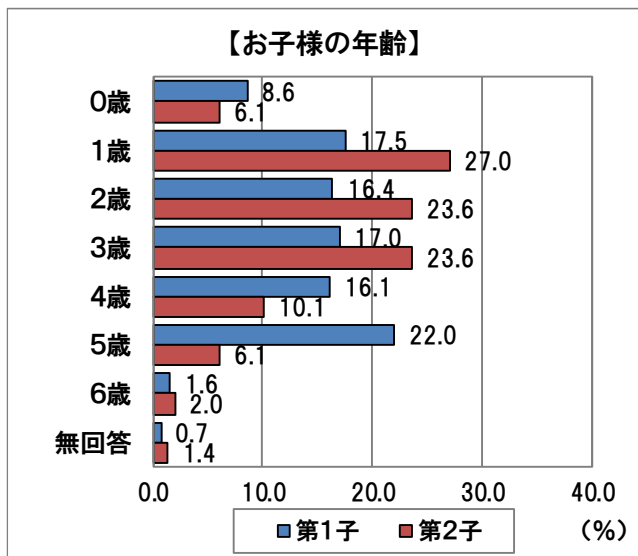
【自由意見】 130 件

人員体制を充実させ、保育の質を上げてほしい	47 件
土日祝の休日保育を充実してほしい	19 件
設備が古いので改善してほしい	17 件
保育料を減額または免除してほしい	15 件
他	

【保育所についての公設民設別アンケート結果】

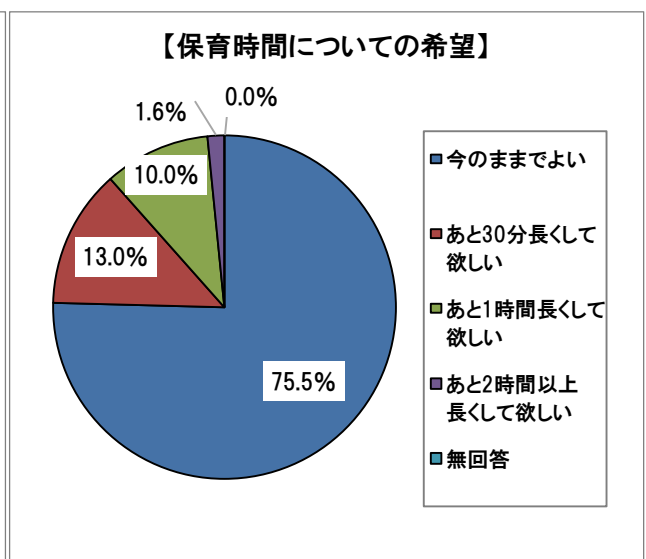
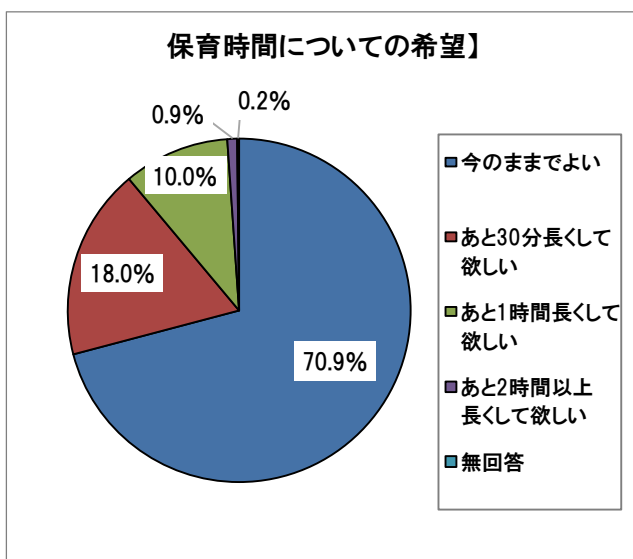
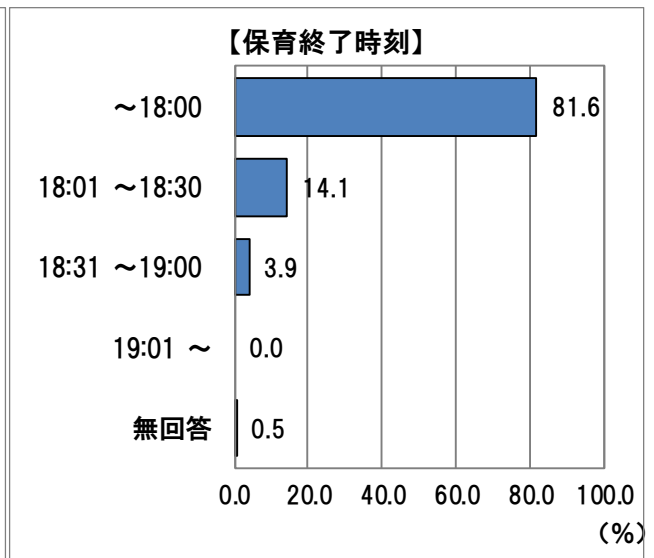
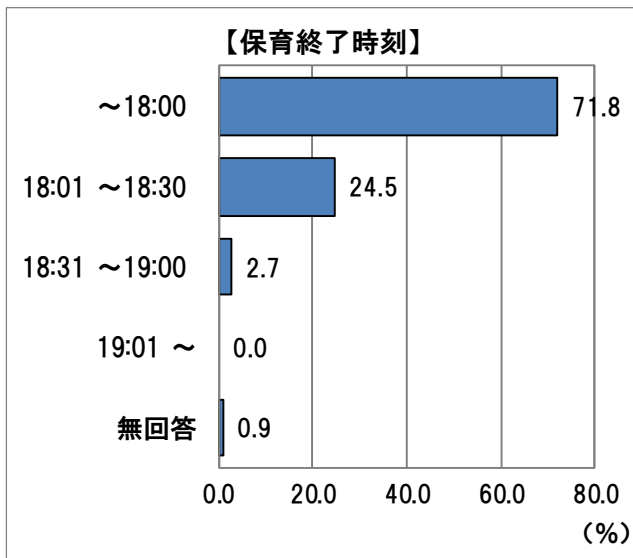
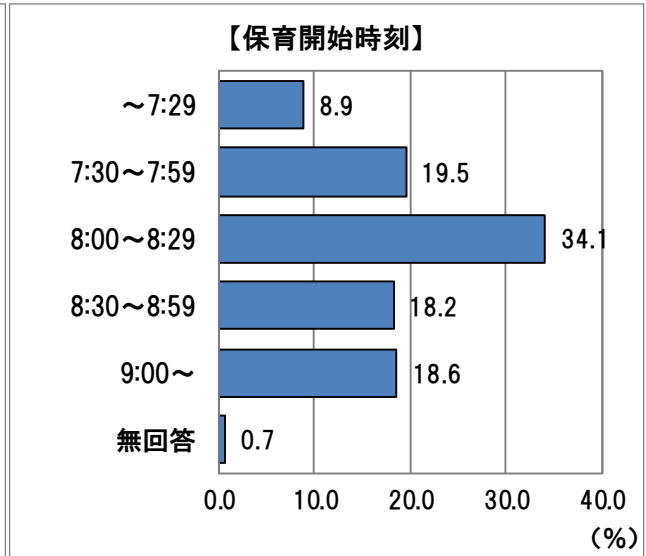
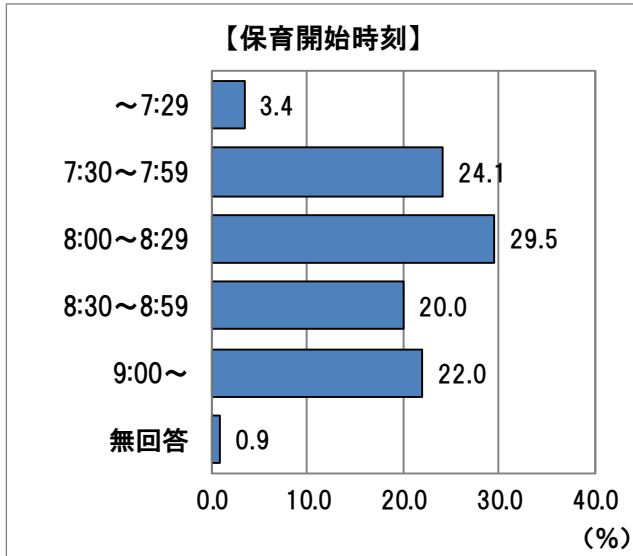
【公設】 n = 440

【民設】 n = 440



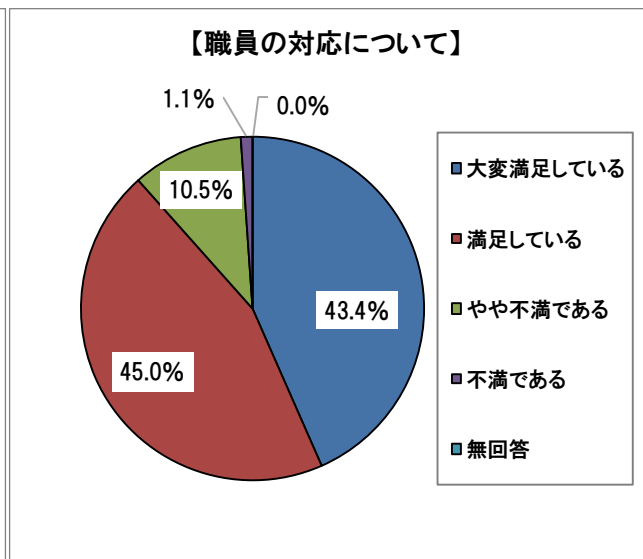
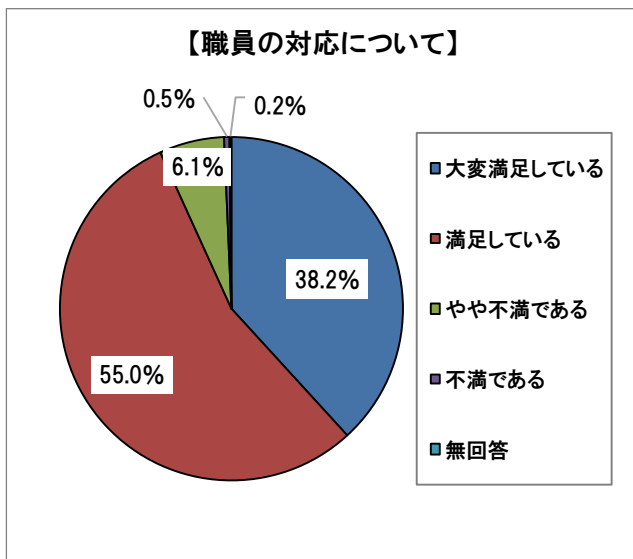
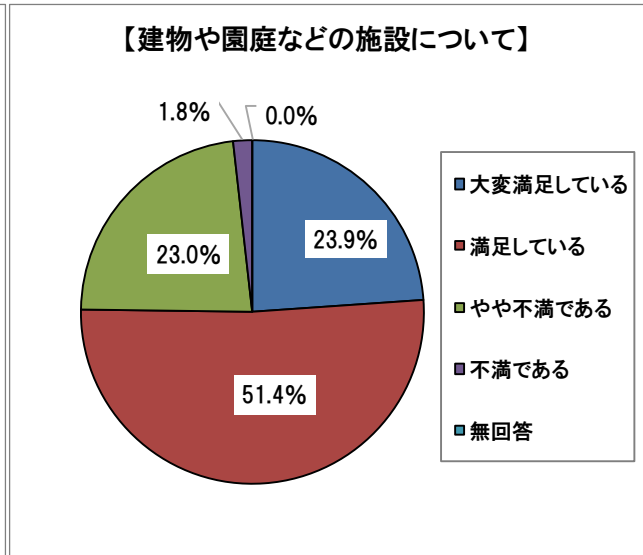
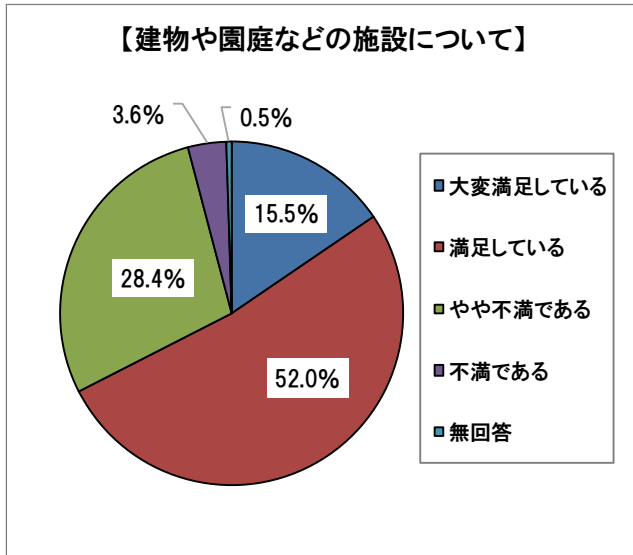
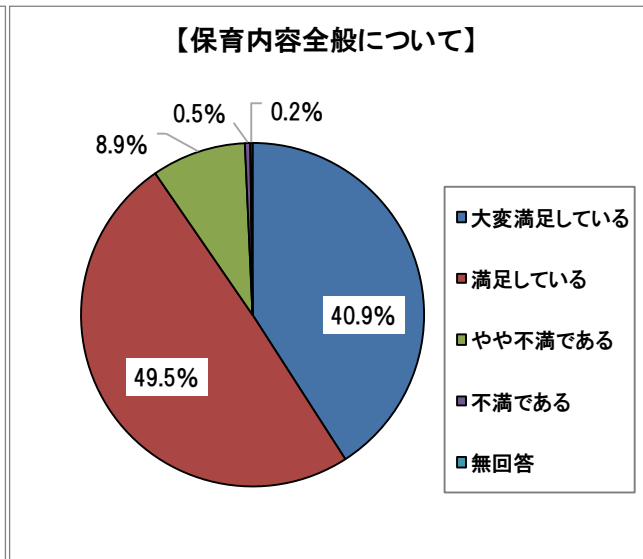
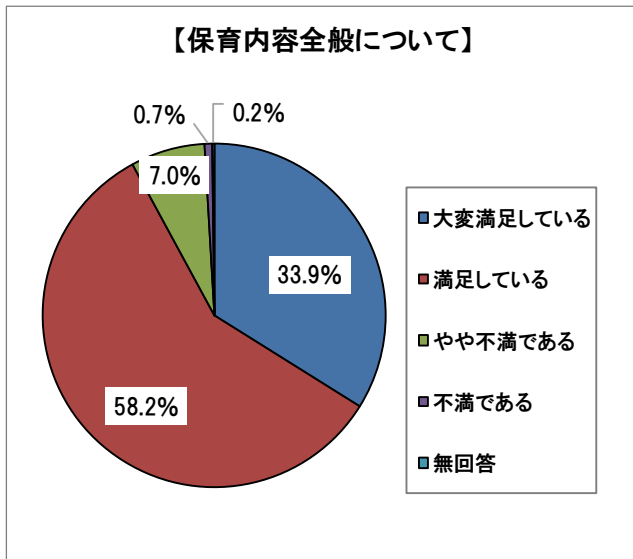
【公設】 n = 440

【民設】 n = 440



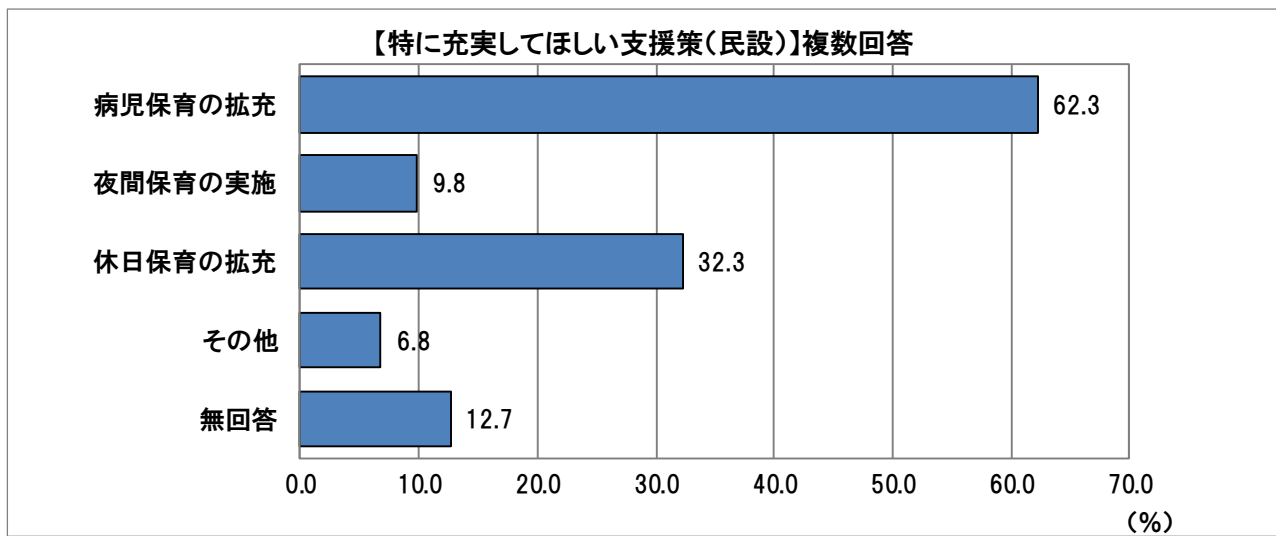
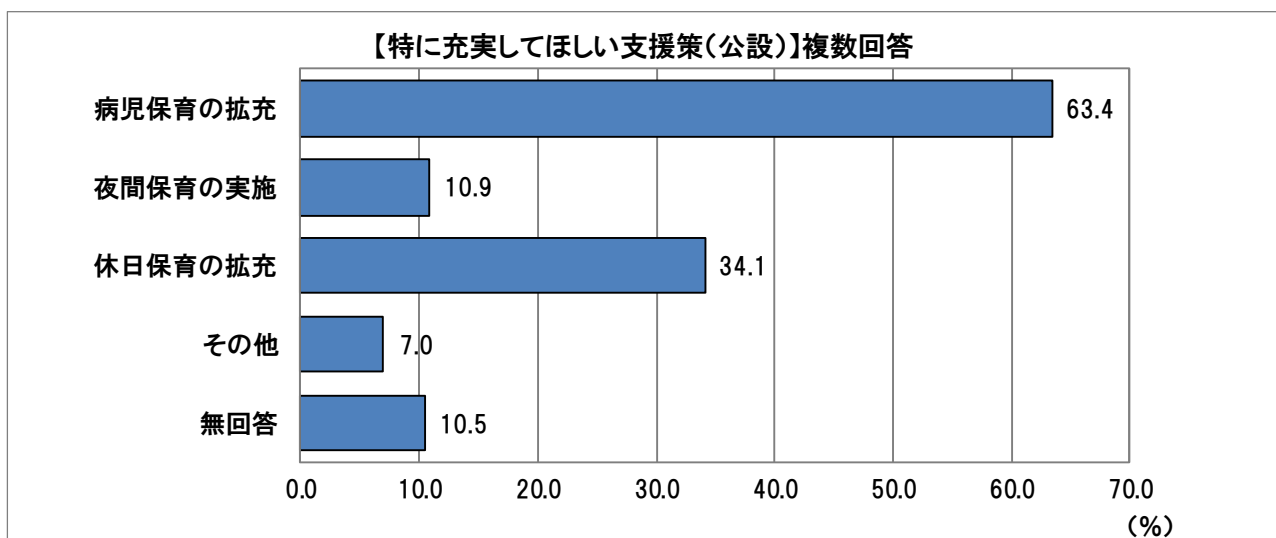
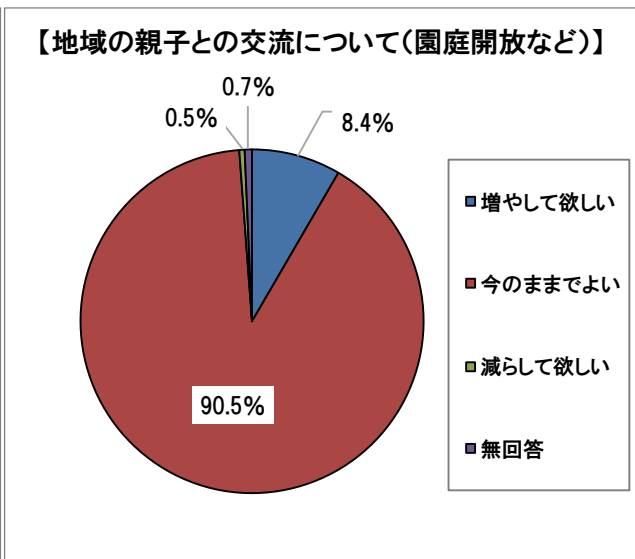
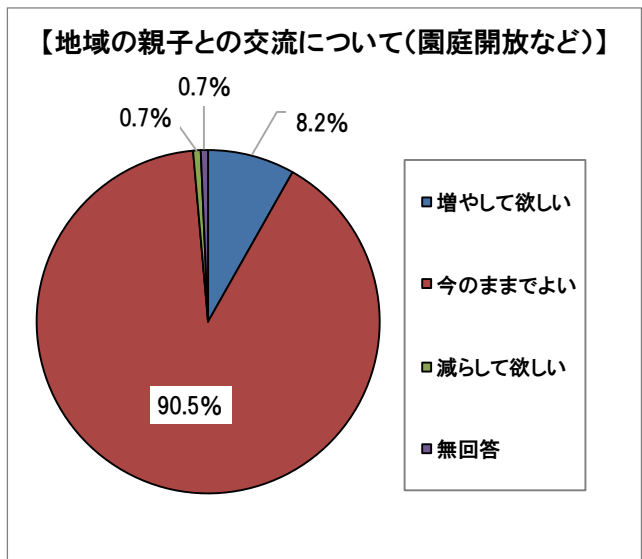
【公設】 n = 440

【民設】 n = 440



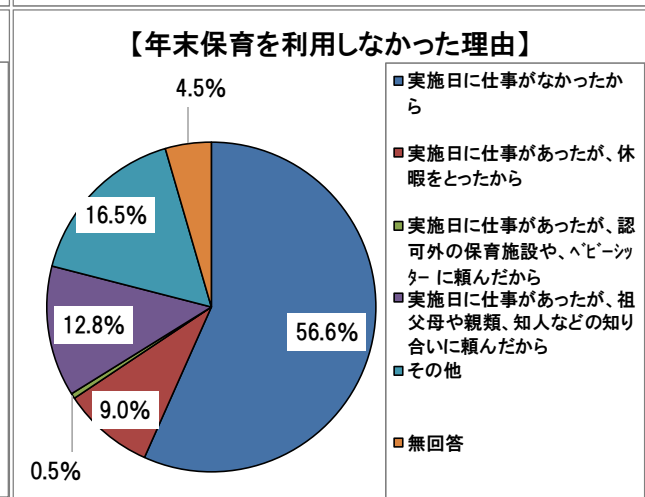
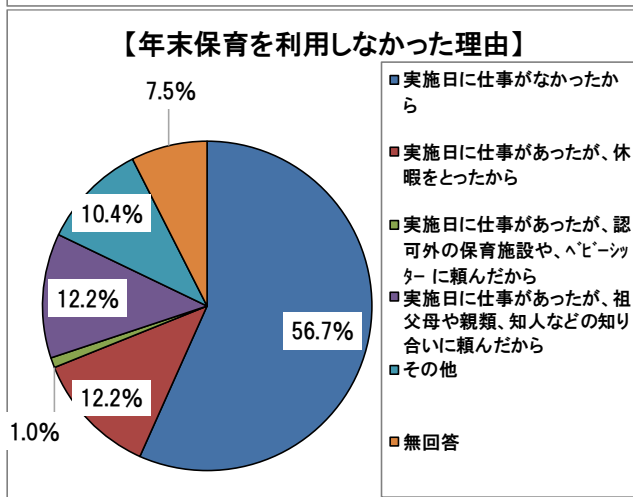
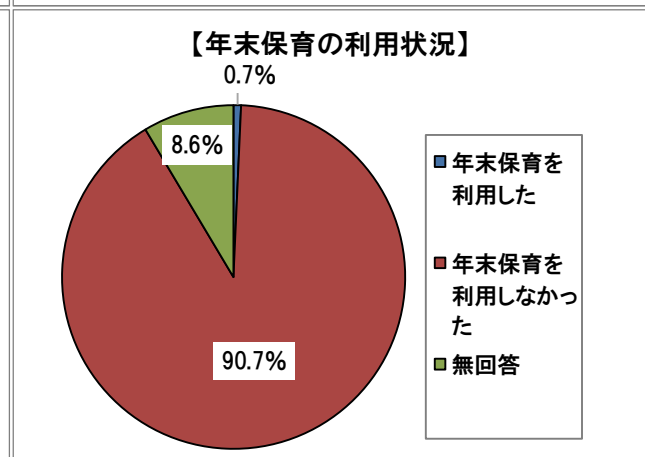
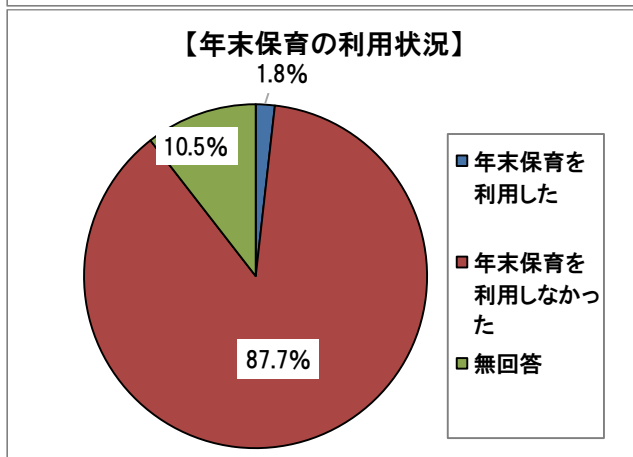
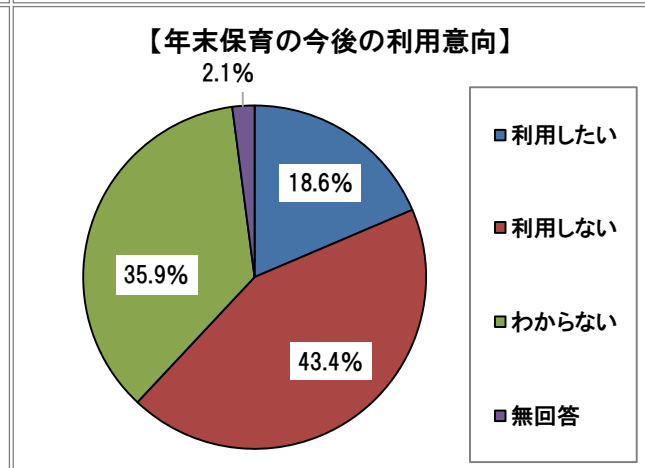
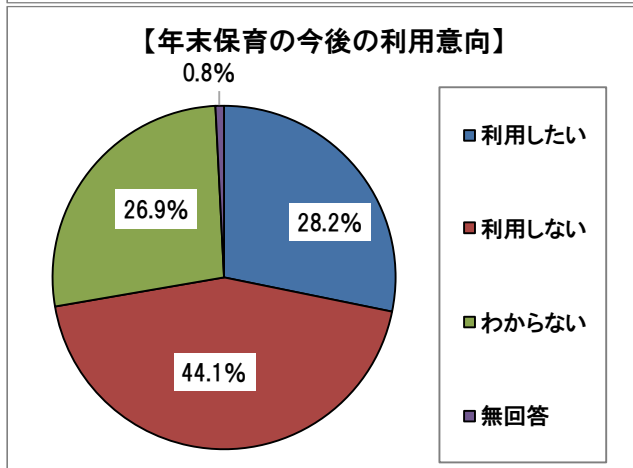
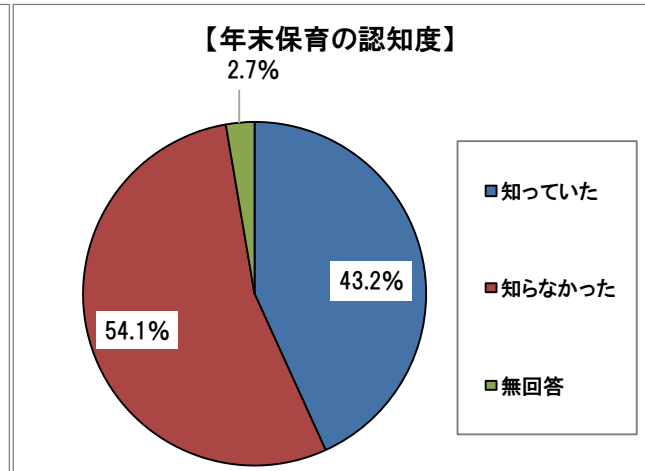
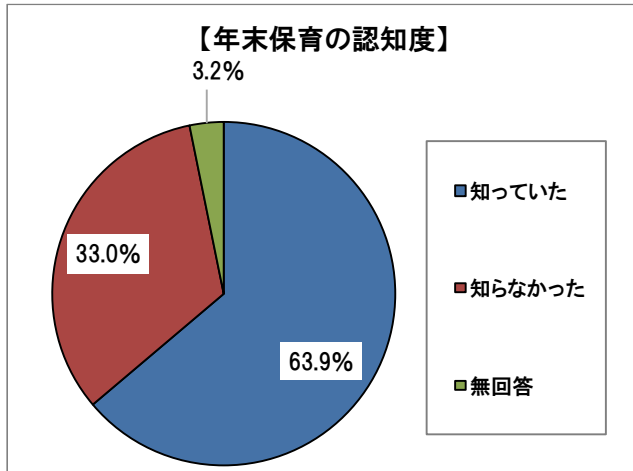
【公設】 n = 440

【民設】 n = 440



【公設】 n = 440

【民設】 n = 440



Ⅱ 認定こども園

(1) 調査方法

幼保連携型認定こども園 138 箇所及び幼稚園型認定こども園 17 箇所計 155 箇所を通じて、認定こども園ごとに各年齢 2 名ずつ無作為抽出した子どもの保護者を対象に配布し、郵送で回収。

(2) 調査期間

令和元年 6 月

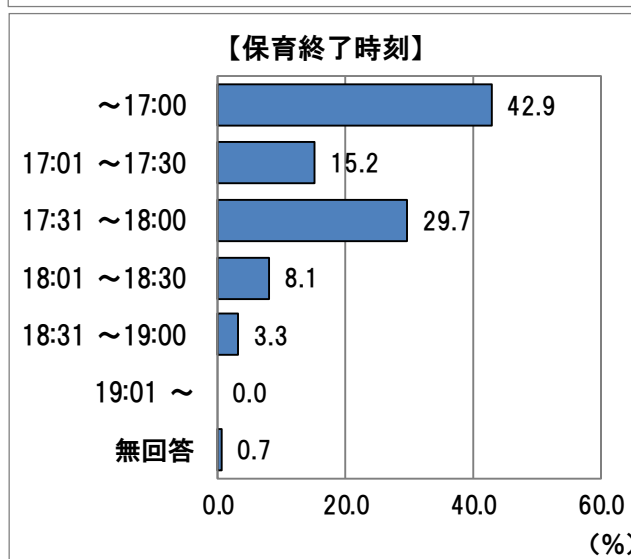
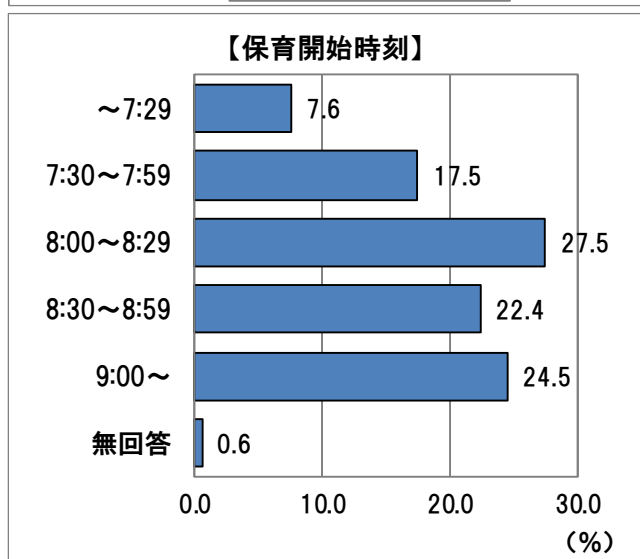
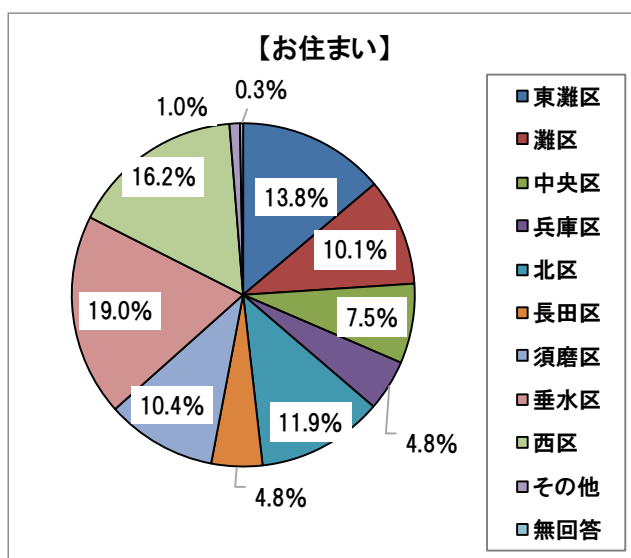
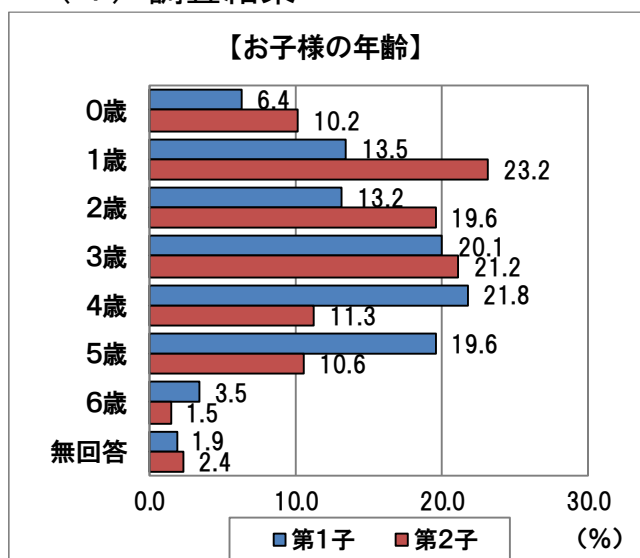
(3) 配布等

①配布数 1,578 セット（幼保連携型：1,445 幼稚園型：133）

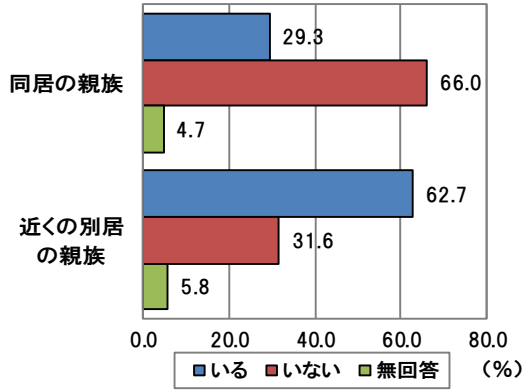
②回収数 1,197 サンプル

③回収率 75.9%

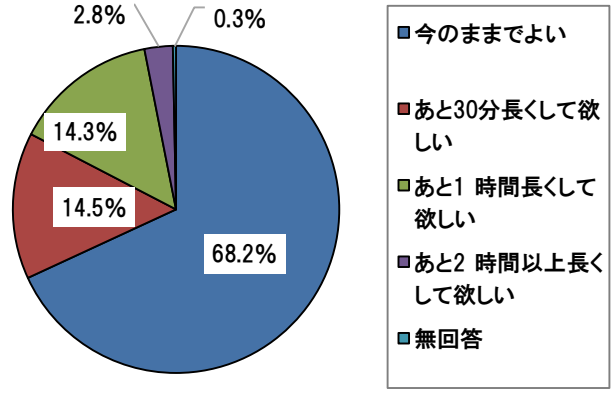
(4) 調査結果



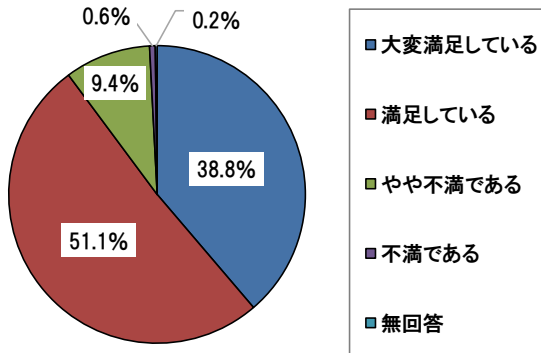
【同居の親族・近くの別居の親族の有無】



【保育時間についての希望】

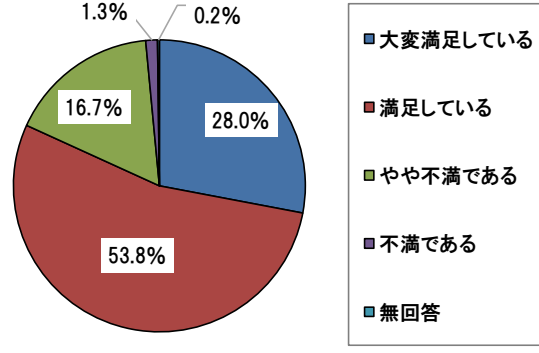


【教育・保育内容全般について】



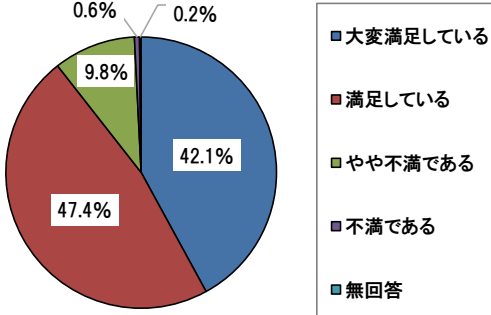
※「やや不満」「不満」の理由
 ・教育的内容が少ない
 ・行事が多い
 ・外遊びが少ない など

【建物や園庭などの施設について】



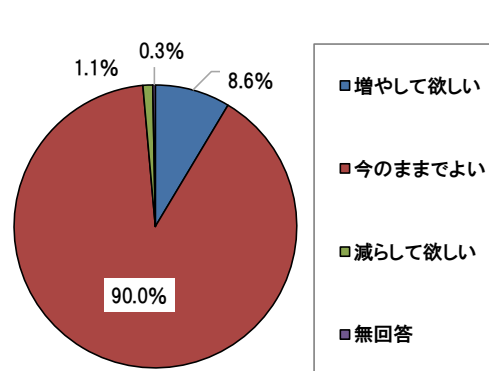
※「やや不満」「不満」の理由
 ・園庭が少ない、狭い
 ・園庭の水はけが悪い
 ・駐車場、建物が古い、狭い など

【職員の対応について】

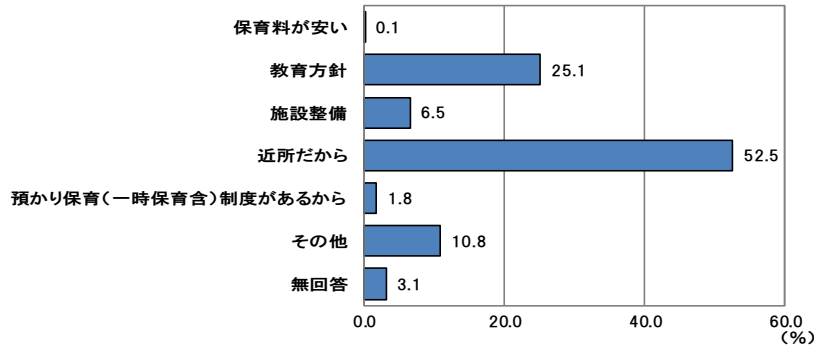


※「やや不満」「不満」の理由
 ・挨拶をしない職員がいる
 ・先生よっての対応の違い
 ・先生とゆっくり話す時間がほしい など

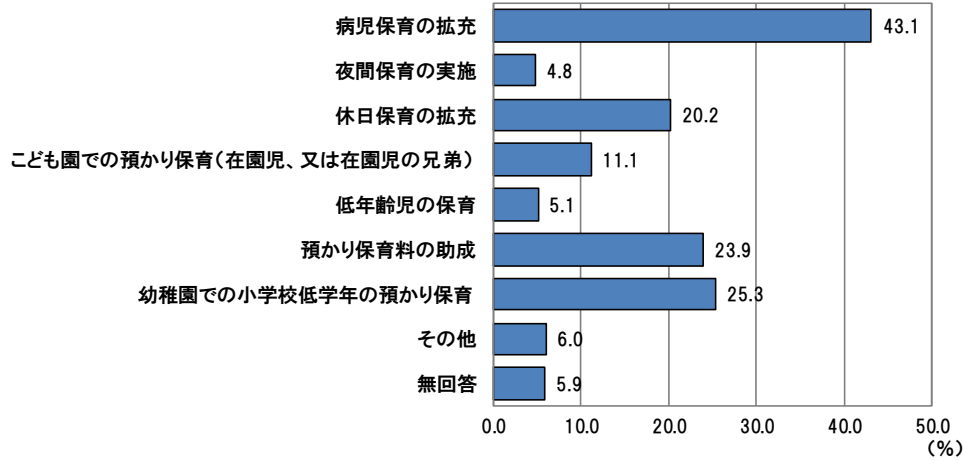
【地域の親子との交流について(園庭開放など)】



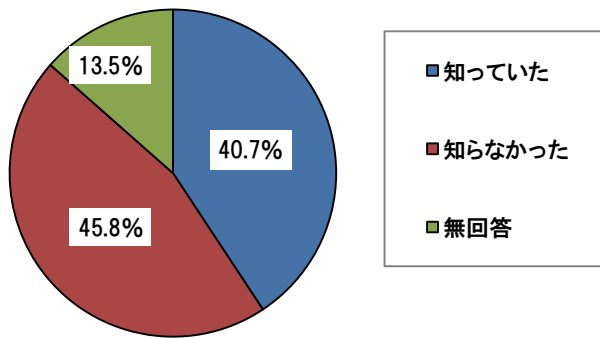
【通園している園を選択した理由】



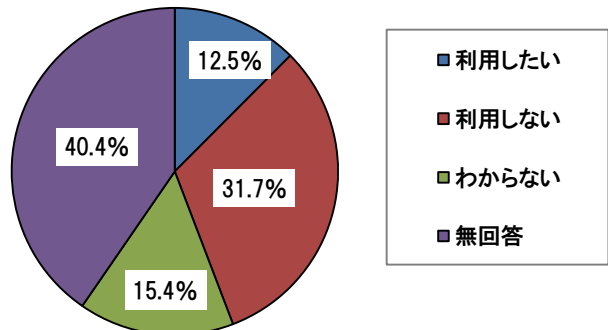
【特に充実してほしい支援策】



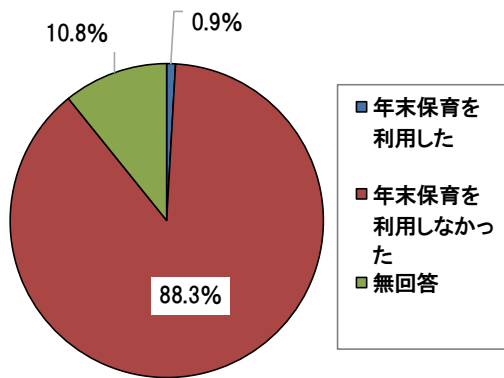
【年末保育の認知度】



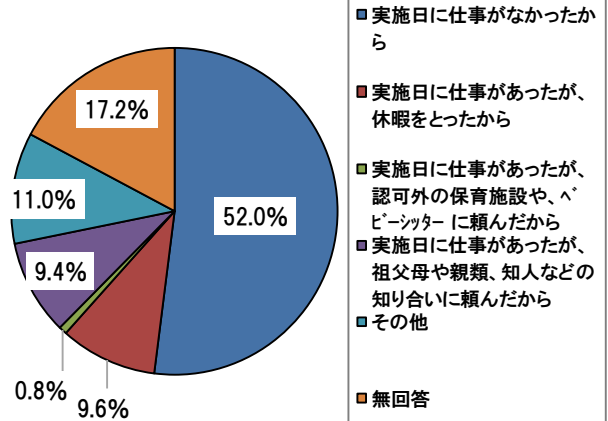
【年末保育の今後の利用意向】



【年末保育の利用状況】



【年末保育を利用しなかった理由】



【自由意見】 303 件

保育士の処遇を改善し、人員体制を充実させ、保育の質を上げてほしい等	104 件
保育料をもっと軽減してほしい等	60 件
保育時間をのばしてほしい等	55 件
病児保育をもっと増やしてほしい等	19 件 他

Ⅲ 幼稚園

(1) 調査方法

公立幼稚園 36 箇所及び民間幼稚園 57 箇所計 93 箇所を通じて、幼稚園ごとに、各年齢 2 名ずつ無作為抽出された子どもの保護者を対象に配布し、郵送で回収。

(2) 調査期間

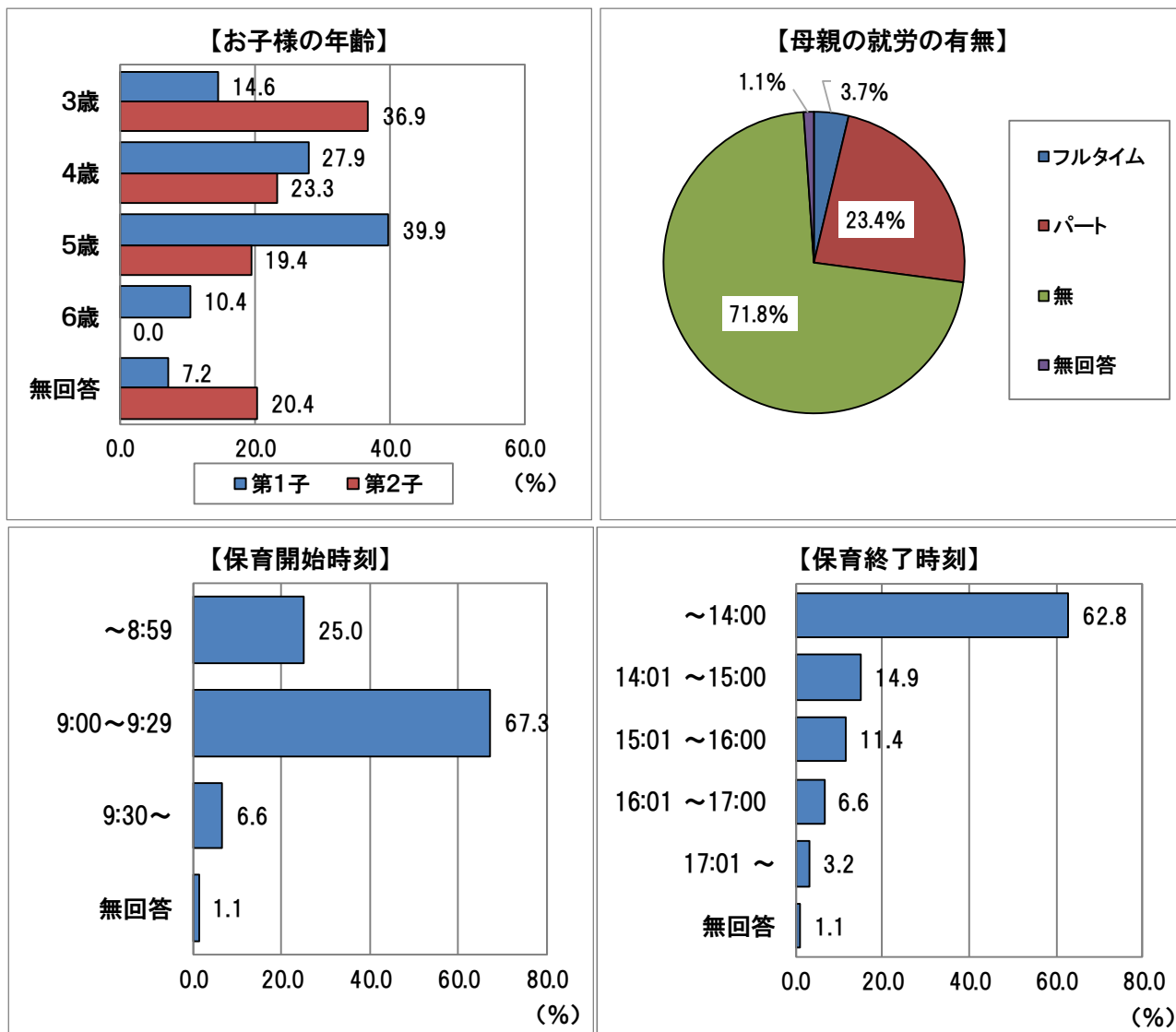
令和元年 6 月

(3) 配布等

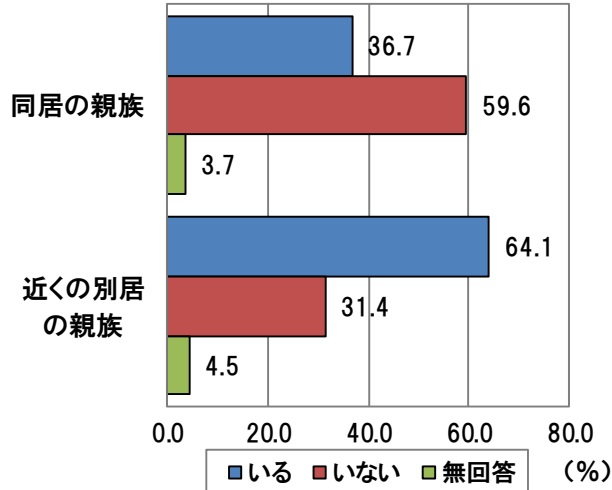
- ①配布数 441 セット (公立 : 129 私立 : 312)
- ②回収数 376 サンプル (公立 : 123 私立 : 253)
- ③回収率 85.3% (公立 : 95.3% 私立 : 81.1%)

(4) 調査結果

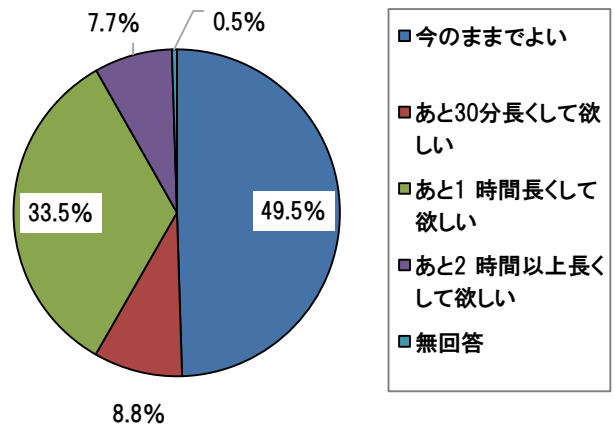
【全 体】



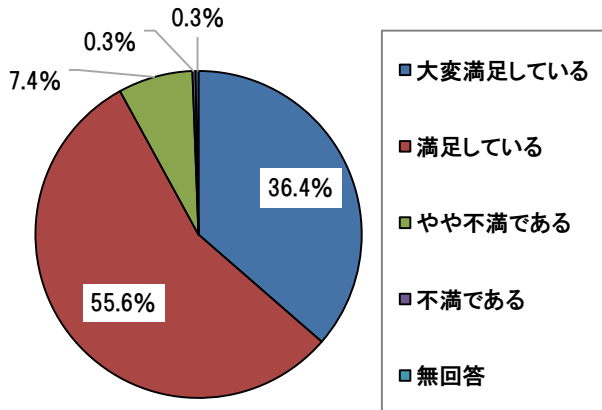
【同居の親族・近くの別居の親族の有無】



【保育時間についての希望】

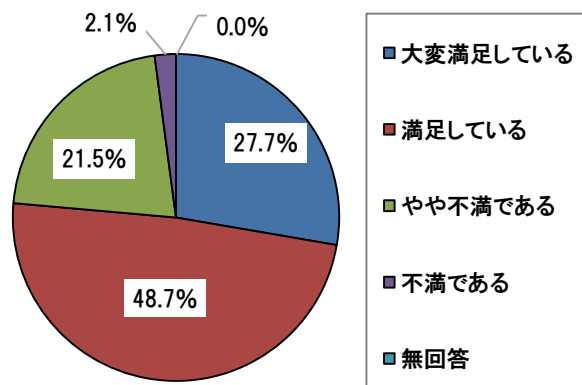


【保育内容全般について】



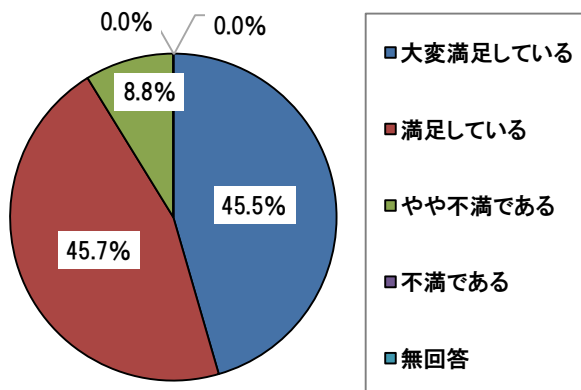
※「やや不満」「不満」の理由
 ・預かり保育がない
 ・教育内容を充実してほしい など

【建物や園庭などの施設について】



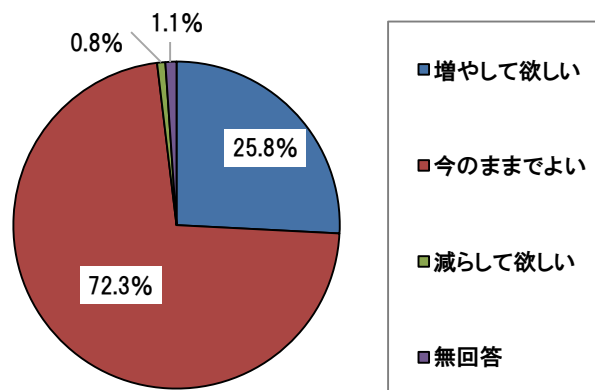
※「やや不満」「不満」の理由
 ・建物の老朽化
 ・トイレが汚い、空調が不十分 など

【職員の対応について】

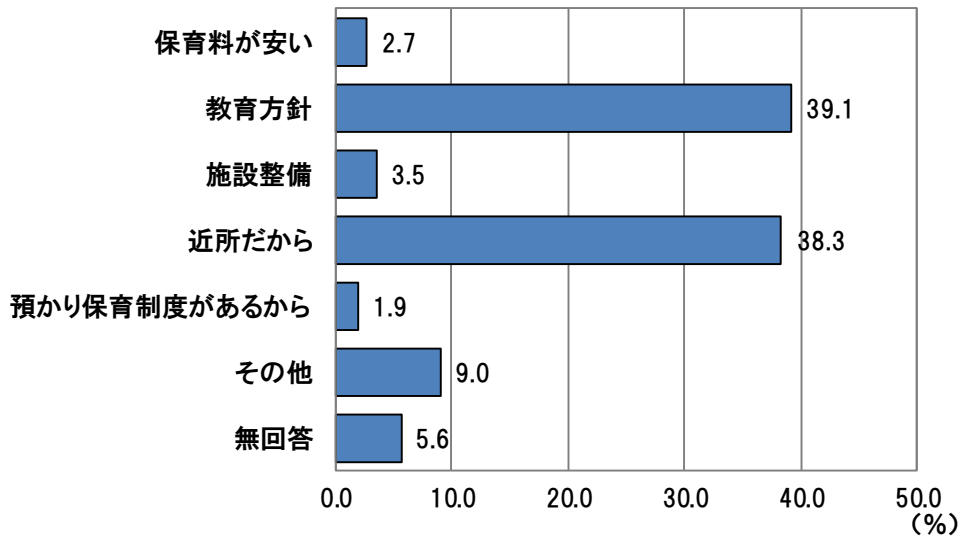


※「やや不満」「不満」の理由
 ・クラス担任が固定され、他の先生との関わりが少ない
 ・子どもの様子・活動をもっと伝えてほしい など

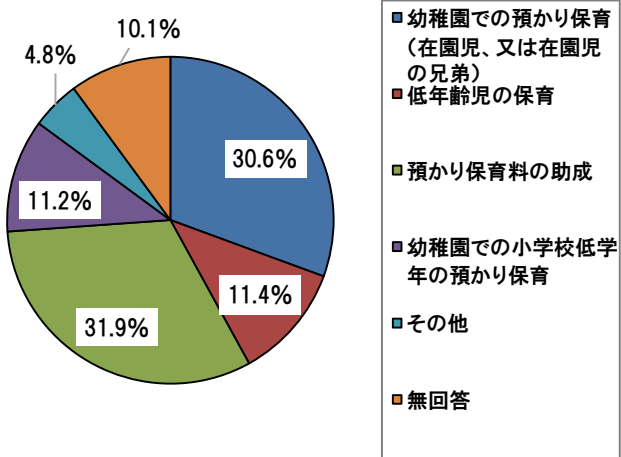
【未就園児保育や園庭開放などについて】



【通園している園を選択した理由】



【必要な子育て支援】



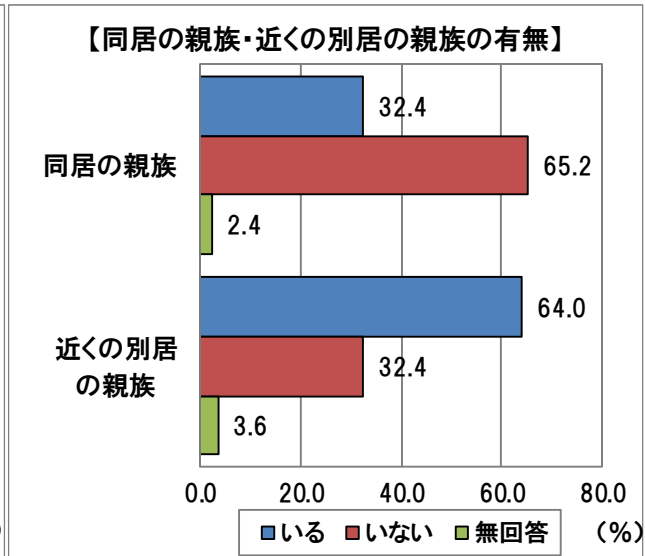
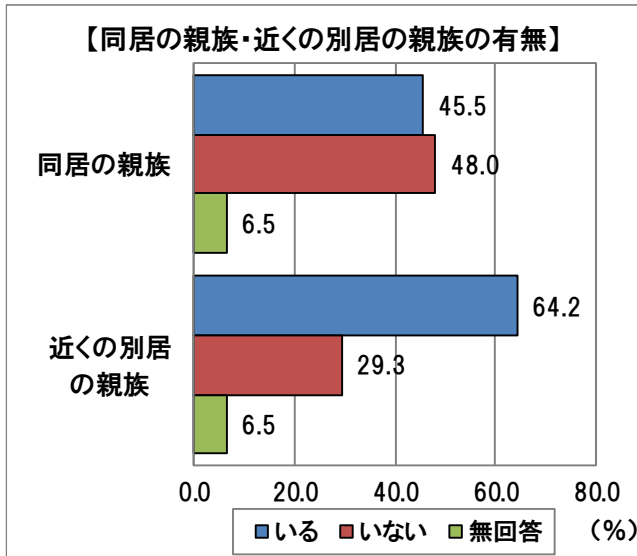
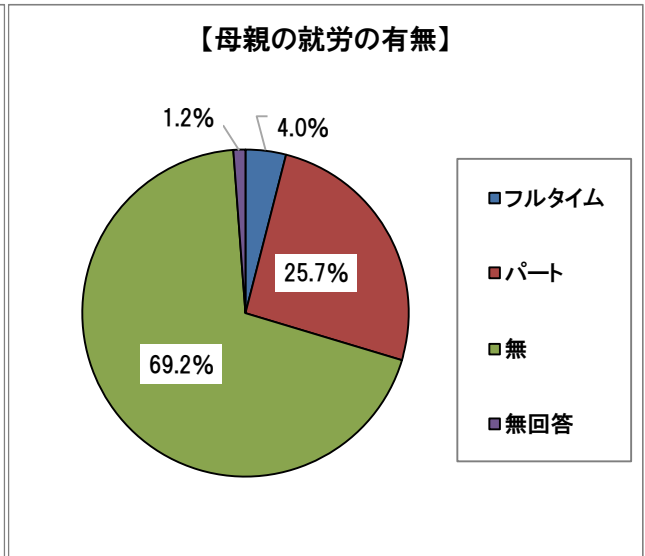
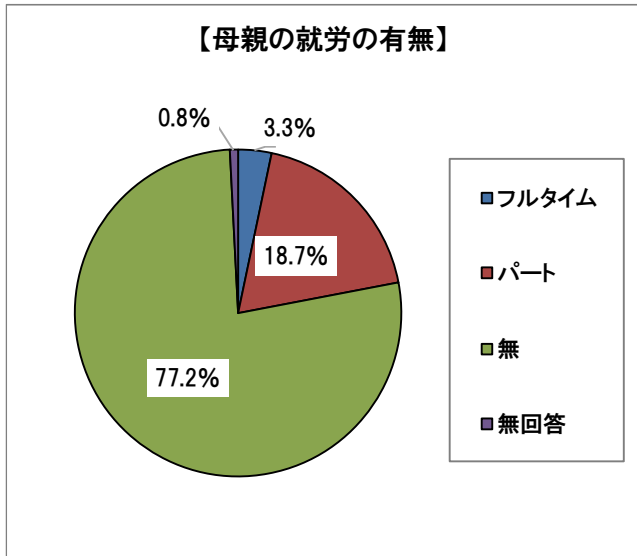
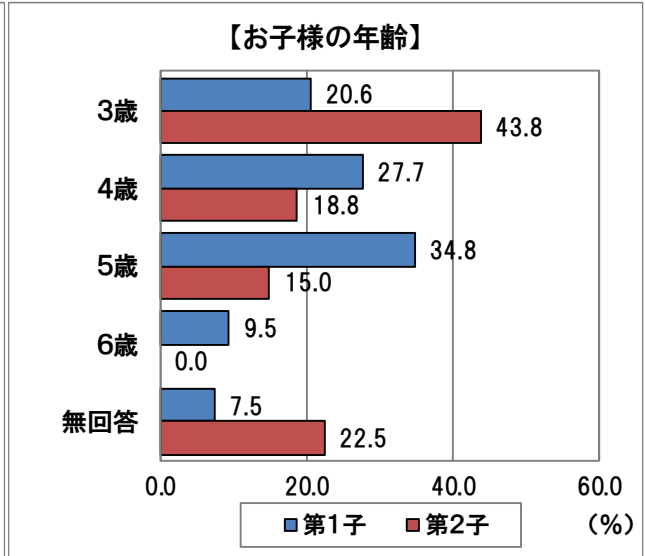
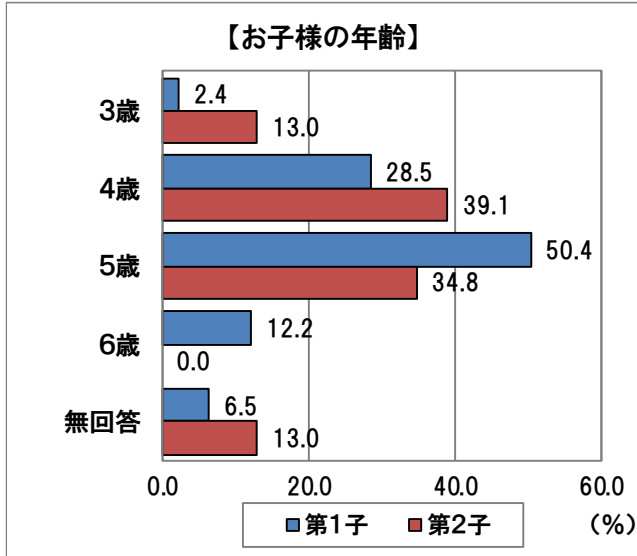
【自由意見】49 件

長期休業期間等の預かり保育を充実させてほしい	13 件
保育料をもっと軽減してほしい等	10 件
先生への支援、育成に力を入れてほしい	8 件
休日保育等の施設数を増やしてほしい	6 件 他

【幼稚園についての公設民設別アンケート結果】

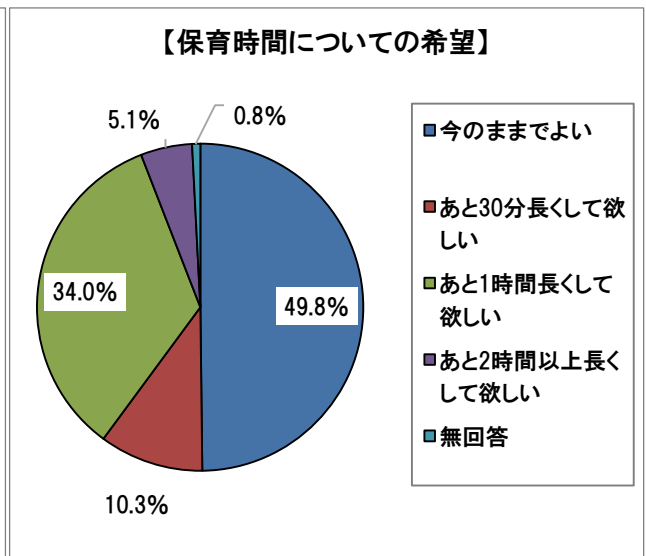
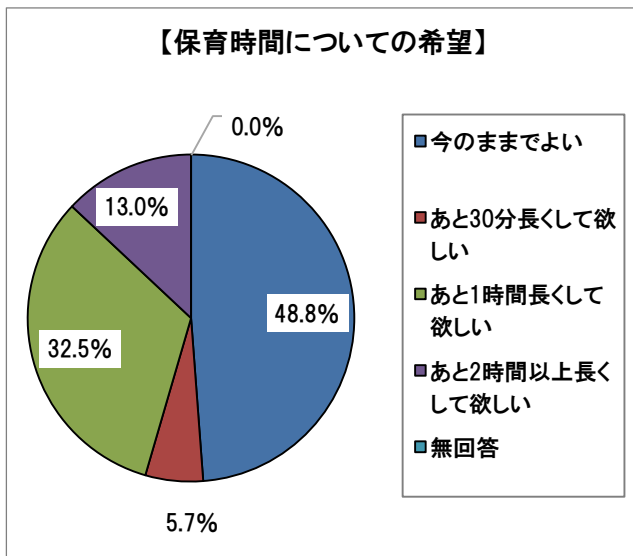
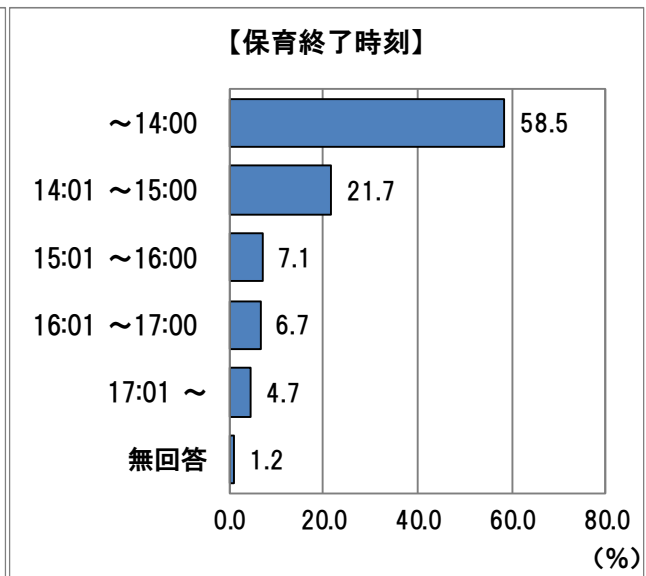
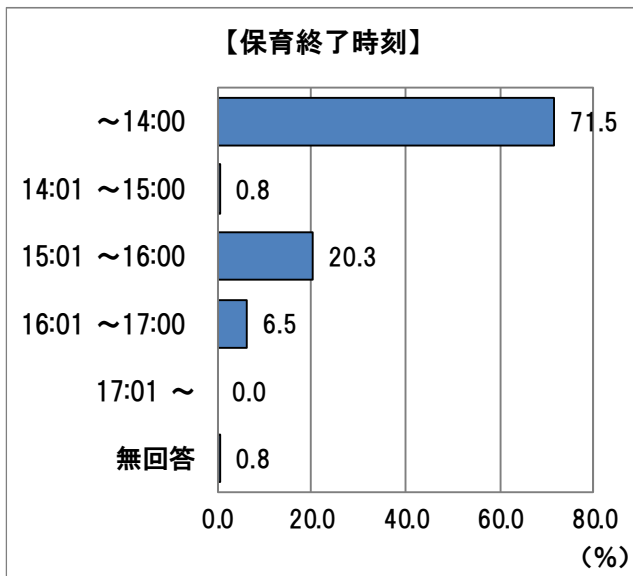
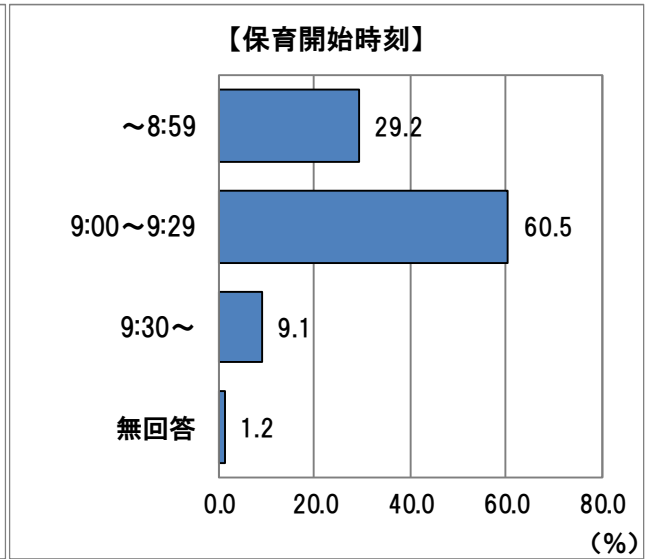
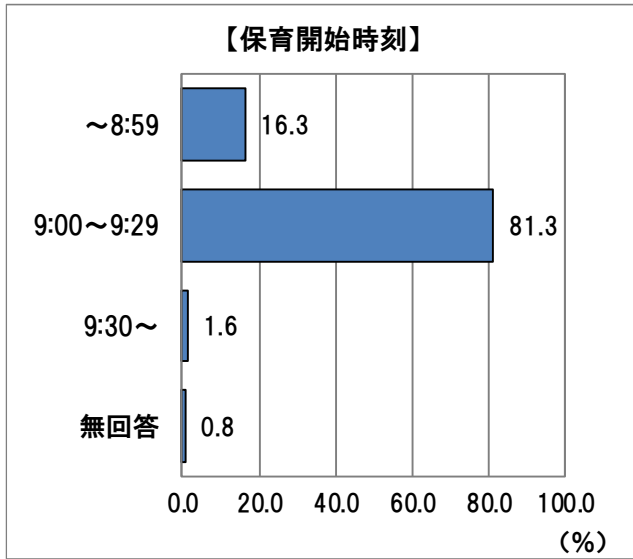
【公設】 n = 123

【民設】 n = 253



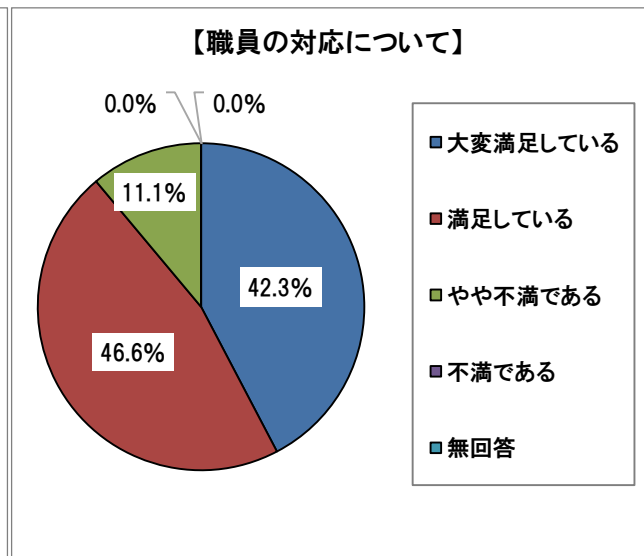
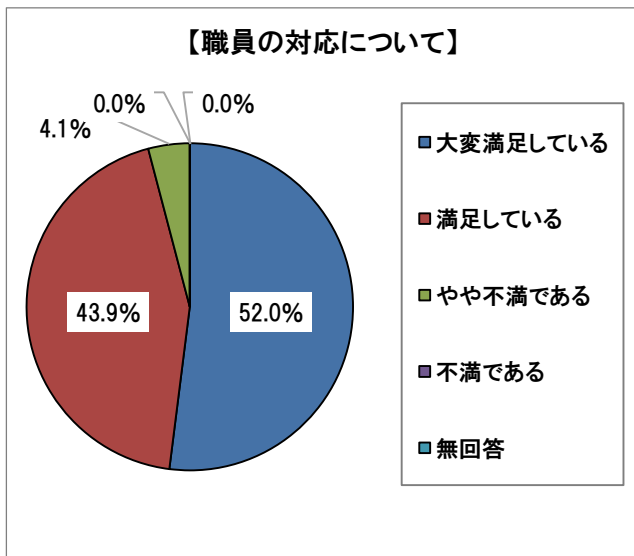
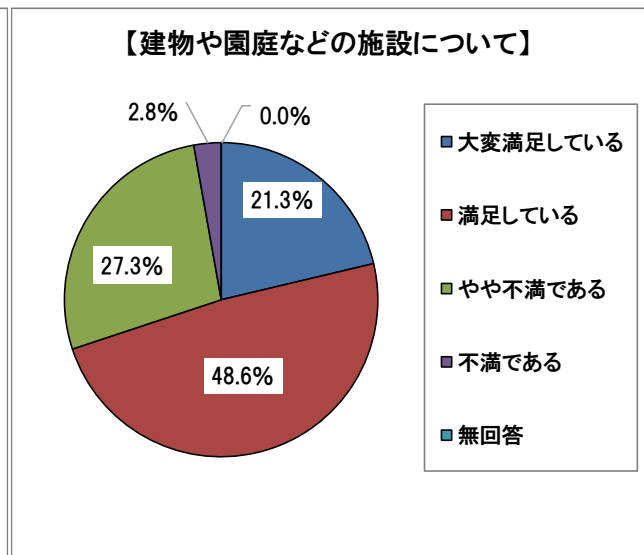
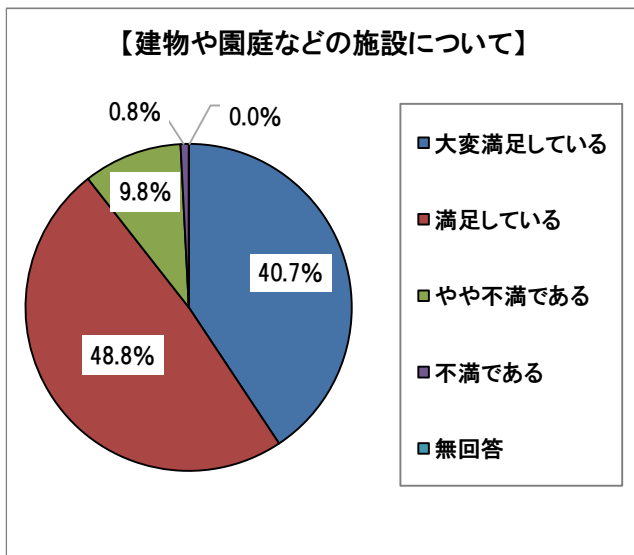
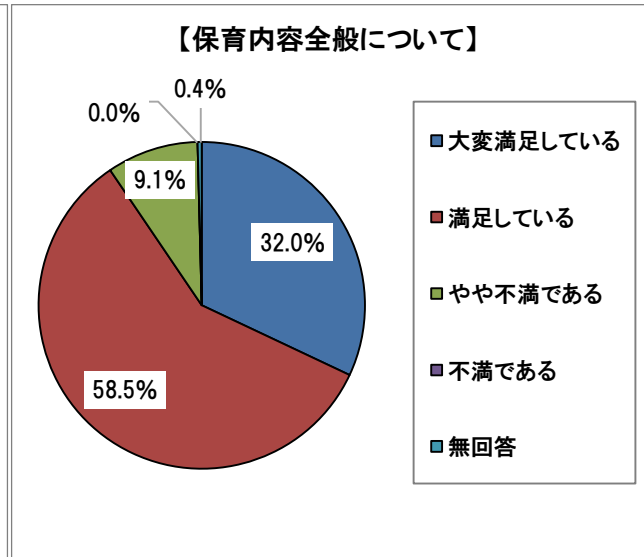
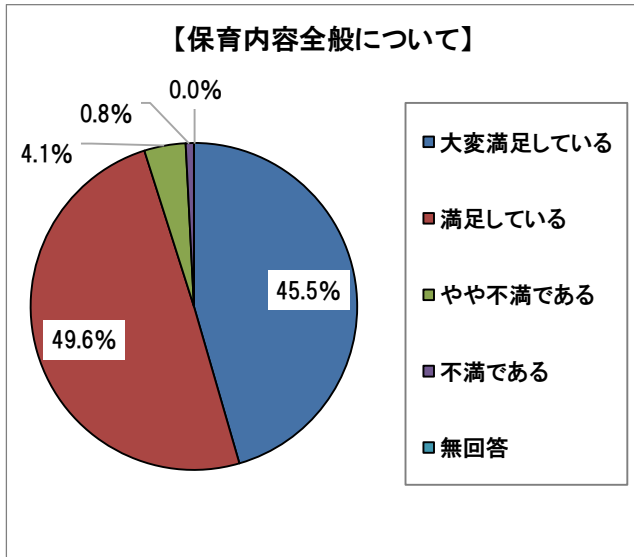
【公設】 n = 123

【民設】 n = 253



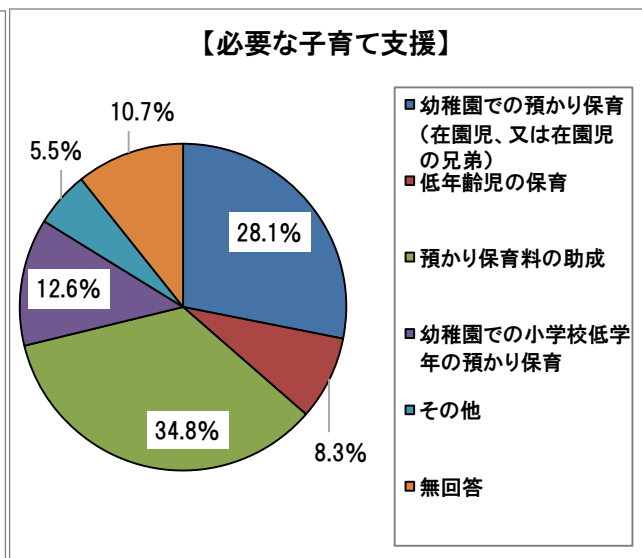
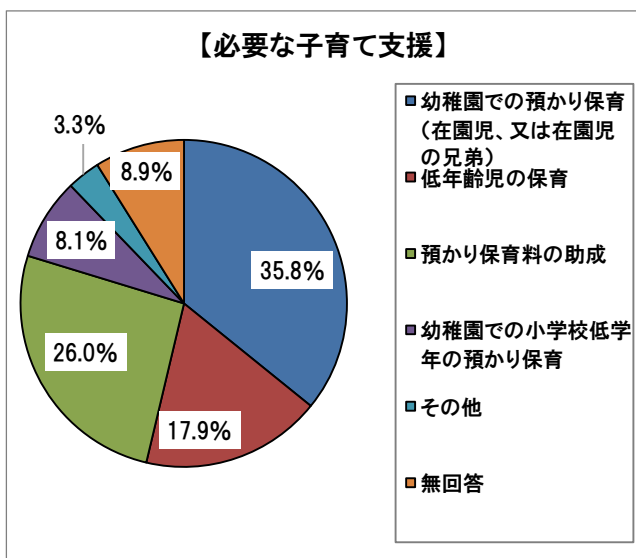
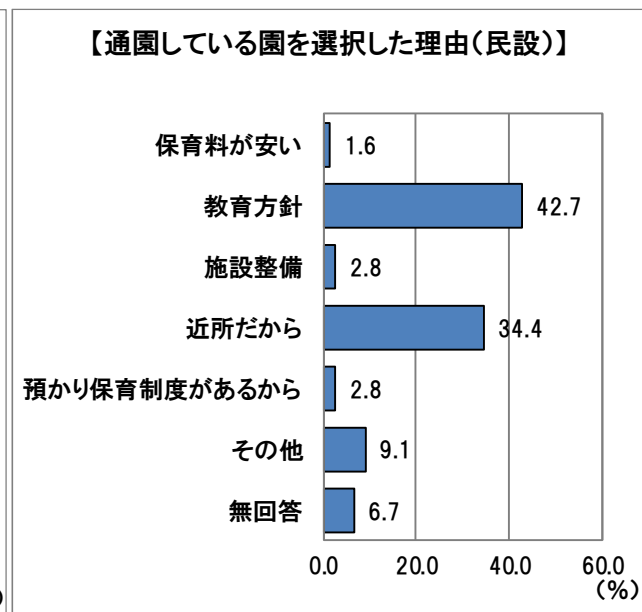
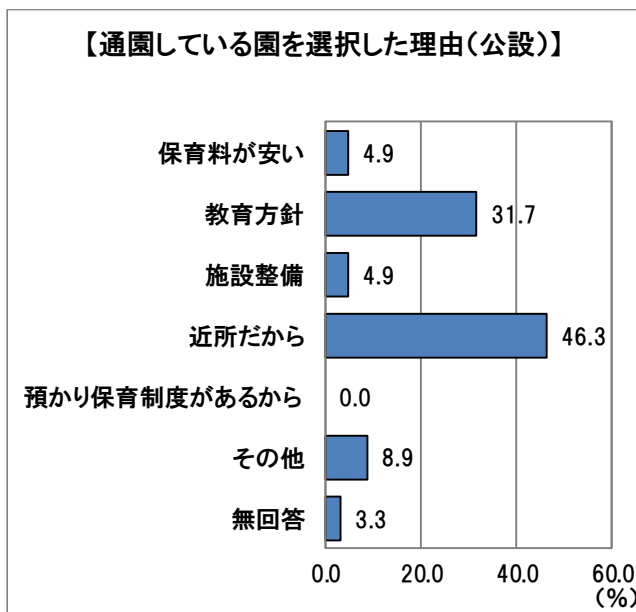
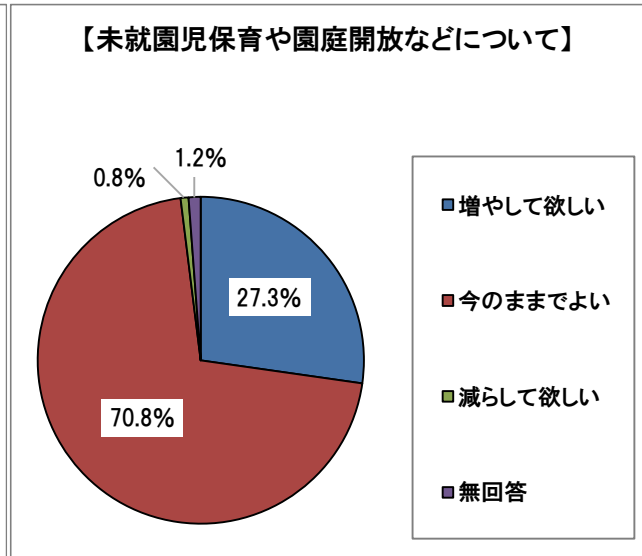
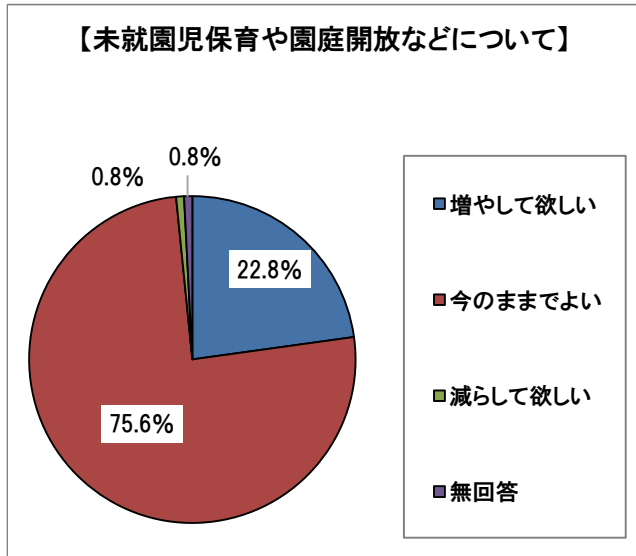
【公設】 n = 123

【民設】 n = 253



【公設】 n = 123

【民設】 n = 253



IV 児童館

(1) 調査方法

【公立児童館 119 館】

児童館を通じて、利用者に調査票を配布し、郵送で回収（施設利用者数に応じ、20～40 部配布）。

※既存調査を活用

- ・調査期間 平成 31 年 3 月

【民設児童館 4 箇所】

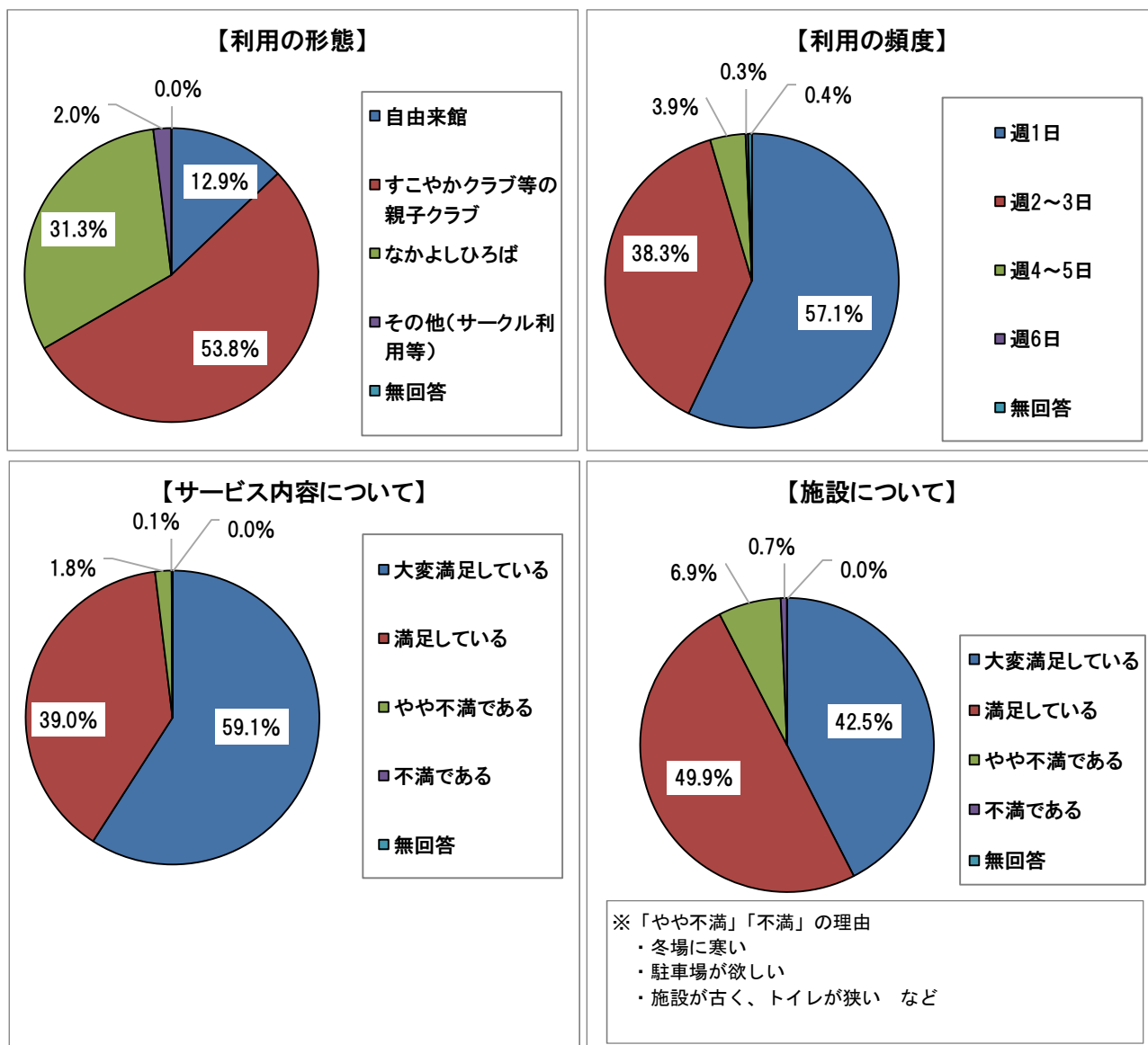
児童館を通じて、子ども用と保護者用の調査票を、期間中に利用のあった 10 組の親子を対象に配布し、郵送で回収。

- ・調査期間 令和元年 6 月

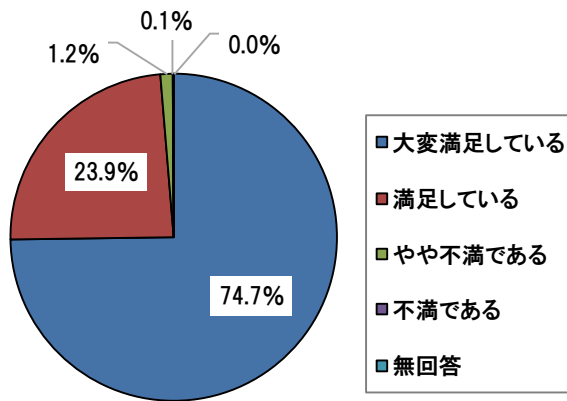
(2) サンプル数

2,284 サンプル

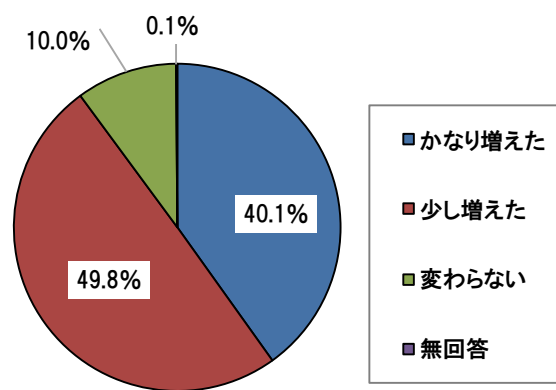
(3) 調査結果



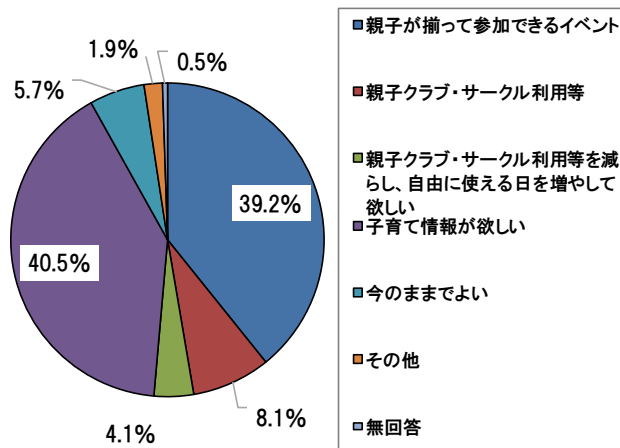
【職員の対応について】



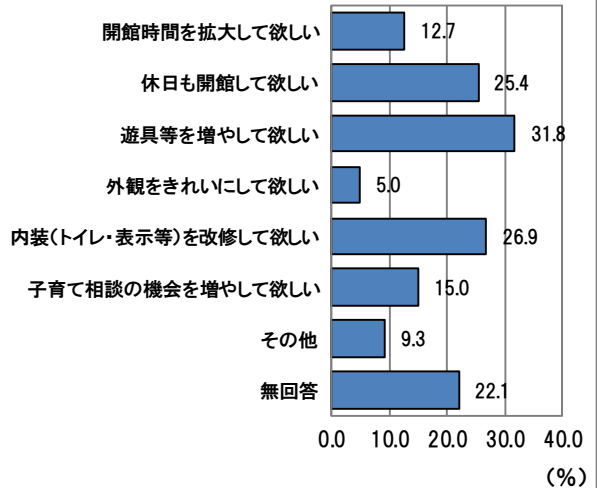
【利用により知人は増えたか】



【児童館で増やしてほしいサービスについて】



【利用に関する要望】



【自由意見】 946 件

楽しく利用している	252 件
先生方が良く、感謝している	115 件
施設を整備してほしい(トイレの整備、部屋が寒い等の施設面)	109 件
夏休みや春休みの長期休業日に小学校の学童が利用しているため、乳幼児は利用しにくい等(利用時間・時期)	77 件
イベントの開催日数を増やしてほしい等	71 件 他

V 大学連携（大学と連携した子育て支援事業）

（１）調査方法

【8大学9カ所】

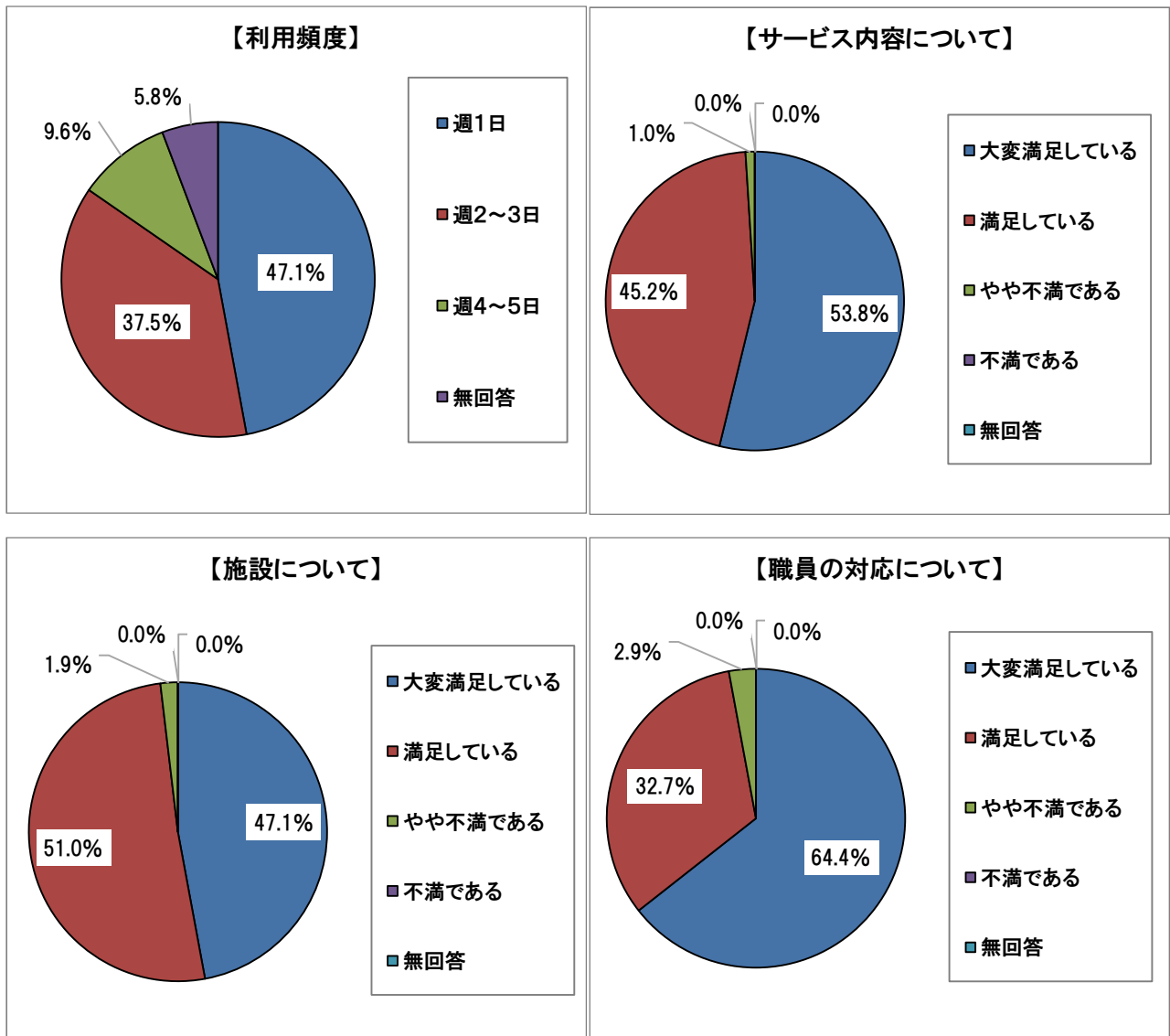
期間中に利用のあった30組の親子を対象に配布し、郵送で回収。

・調査期間 令和元年6月

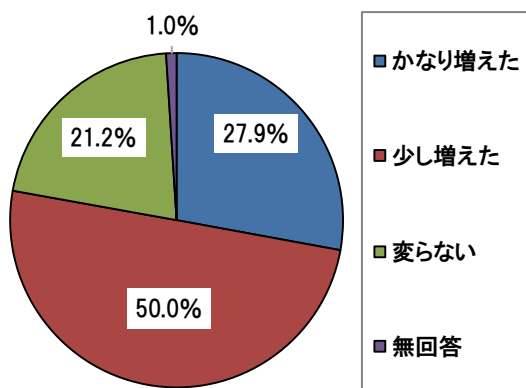
（２）サンプル数

104 サンプル

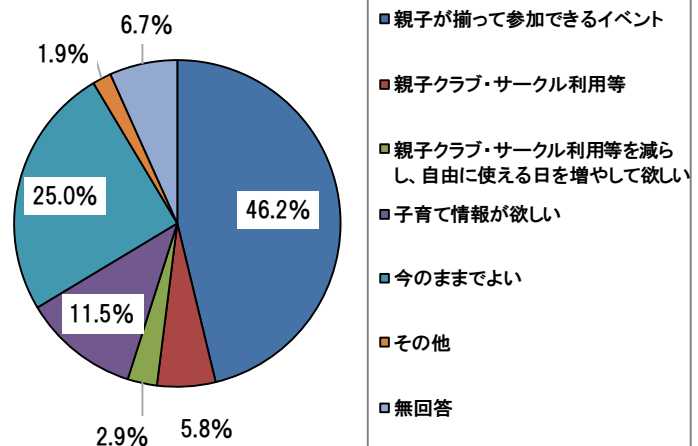
（３）調査結果



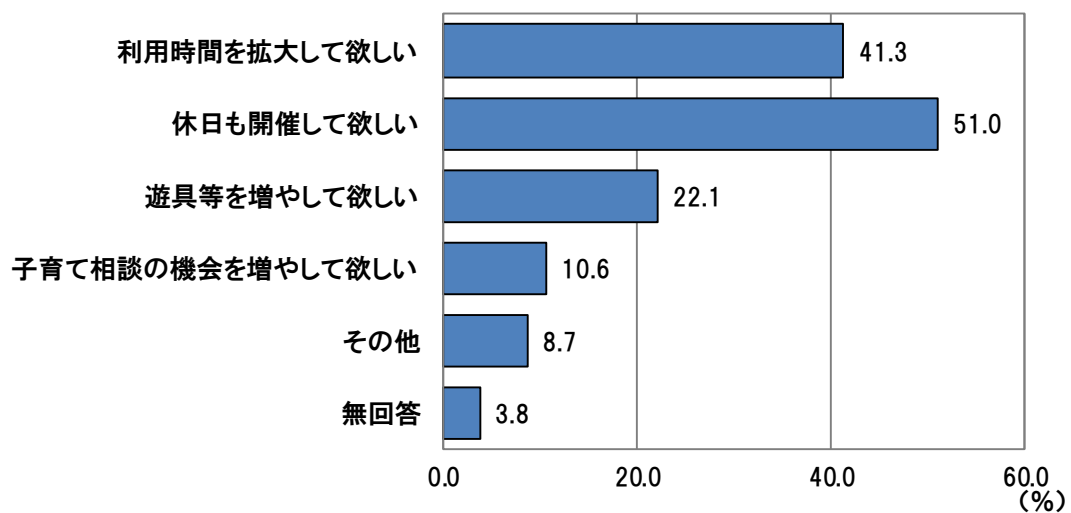
【利用により知人は増えたか】



【大学で増やしてほしいサービス】



【利用に関する要望】



【自由意見】 53 件

土日祝日にも開館してほしい	12 件
施設を増やしてほしい	12 件
イベント・プログラムを増やしてほしい	4 件 他

VI 学童保育

(1) 調査方法

【公設学童保育所 179 箇所】

学童保育所を通じて、子ども用と保護者用の調査票を配布し、郵送で回収（施設利用者数に応じ、20～50 部配布）。

※既存調査を活用

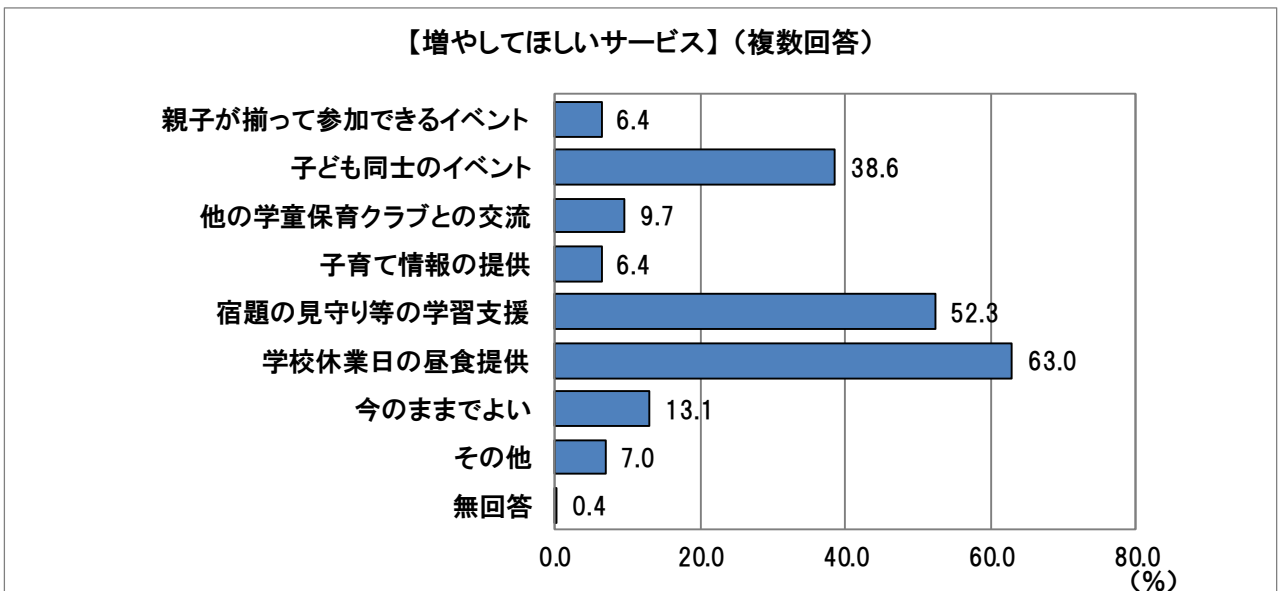
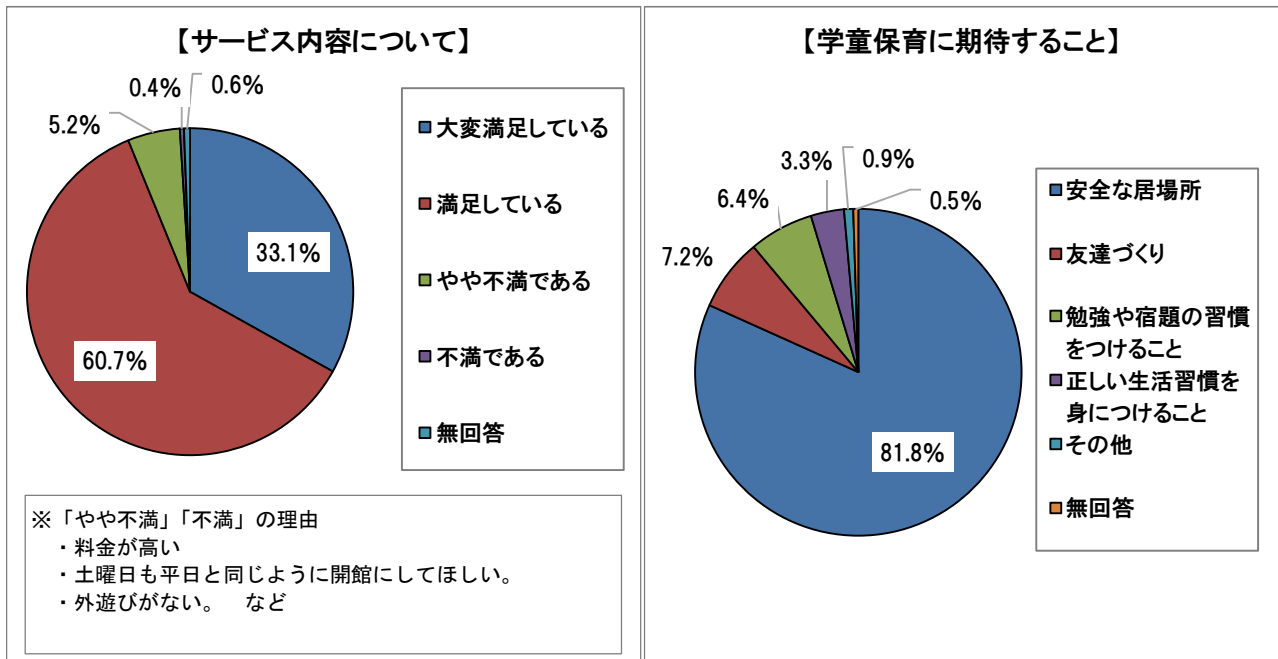
- ・調査期間 平成 31 年 3 月

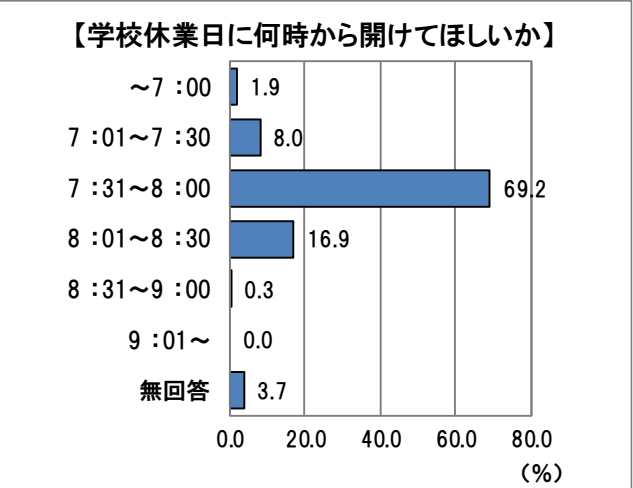
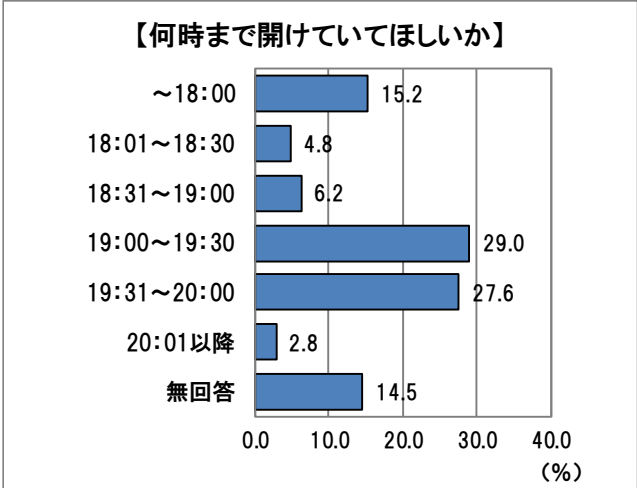
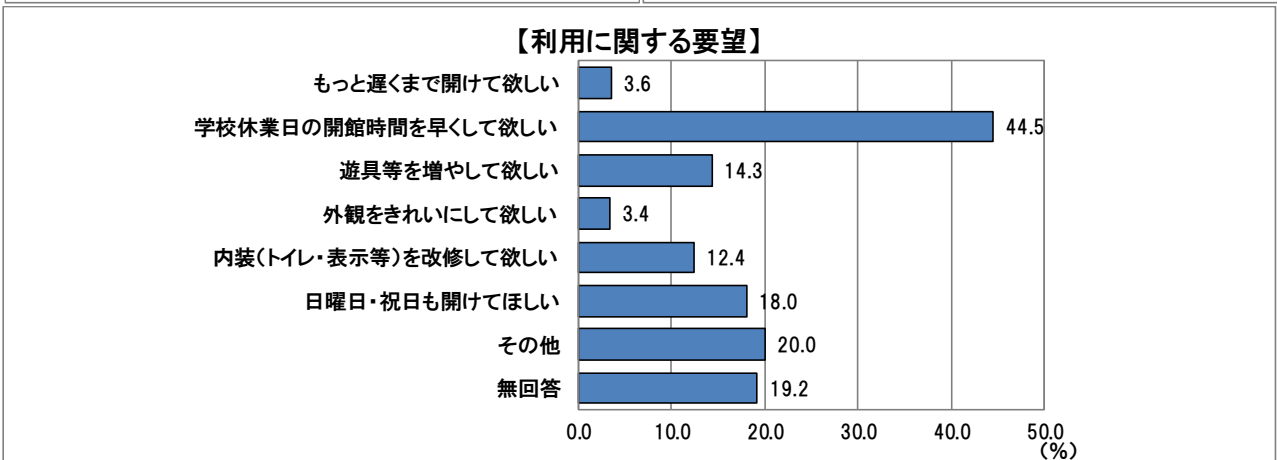
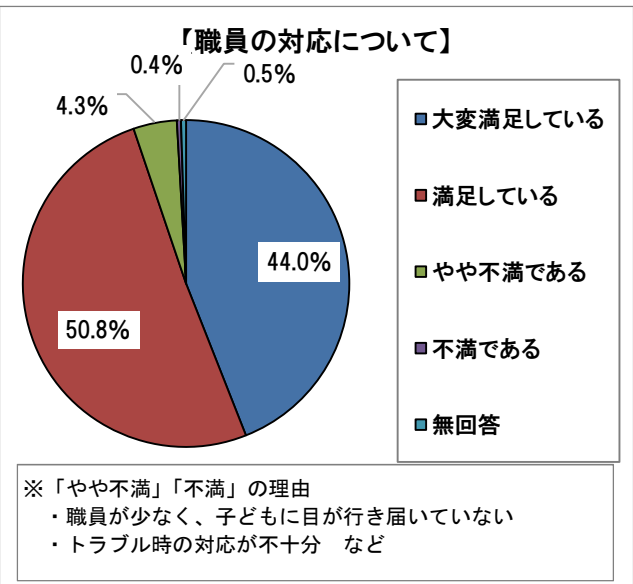
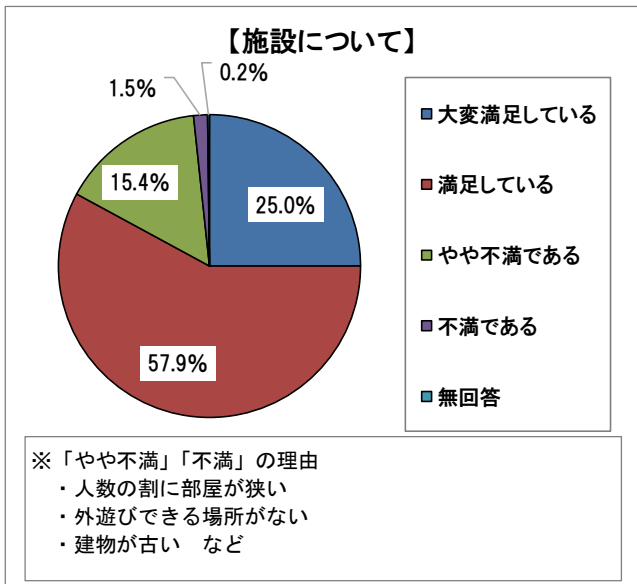
【民設学童保育 40 箇所】

学童保育所を通じて、子ども用と保護者用の調査票を、期間中に利用のあった 5 組の親子を対象に配布し、郵送で回収。

- ・調査期間 令和元年 6 月

(2) 学童保育についてのアンケート（保護者用）結果（4,049 サンプル）

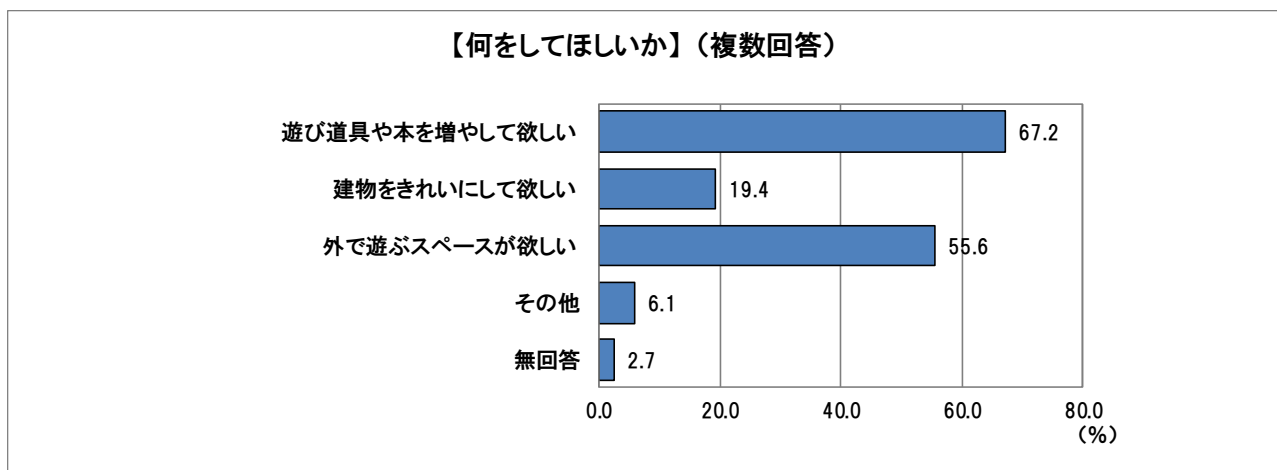
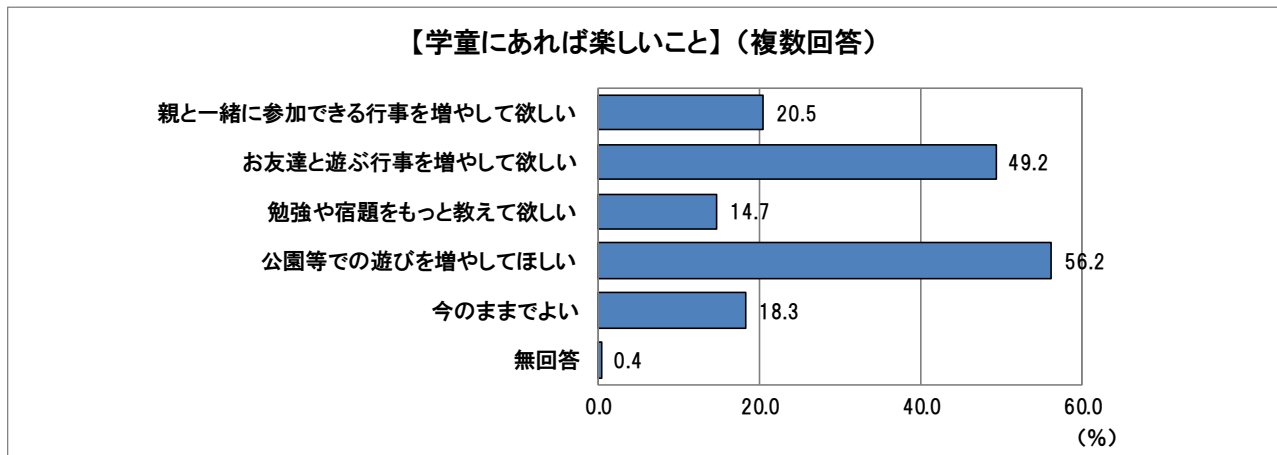
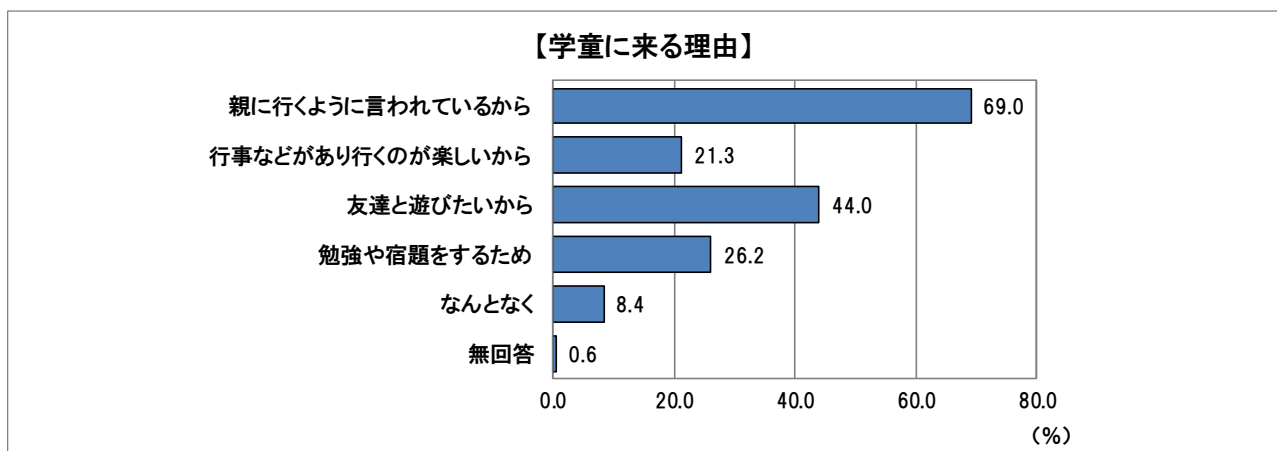
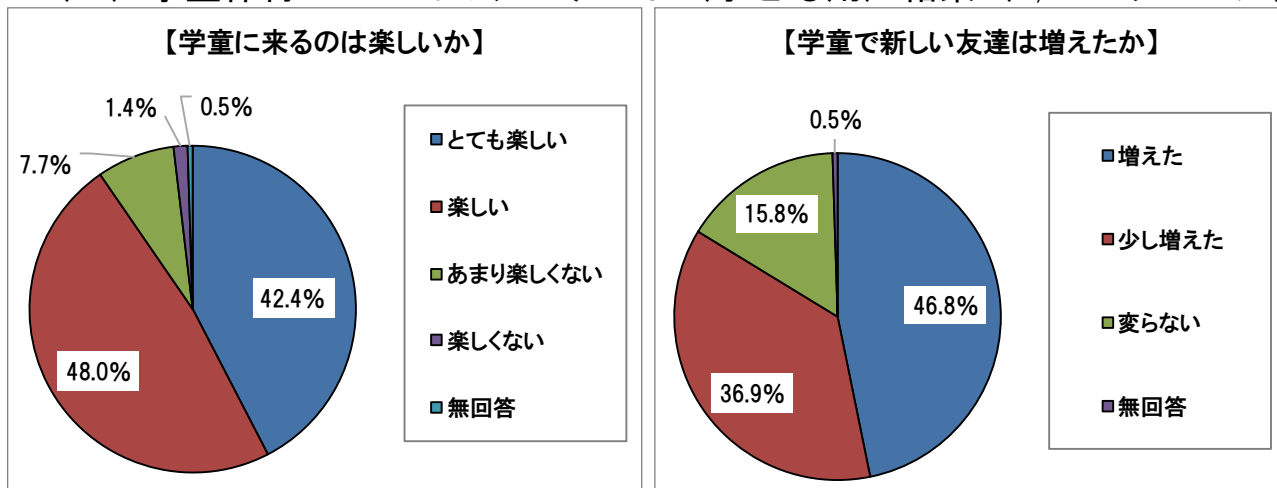




【自由意見】 1,147 件

人数に対して狭い、外遊びできるスペースがほしい等	106 件
開館時間を早めてほしい等(利用時間)	83 件
気象警報発令時や学級閉鎖時にも受け入れてほしい	73 件
長期休暇中に昼食提供をしてほしい等(食事面)	57 件
長期休暇のみの利用をしたい	53 件
利用料を安く、費用負担をしてほしい等	47 件
指導員の先生の数や待遇を充実させてほしい等	36 件
毎日宿題をする時間を設けてほしい等(学習支援)	24 件 他

(3) 学童保育についてのアンケート（子ども用）結果（4,049 サンプル）



VII 一時預かり（一時保育含む）

（１）調査方法

一時預かり（一時保育含む）実施園（幼稚園、保育所（園）、認定こども園、小規模保育）290園で、調査期間中の利用者に施設を通じて配布し、郵送で回収。

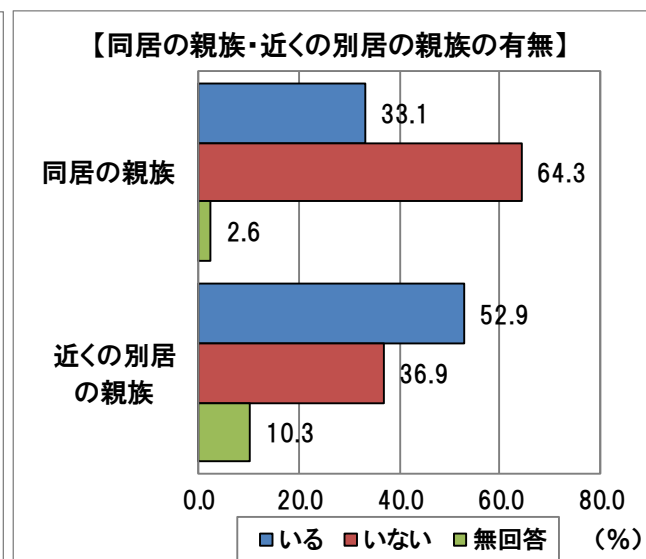
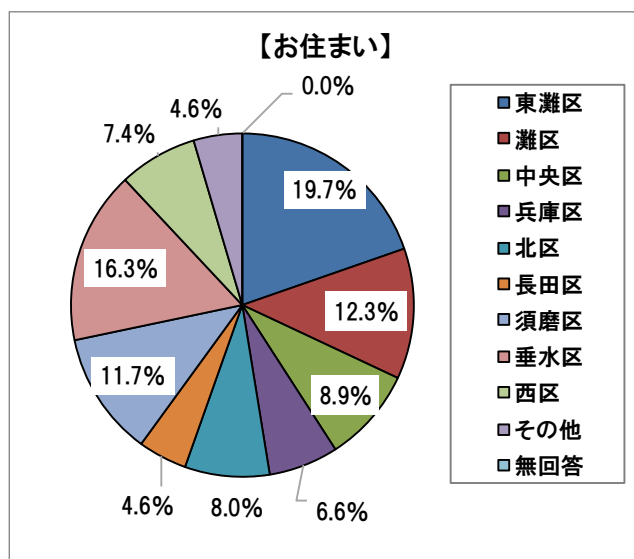
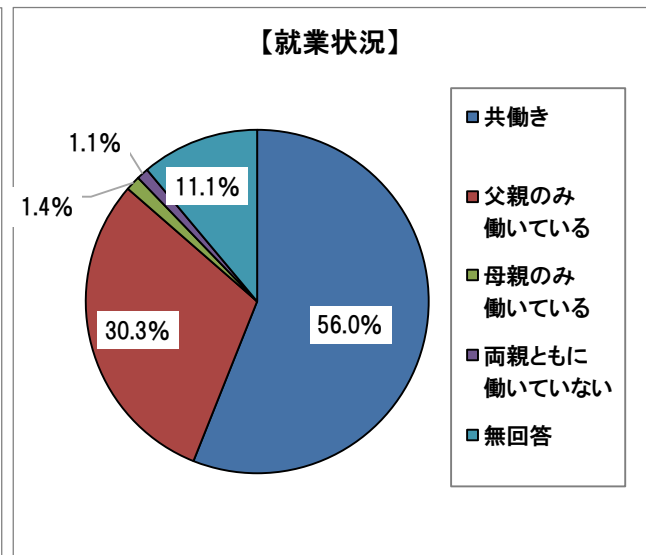
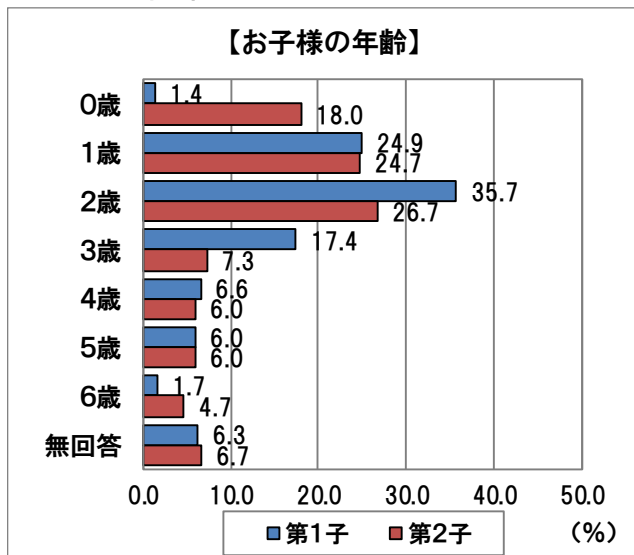
（２）調査期間

令和元年6月

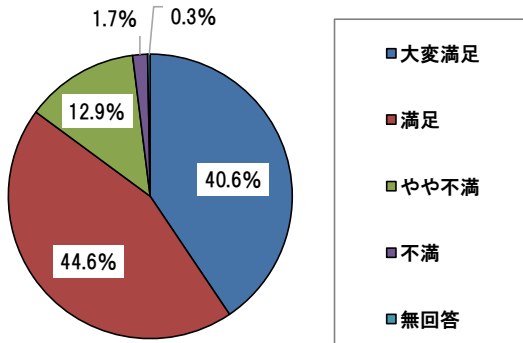
（３）配布等

- ①配布数 690 セット
- ②回収数 350 サンプル
- ③回収率 50.7%

（４）回答

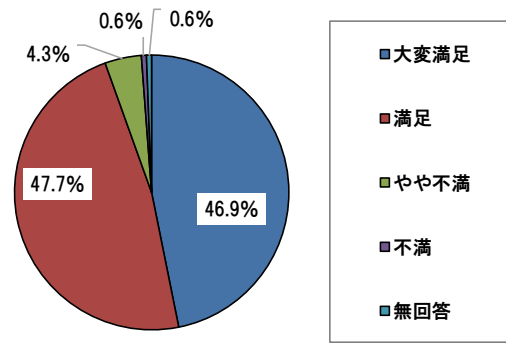


【サービス内容について】



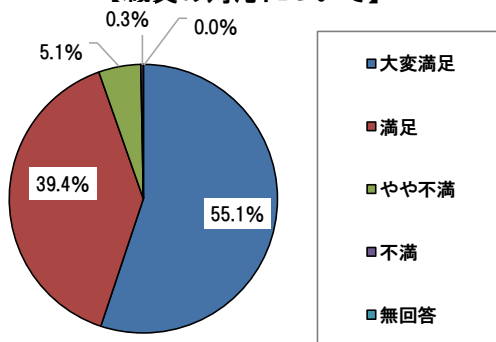
※「やや不満」「不満」の理由
 ・予約がとれない時がある
 ・利用日数が限られる など

【施設について】



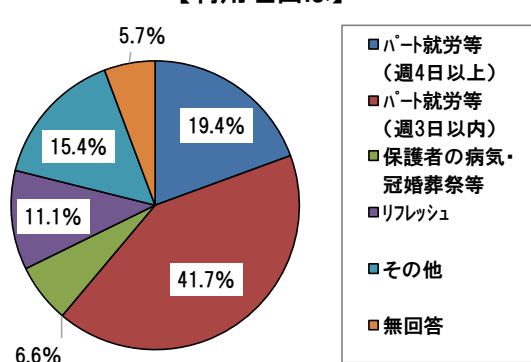
※「やや不満」「不満」の理由
 ・建物が古いため、汚い
 ・園庭が狭い
 ・誰でも入れる状態で怖い など

【職員の対応について】

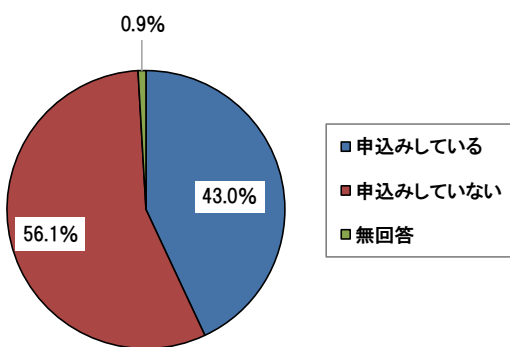


※「やや不満」「不満」の理由
 ・態度の悪い先生がいる
 ・先生が忙しい
 ・子どもの特性を理解してくれようとならない など

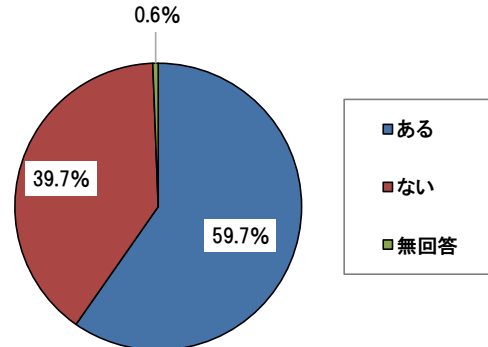
【利用理由は】



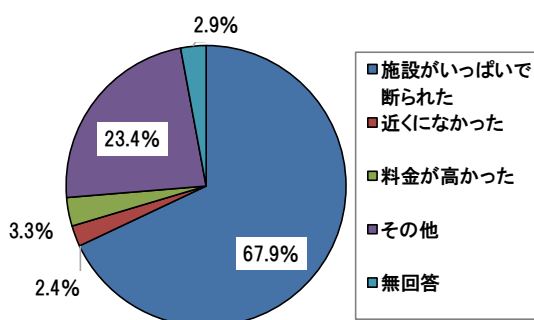
【認可保育所等への申し込みは】



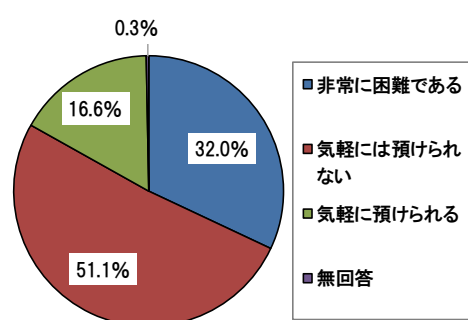
【一時保育を利用できず困ったことは】



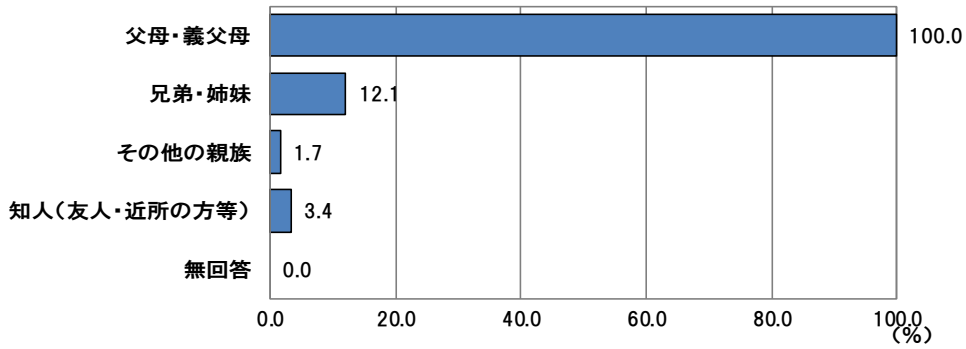
【利用できなくて困った理由は】



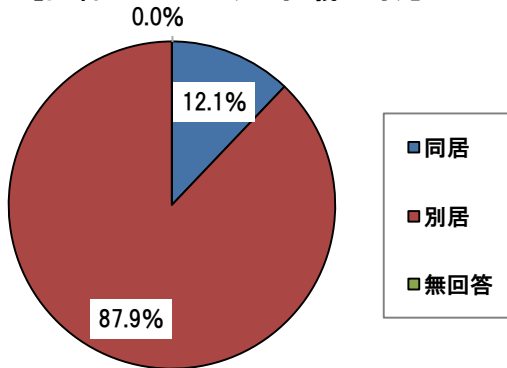
【子どもを親族・知人に預かってもらうことは】



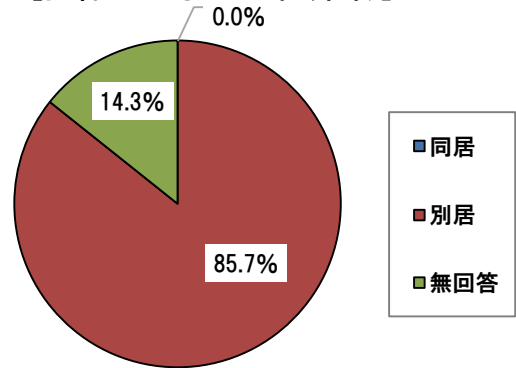
【気軽に預けられると回答した方は、どなたに預けられますか】



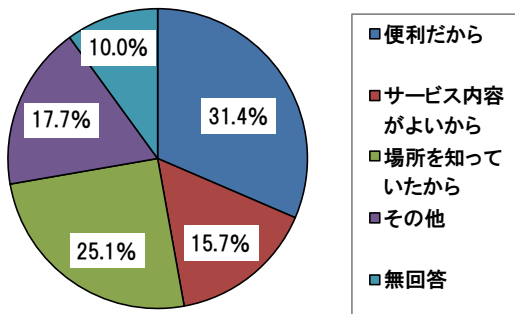
【同居しているか(父母・義父母)】



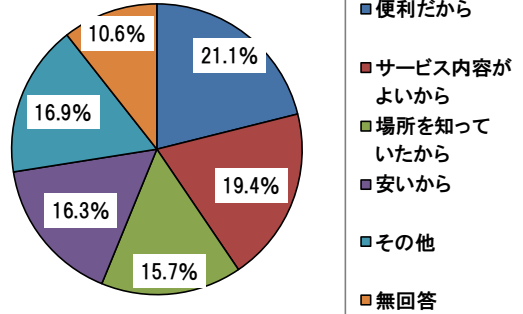
【同居しているか(兄弟・姉妹)】



【子育てリフレッシュステイではなく一時保育を利用した理由】



【民間の託児サービスではなく一時保育を利用した理由】



【自由意見】 155 件

保育料を安くしてほしい	25 件
受け入れ人数を増やしてほしい	22 件
日数制限をなくしてほしい	17 件 他

Ⅷ 子育てリフレッシュステイ

(1) 調査方法

子育てリフレッシュステイを実施している施設（児童養護施設、乳児院、母子生活支援施設）23 箇所、調査期間中の利用者に施設を通じて調査票を配布し、郵送で回収。

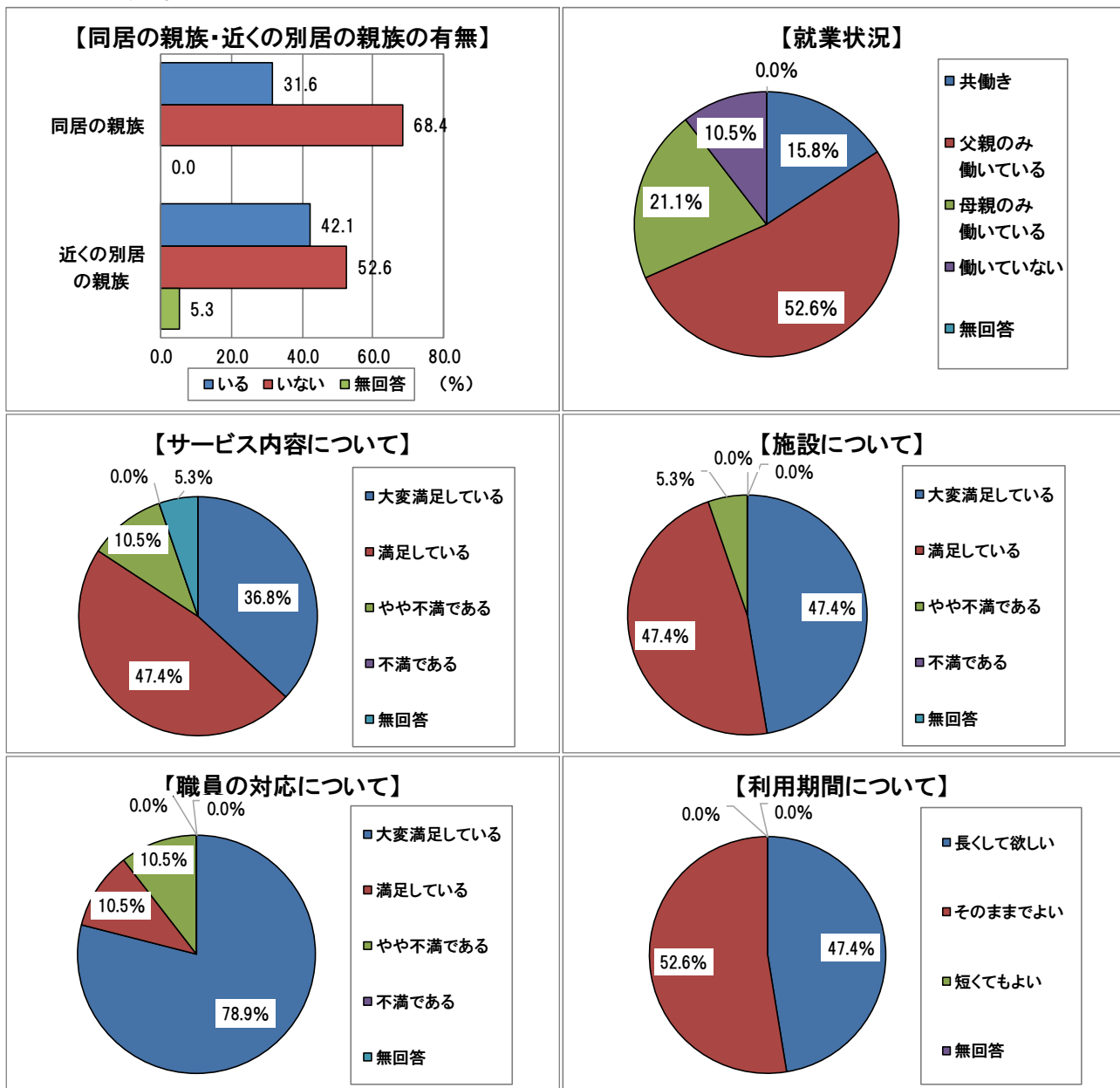
(2) 調査期間

令和元年6月

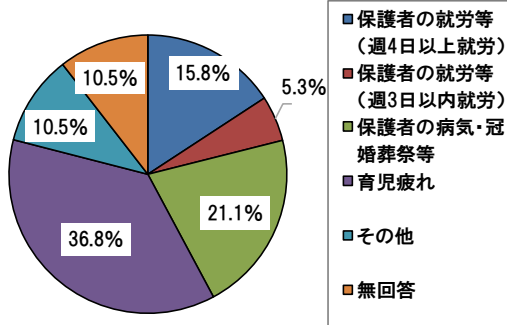
(3) 配布等

- ①配布数 42 セット
- ②回収数 19 サンプル
- ③回収率 45.2%

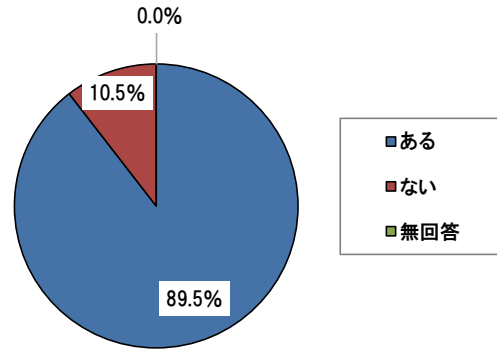
(4) 回答



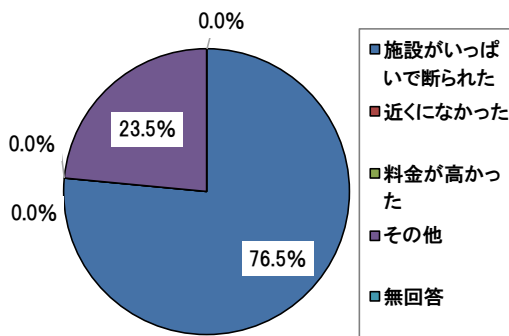
【利用理由について】



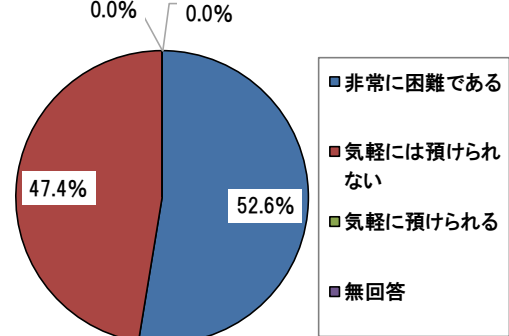
【利用できなくて困ったことは】



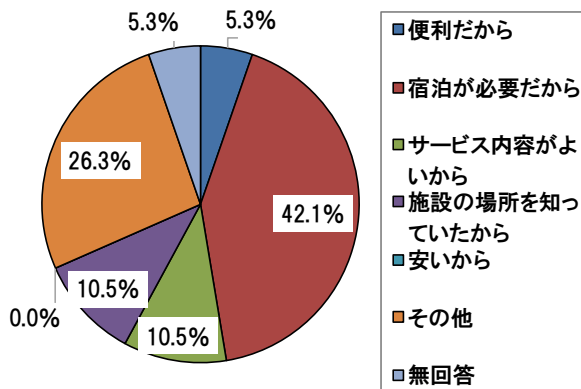
【利用できなくて困った理由は】



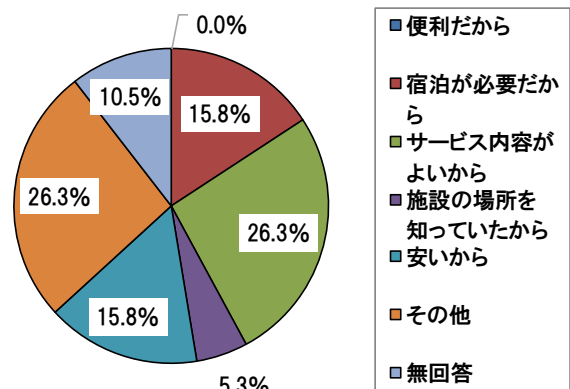
【子どもを親族・知人に預かってもらうことは】



【認可保育所の一時保育ではなくリフレッシュ保育を利用した理由】



【民間の託児サービスではなくリフレッシュ保育を利用した理由】



【自由意見】 8 件

時間延長や利用回数を増やしてほしい
日曜・祝日に利用できる施設を増やしてほしい

他

Ⅸ 病児保育

(1) 調査方法

病児保育を実施している全施設（15 箇所）で、調査期間中の利用者に施設を通じて調査票を配布し、郵送で回収。

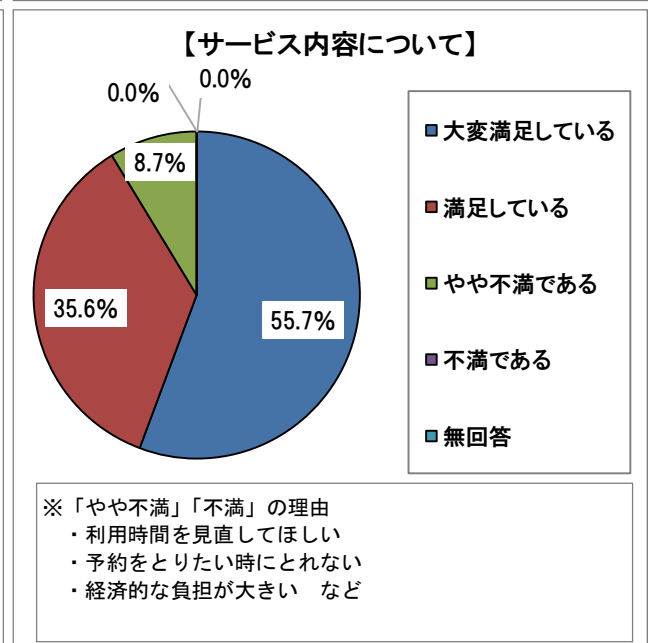
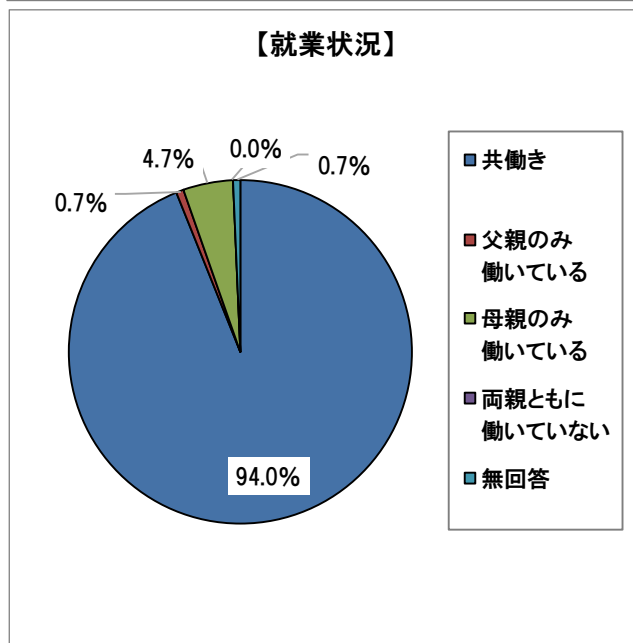
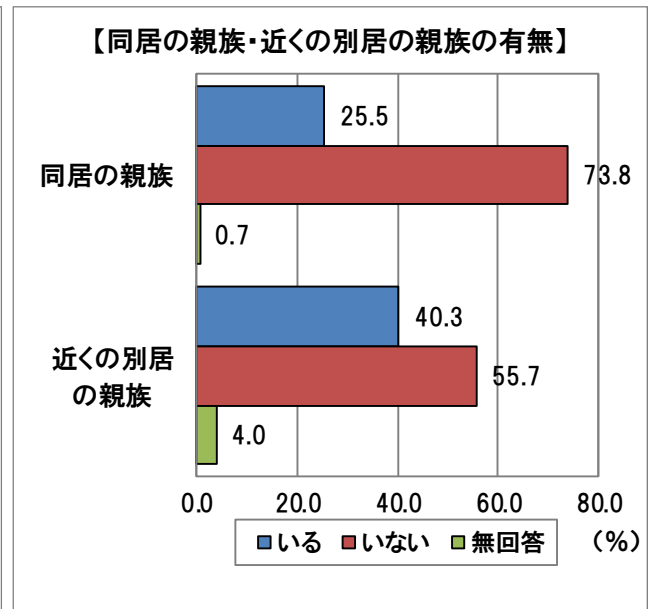
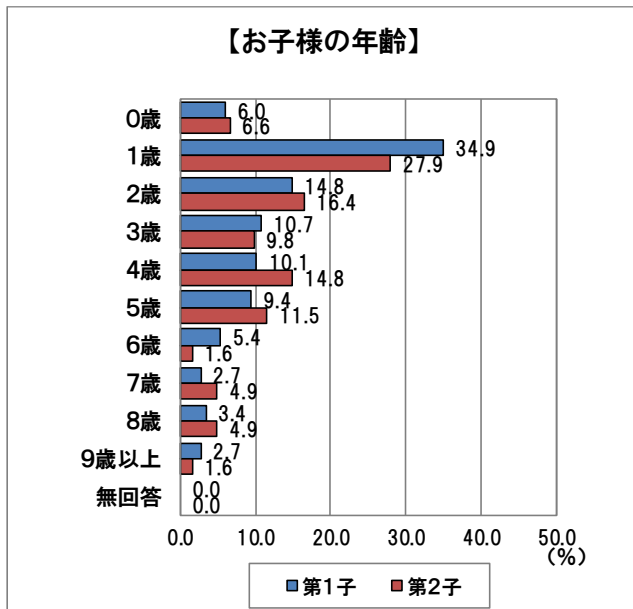
(2) 調査期間

令和元年 6 月

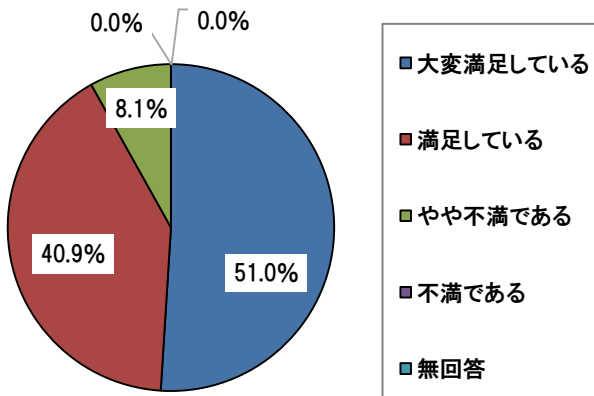
(3) 配布等

- ①配布数 324 セット
- ②回収数 149 サンプル
- ③回収率 46.0%

(4) 回答

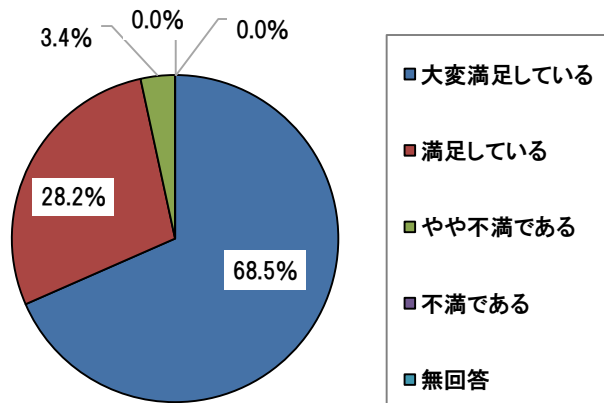


【施設について】

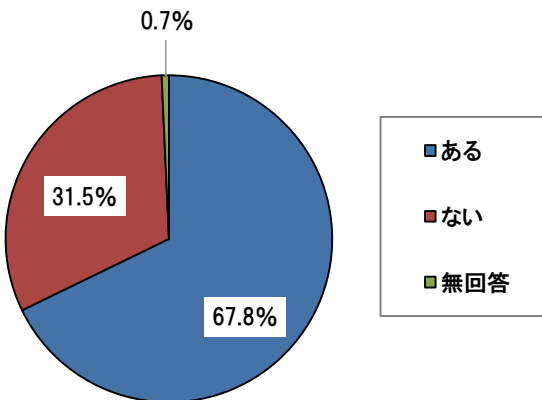


※「やや不満」「不満」の理由
 ・受け入れ枠が少ない
 ・家から遠い など

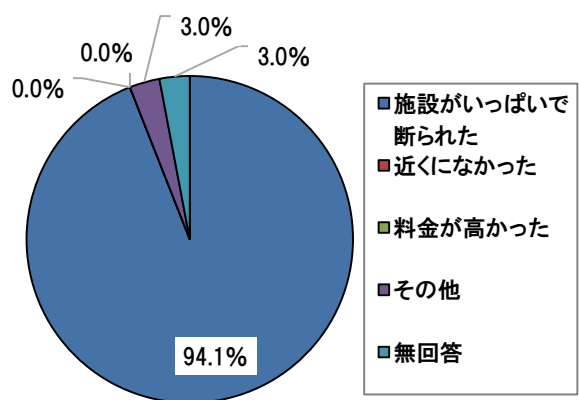
【職員の対応について】



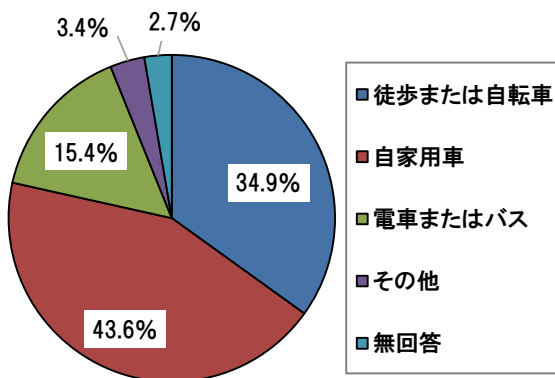
【病児保育が利用できなくて困ったことは】



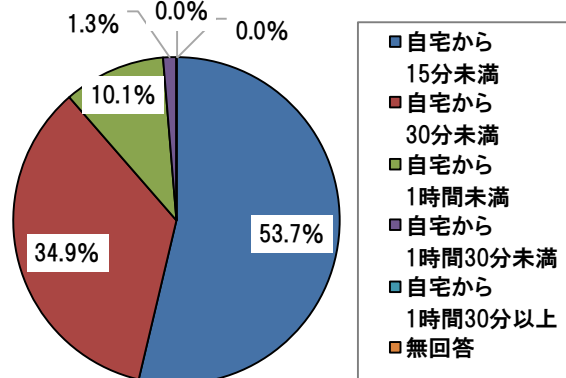
【病児保育を利用できなくて困った理由は】



【主な交通手段は】



【病児保育室までの所要時間】



【自由意見】82件

受け入れ人数を増やしてほしい
 助かっている、満足している
 料金を安くしてほしい

48件
 6件
 5件 他

X ファミリー・サポート・センター

(1) 調査方法

ファミリー・サポート・センター依頼会員(協力会員を兼ねる人を含む)から 300 名を無作為抽出して郵送で配布し郵送で回収。

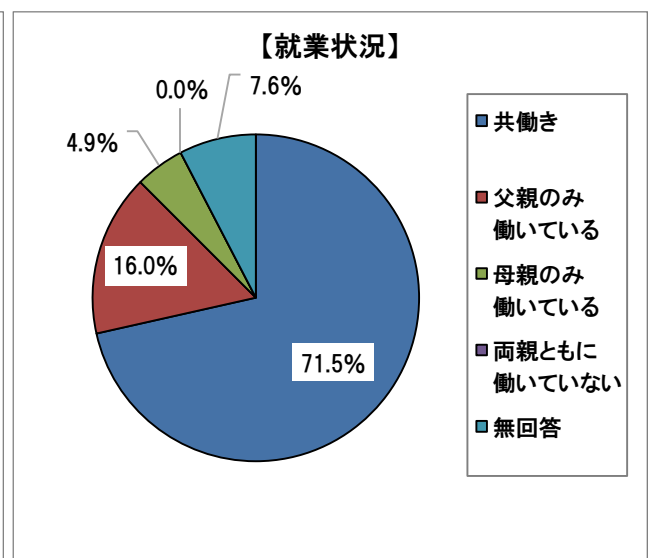
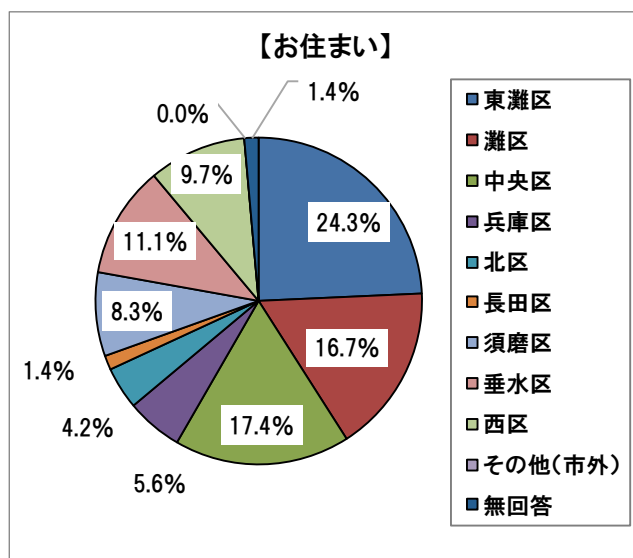
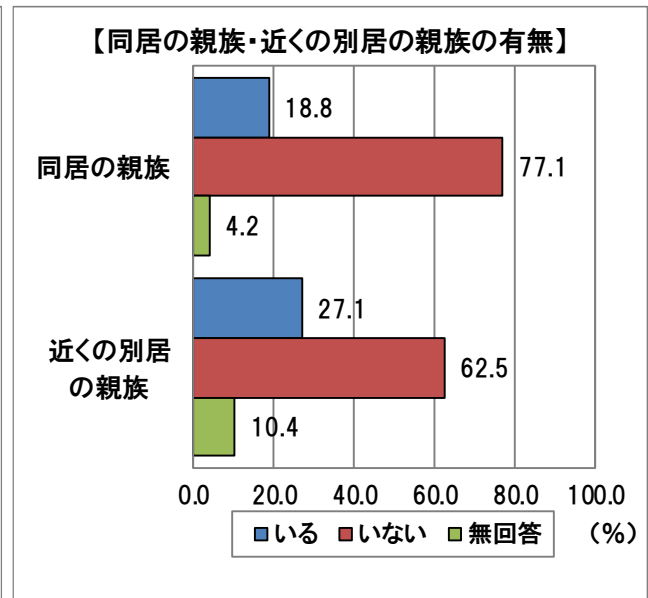
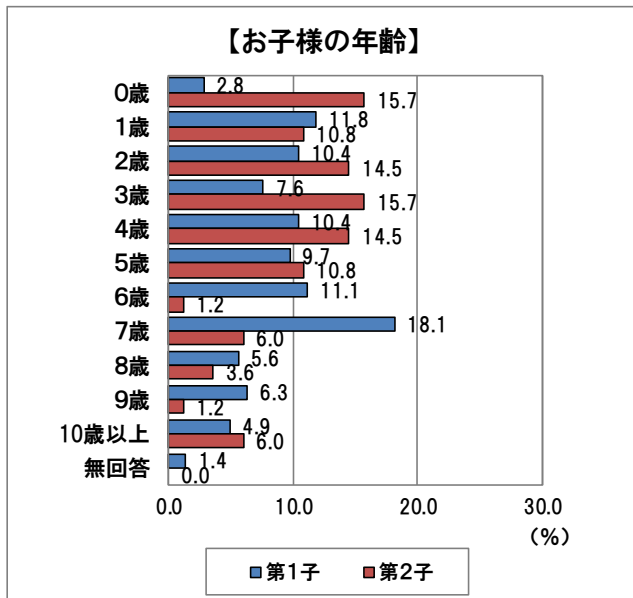
(2) 調査期間

令和元年 6 月

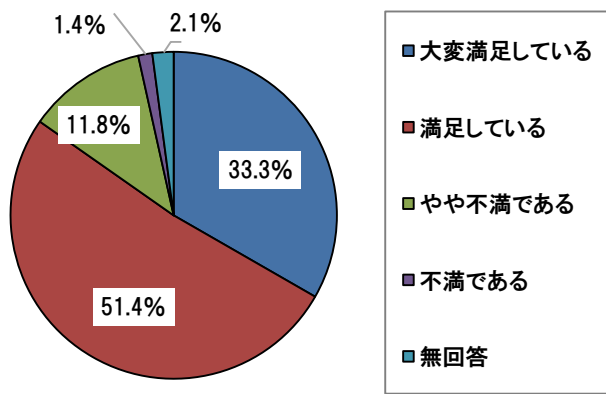
(3) 配布等

- ①配布数 300 セット
- ②回収数 144 サンプル
- ③回収率 48.0%

(4) 回答

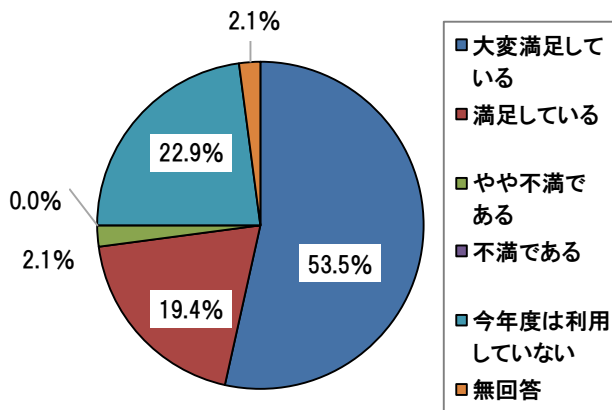


【ファミリー・サポート・センター事業について】



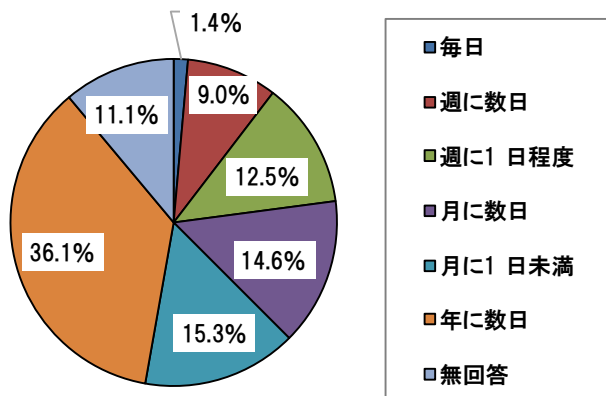
※「やや不満」「不満」の理由
 ・協力会員が少ない
 ・サポートの方との予定が合わない など

【今年度サポートをお願いした協力会員の対応について】

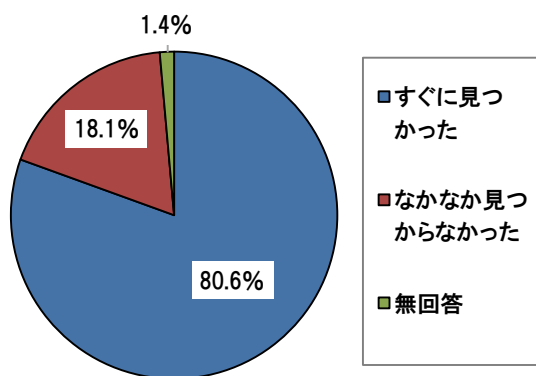


※「やや不満」「不満」の理由
 ・面接で言葉がきつめだと感じた
 ・高齢すぎる、子どもを預けるのに不安 など

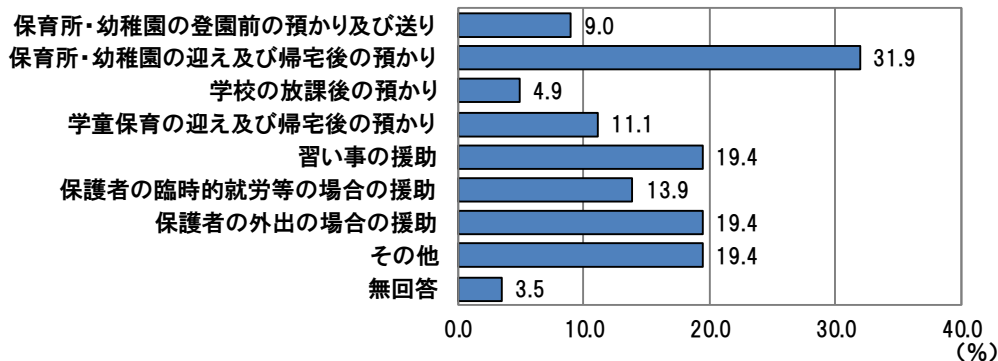
【利用の頻度は】



【当初、依頼に合致する協力会員は】



【依頼される内容】



【自由意見】48件

大変助かっている、制度の充実に期待している 16件
 登録方法を見直してほしい 4件 他

XI 小規模保育

(1) 調査方法

小規模保育を実施している施設（115 箇所）で、調査期間中の利用者に施設を通じて調査票を配布し、郵送で回収。

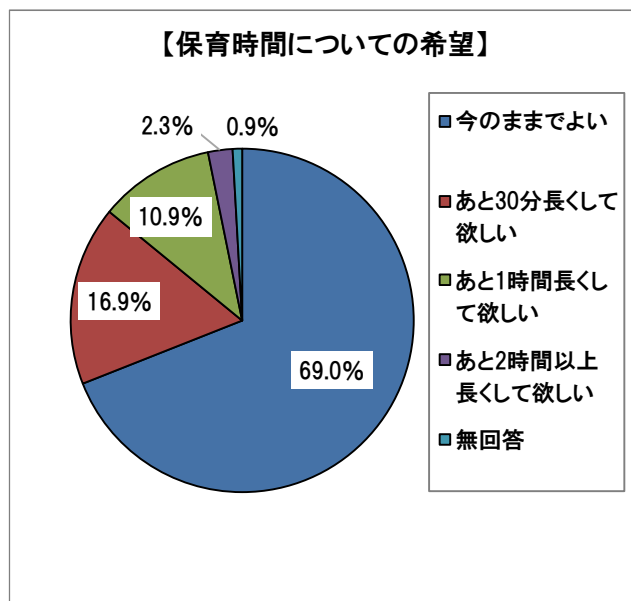
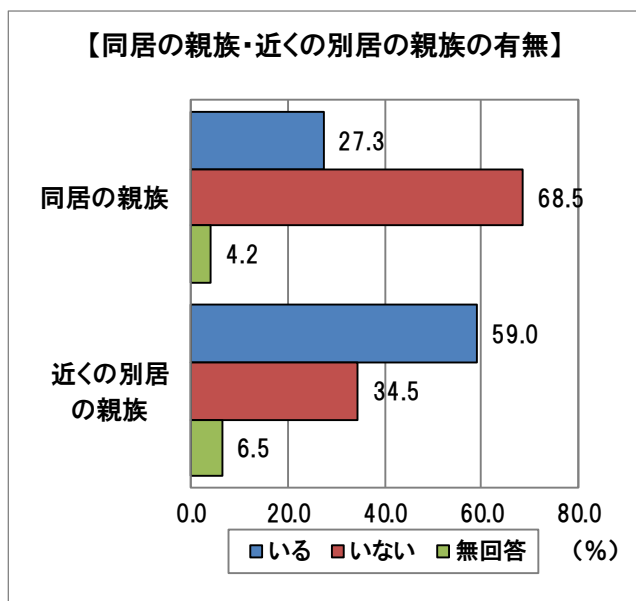
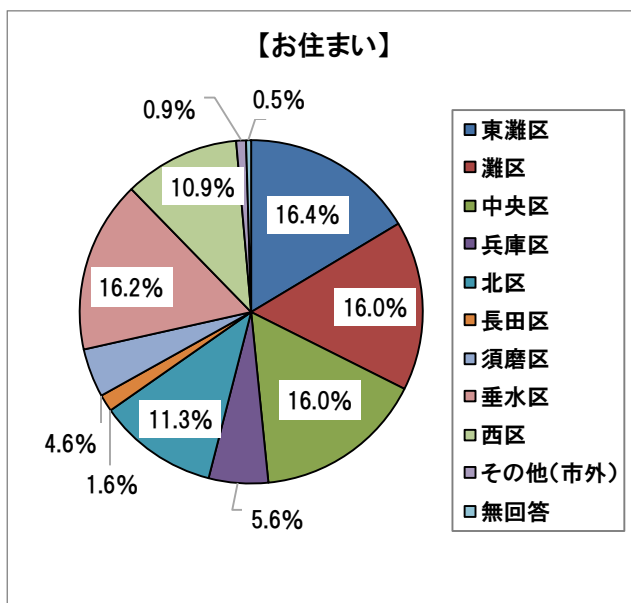
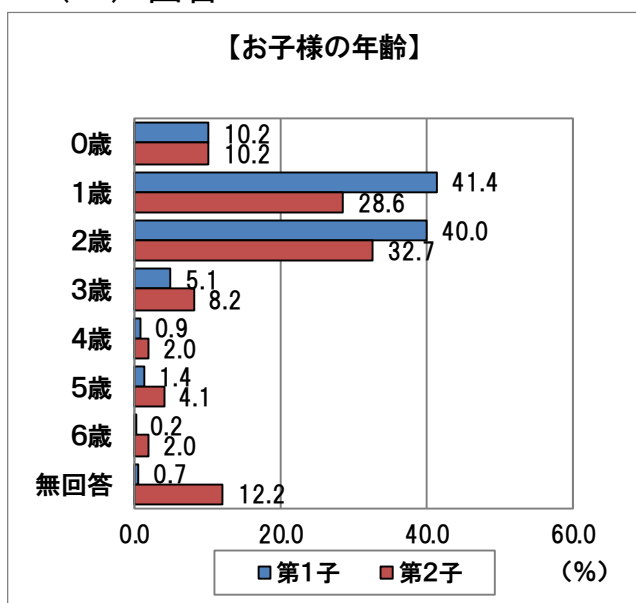
(2) 調査期間

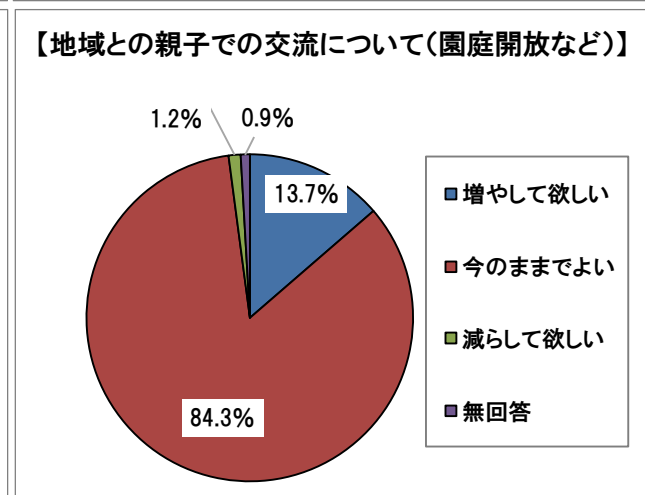
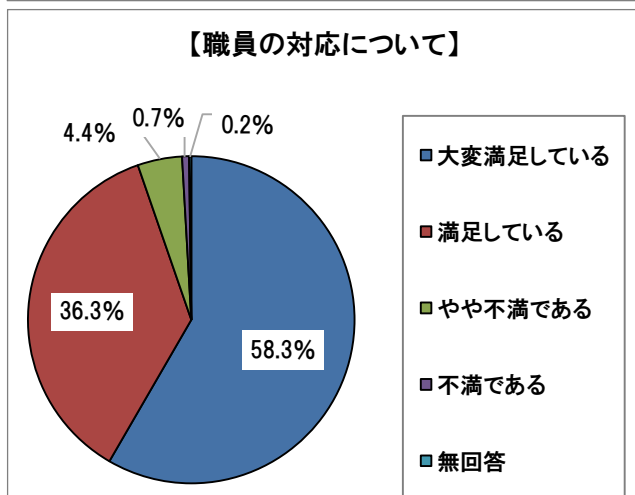
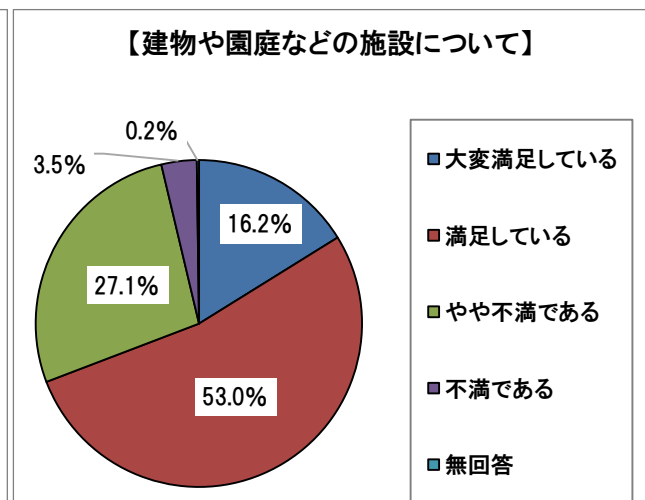
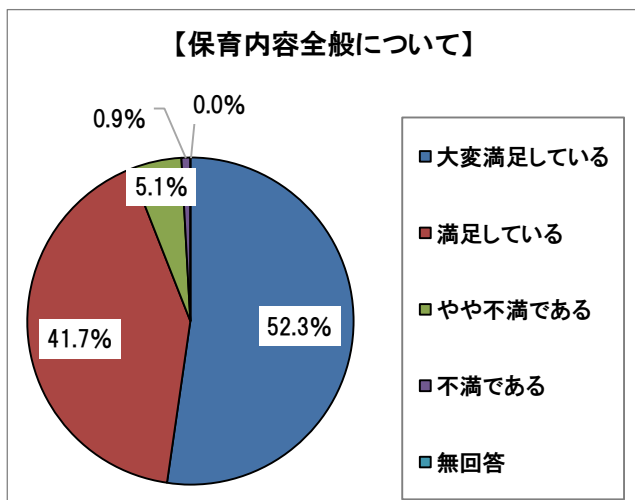
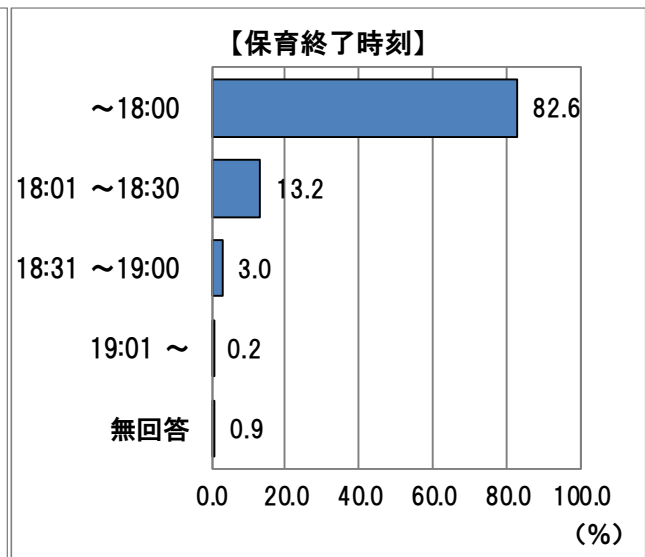
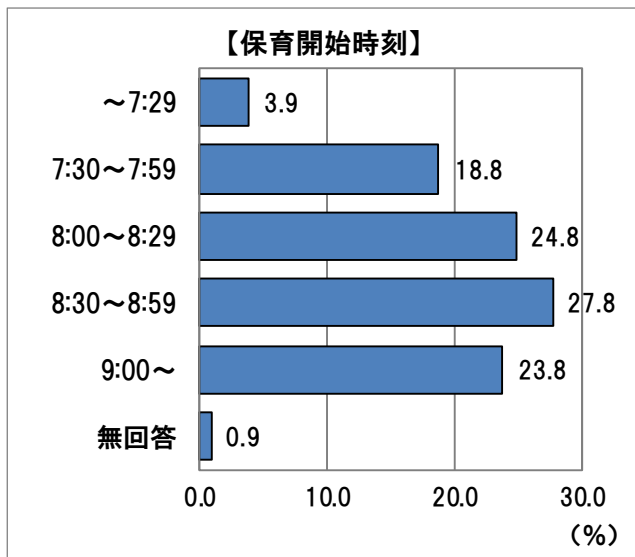
令和元年6月

(3) 配布等

- ①配布数 580 セット
- ②回収数 432 サンプル
- ③回収率 74.5%

(4) 回答





【自由意見】160件

小規模保育園卒園後に通える保育所・認定こども園を増やしてほしい	41件
保育料を見直してほしい	16件
保育士の処遇を改善し、人員体制を充実させ、保育の質を上げてほしい	12件 他

XII 事業所内保育

(1) 調査方法

事業所内保育を実施している施設（15 箇所）で、調査期間中の利用者に施設を通じて調査票を配布し、郵送で回収。

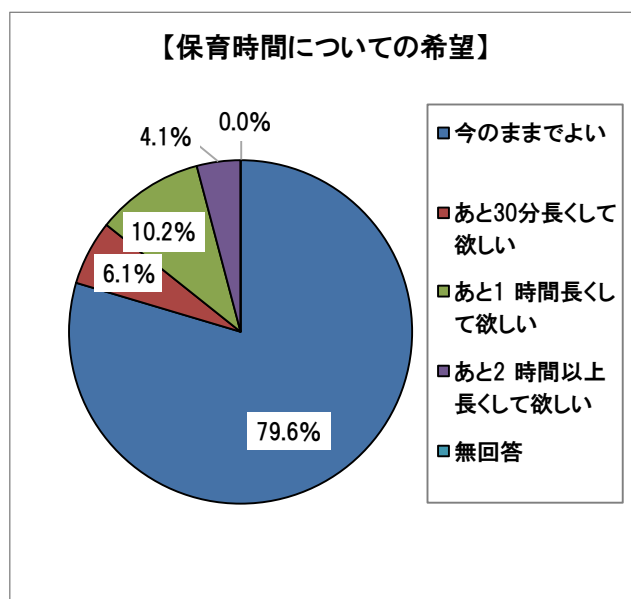
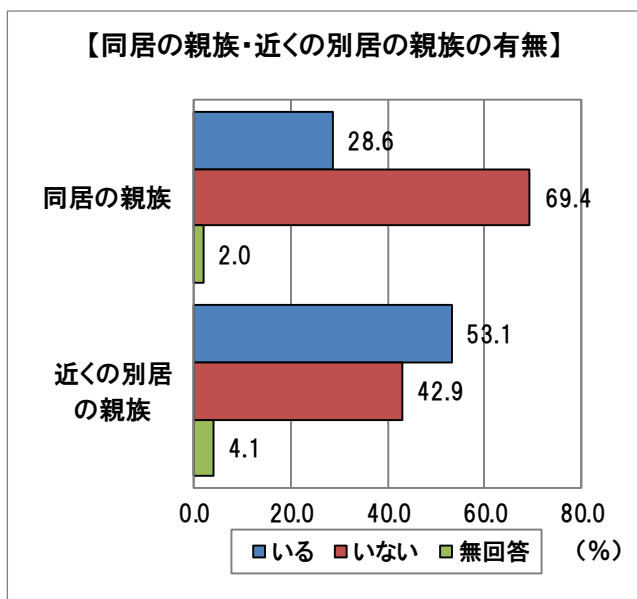
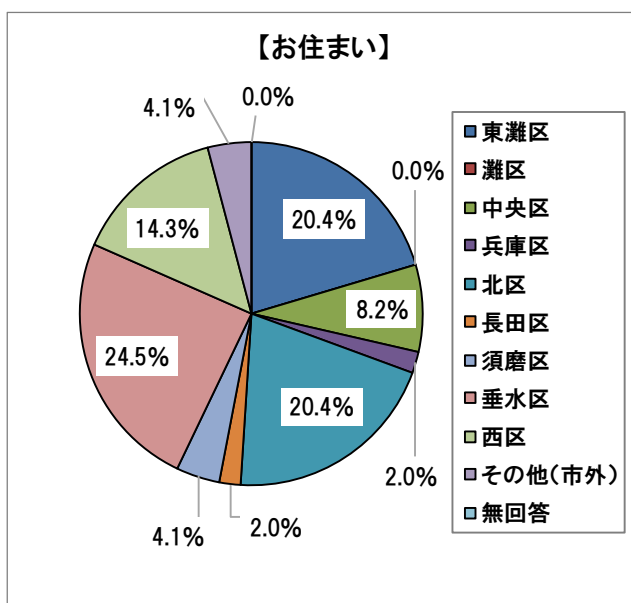
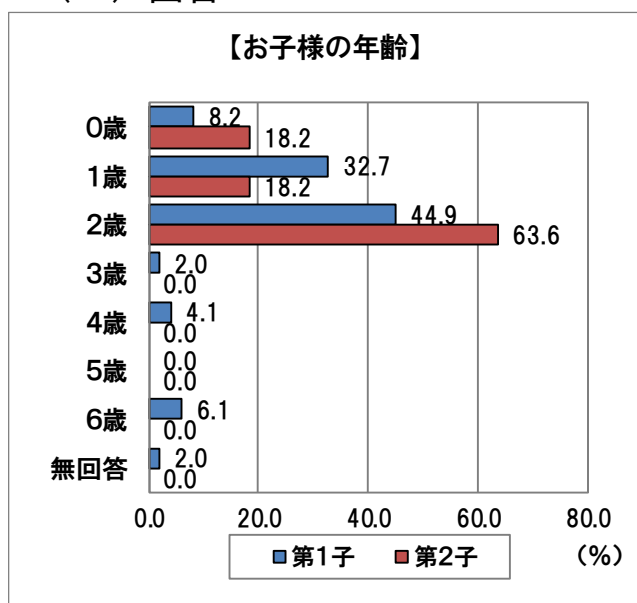
(2) 調査期間

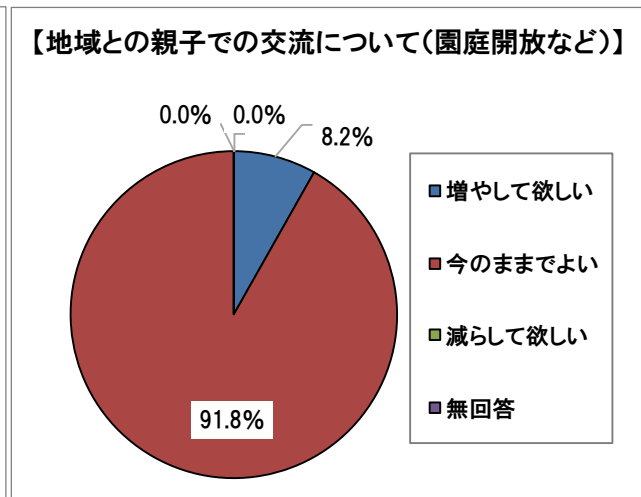
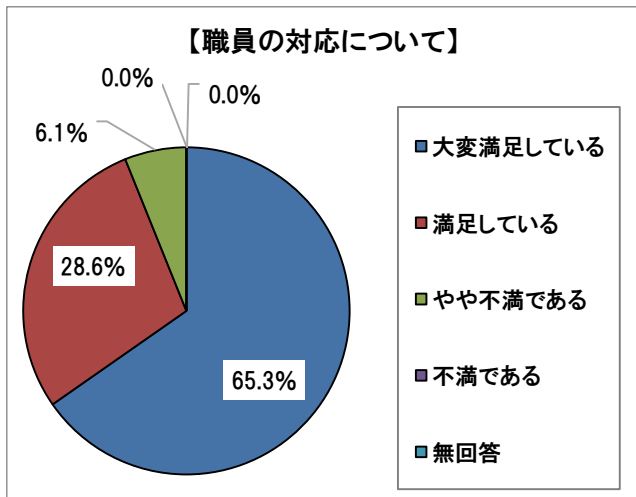
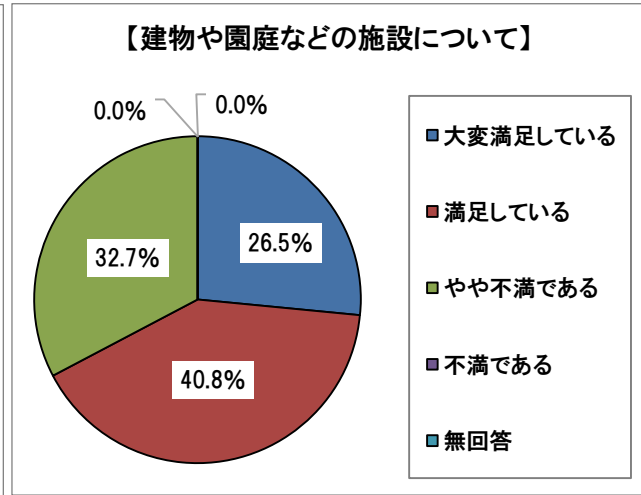
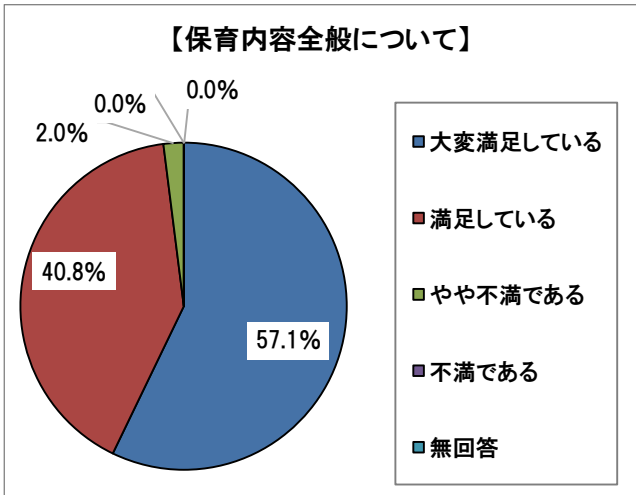
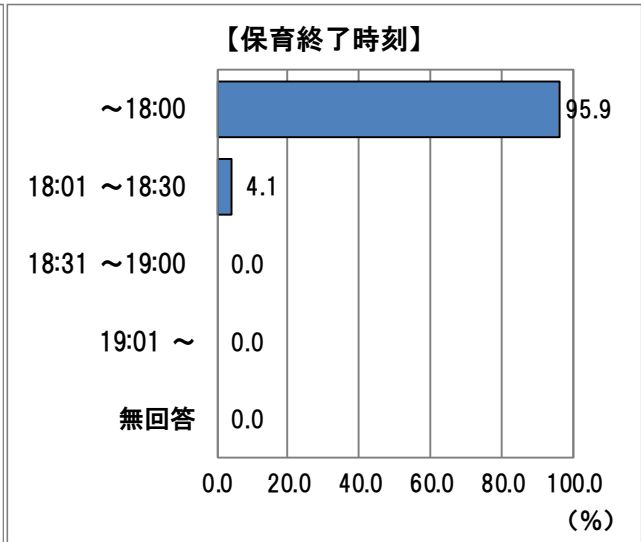
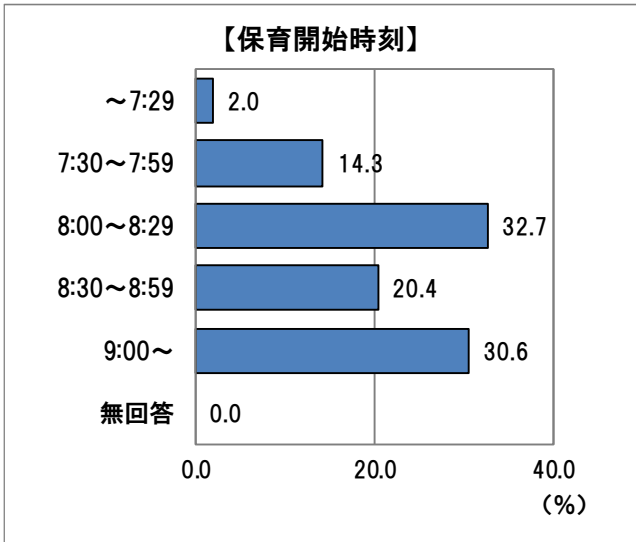
令和元年6月

(3) 配布等

- ①配布数 64 セット
- ②回収数 49 サンプル
- ③回収率 77.8%

(4) 回答





【自由意見】19件
 職員の方の対応がよく、感謝している。
 働く親にとって預けやすくしてほしい。

他

XIII 家庭的保育

(1) 調査方法

家庭的保育を実施している施設（25 箇所）で、調査期間中の利用者に施設を通じて調査票を配布し、郵送で回収。

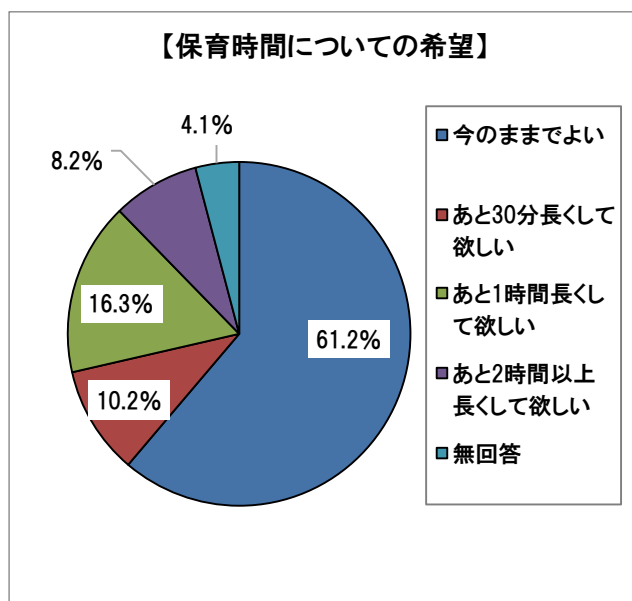
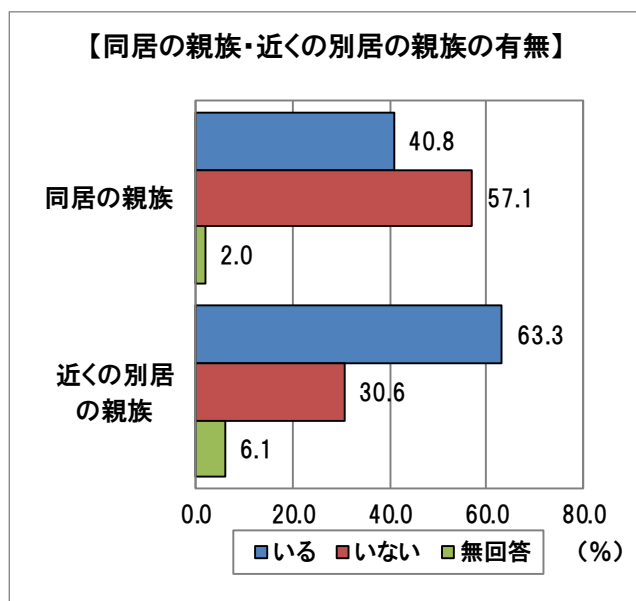
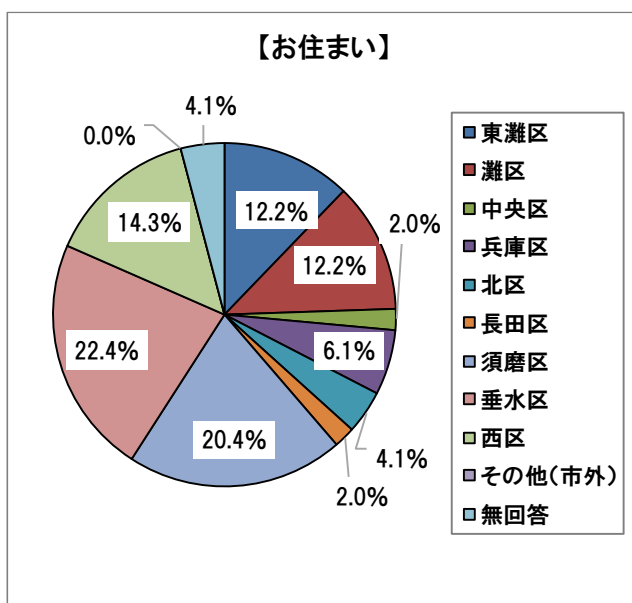
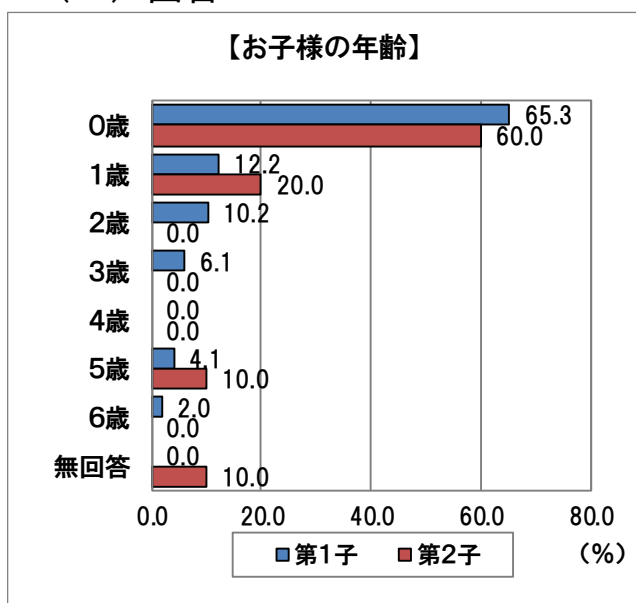
(2) 調査期間

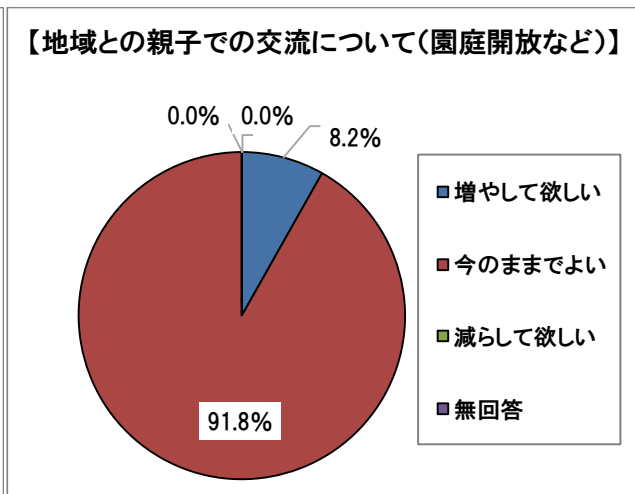
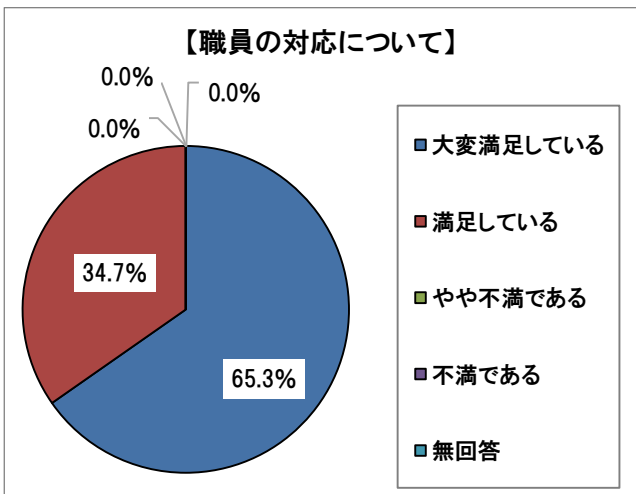
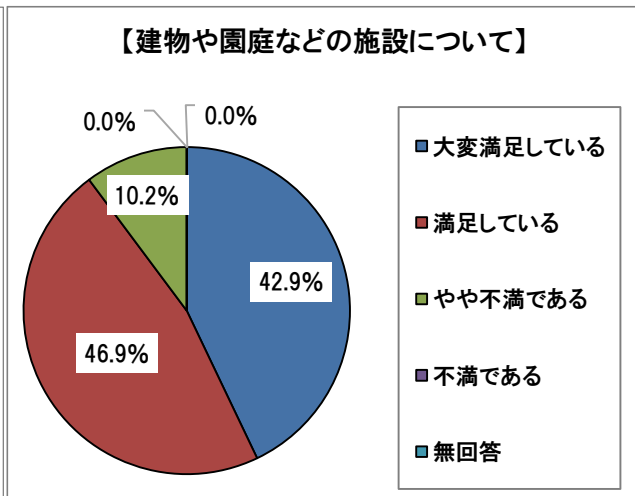
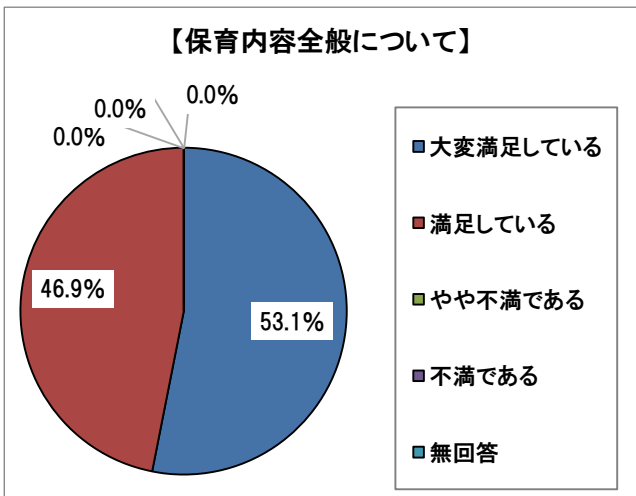
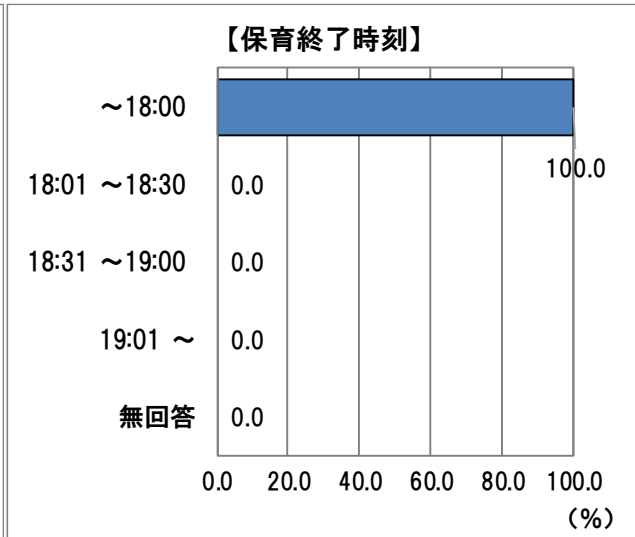
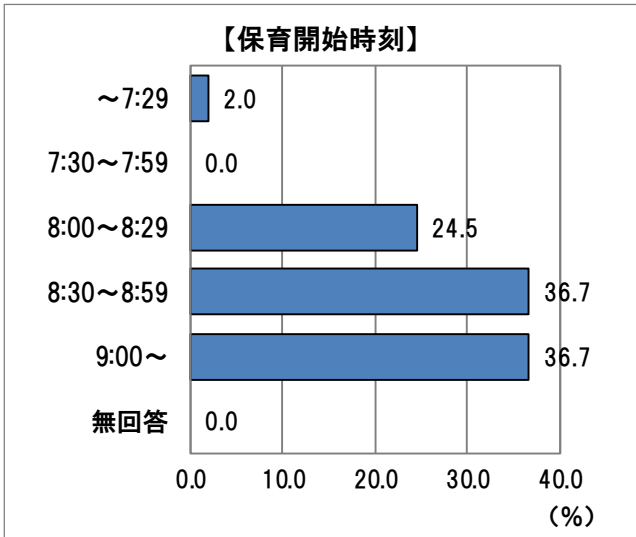
令和元年6月

(3) 配布等

- ①配布数 87 セット
- ②回収数 49 サンプル
- ③回収率 56.3%

(4) 回答





【自由意見】14件
 卒園後の受け入れ先が見つかるか不安
 他

3 企業調査結果

(1) 調査方法

市内企業のうち、従業員数 101 人以上の企業の事業主

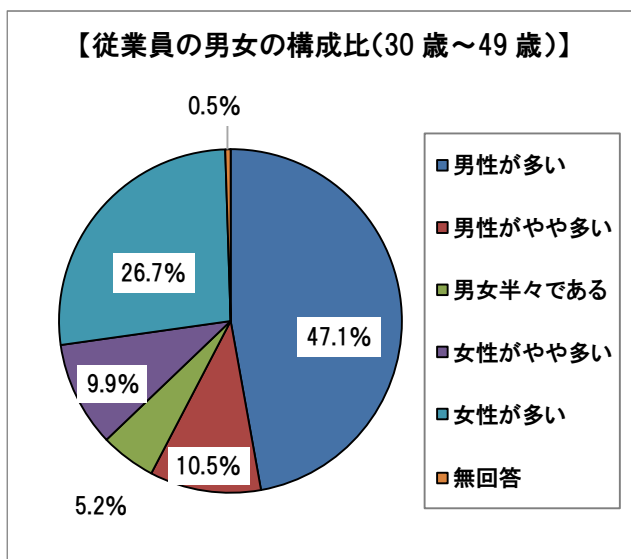
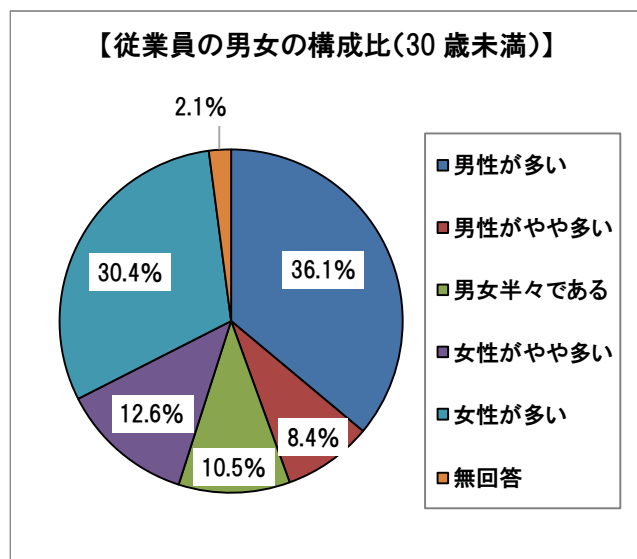
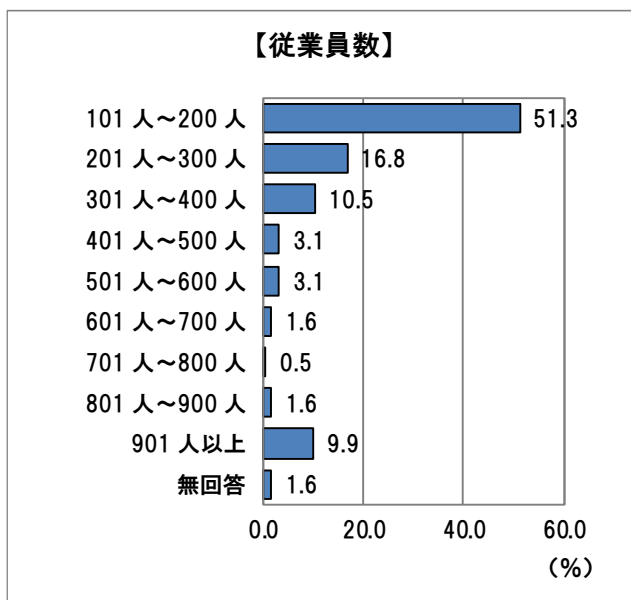
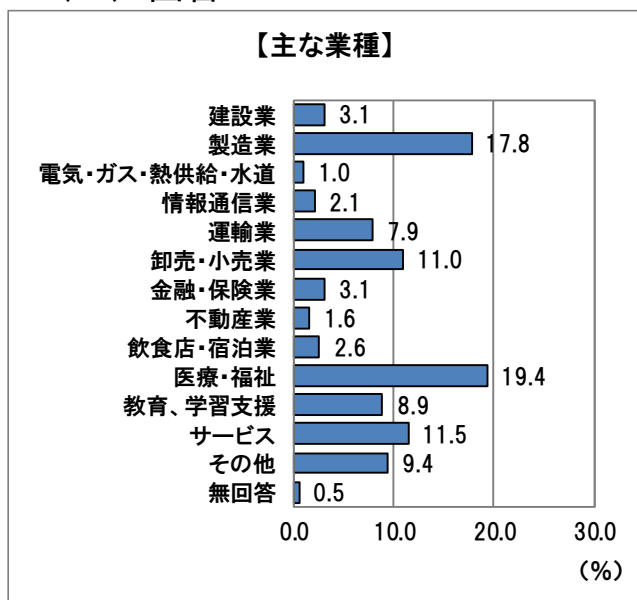
(2) 調査期間

令和元年 6 月

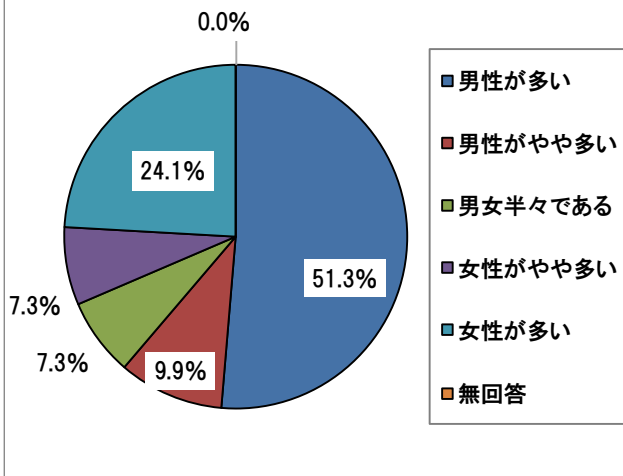
(3) 配布等

1. 配布数 602 セット
2. 回収数 191 サンプル
3. 回収率 31.7%

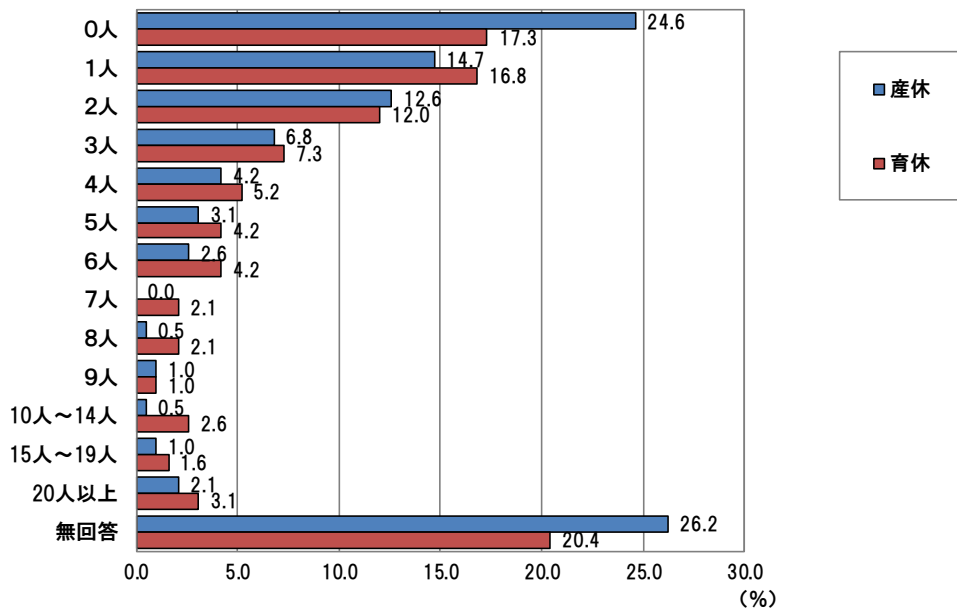
(4) 回答



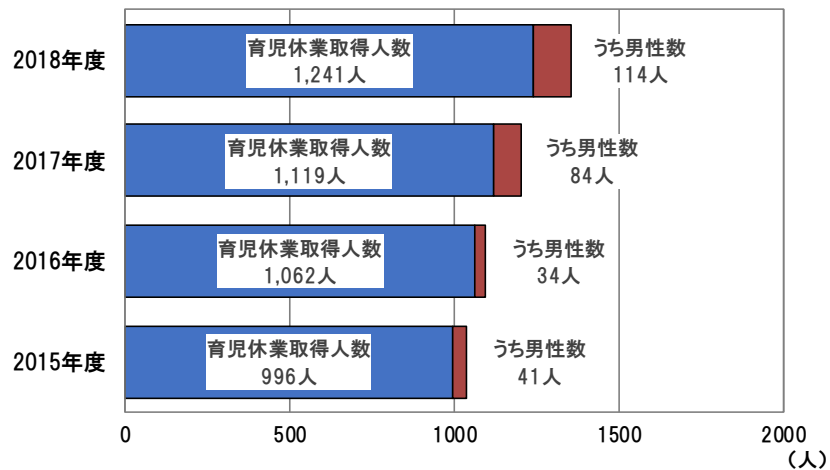
【従業員の男女の構成比(50歳以上)】



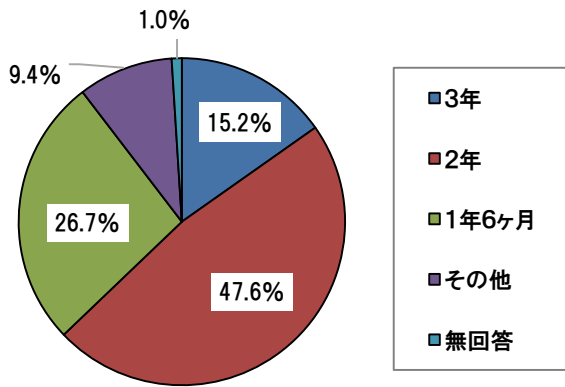
【産休・育休の取得状況(2019年度見込み)】



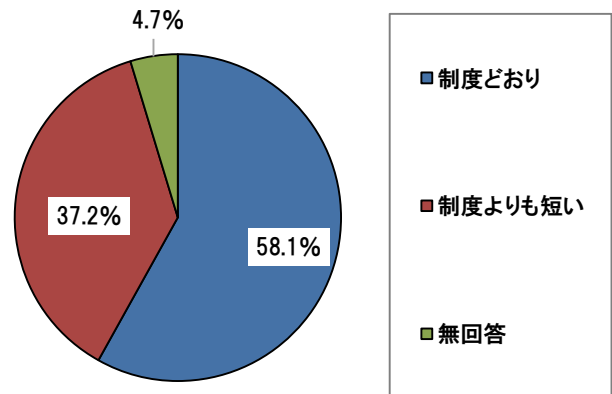
【育休の取得状況】



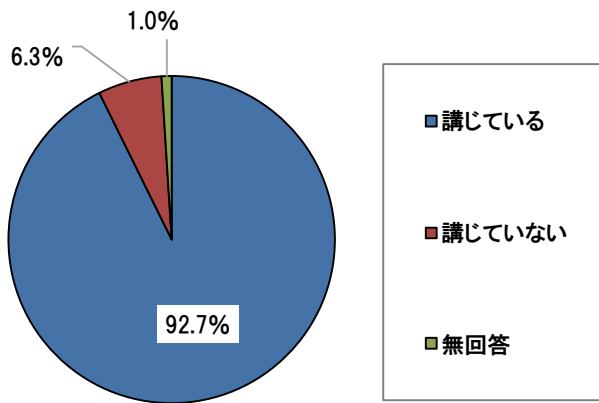
【育児休業の期間について】



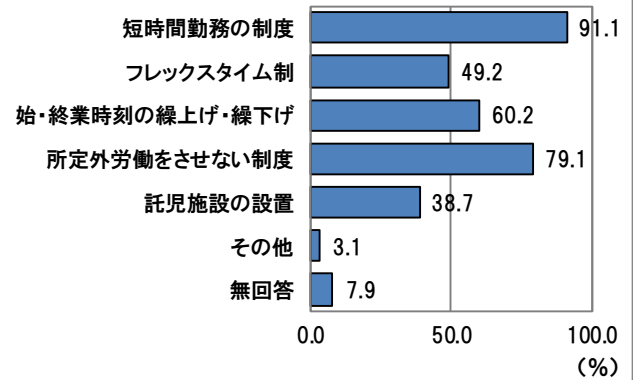
【育児休業の取得状況について】



【労働時間の短縮等の措置について】

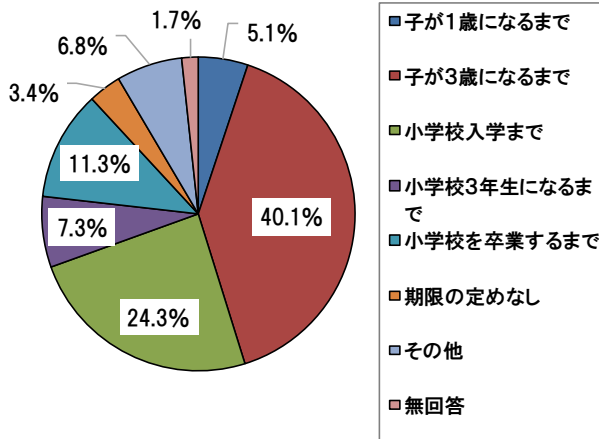


【育児支援のために講じている施策について】

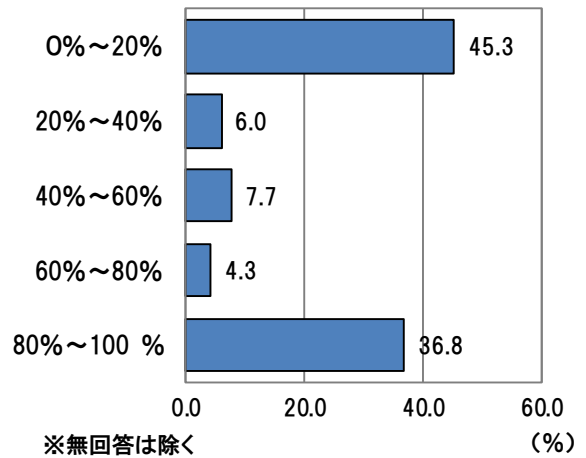


※「その他」の回答としては、「在宅勤務」「深夜業の制限」「時間外労働の制限」「子の看護休暇」があった。

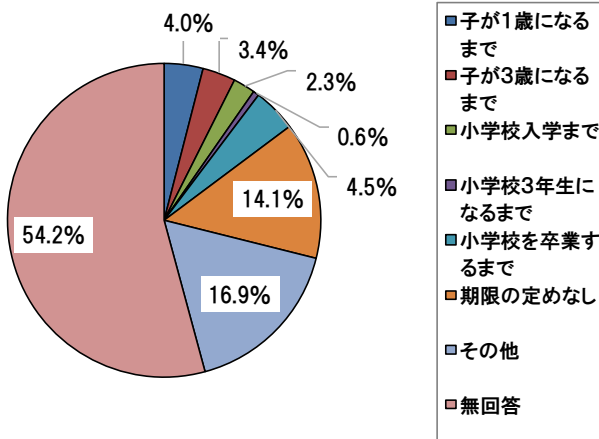
【短時間勤務の制度(取得期間)】



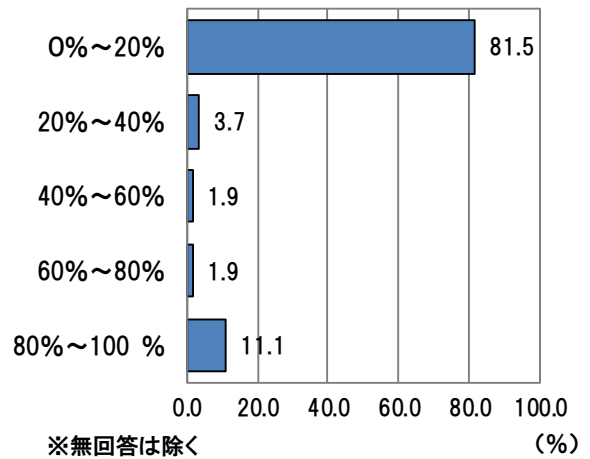
【短時間勤務の制度(利用割合)】



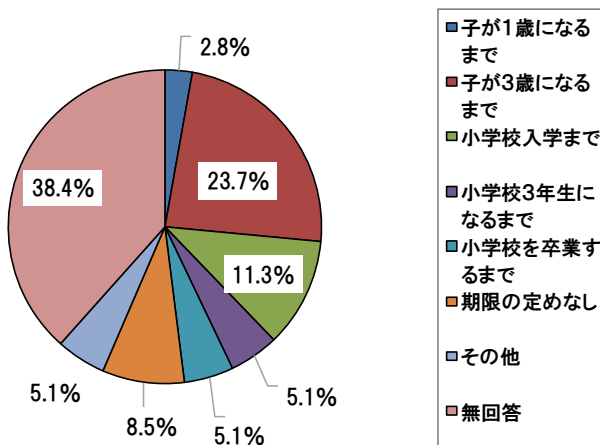
【フレックスタイム制(取得期間)】



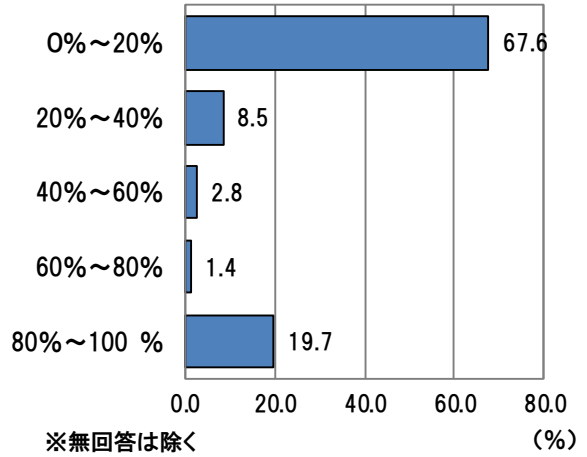
【フレックスタイム制(利用割合)】



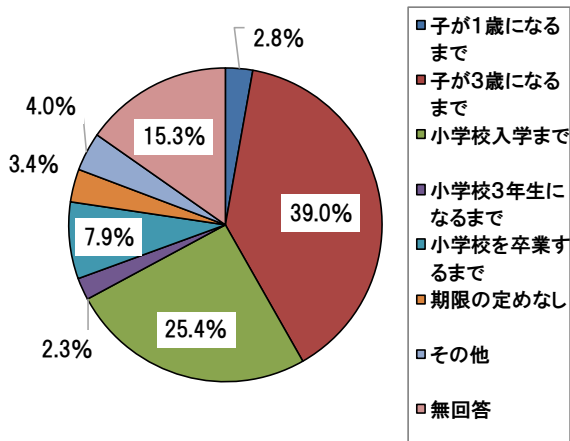
【始・終業時刻の繰上げ・繰下げ(取得期間)】



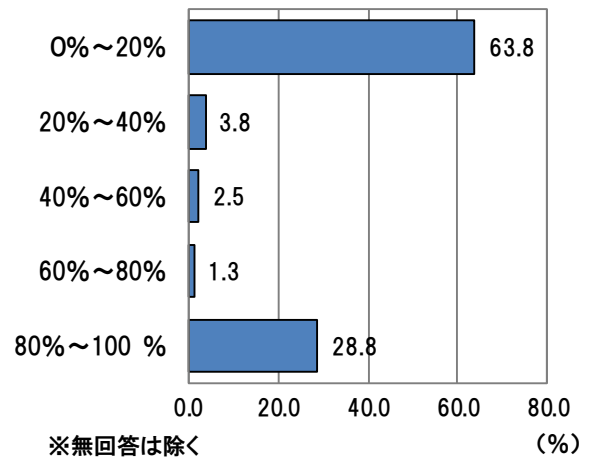
【始・終業時刻の繰上げ・繰下げ(利用割合)】



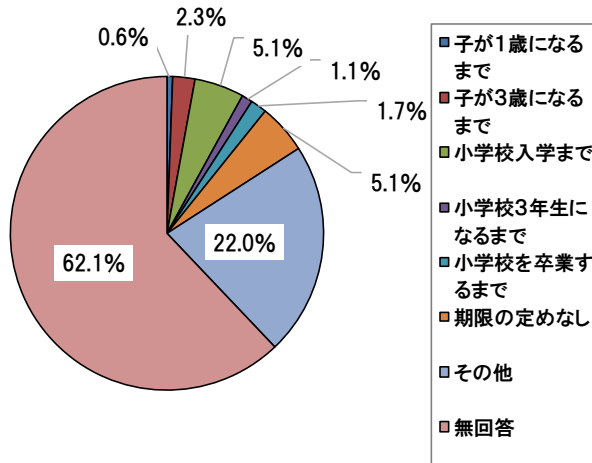
【所定外労働をさせない制度(取得期間)】



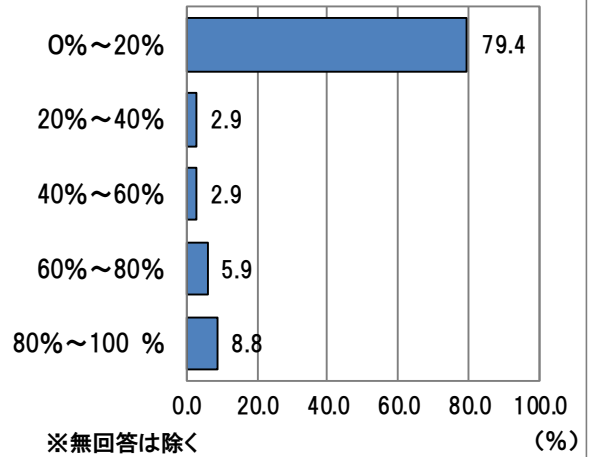
【所定外労働をさせない制度(利用割合)】



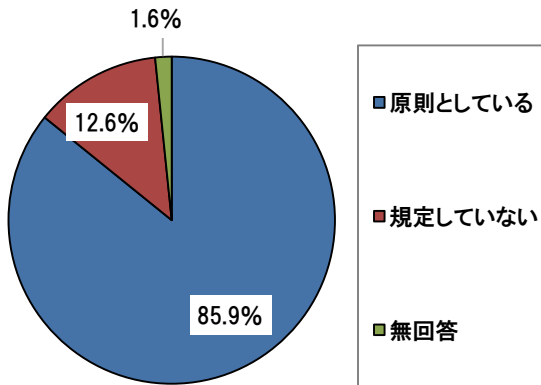
【託児施設の設置(取得期間)】



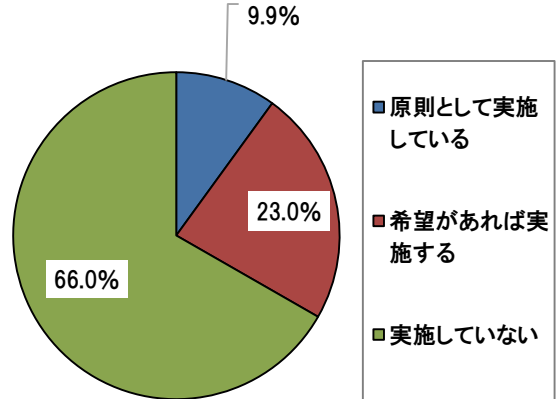
【託児施設の設置(利用割合)】



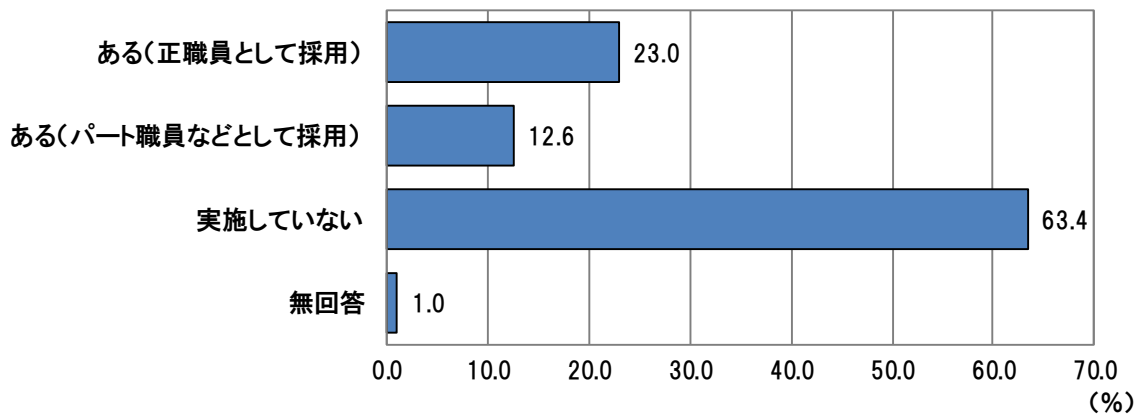
【現職復帰を規定しているか】



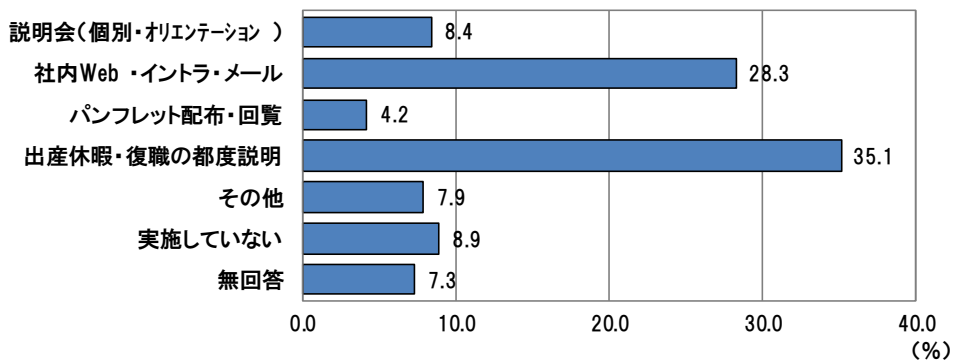
【育児休業からの復帰プログラム】



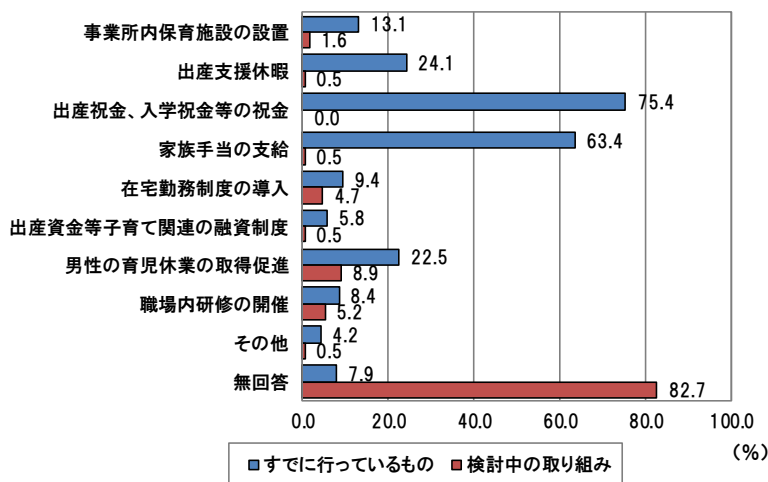
【従業員の再雇用制度の有無】



【制度を周知するための取組みを行っているか】

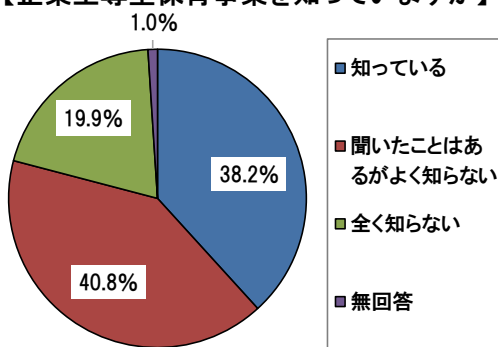


【子育て支援のための対策としての考え】

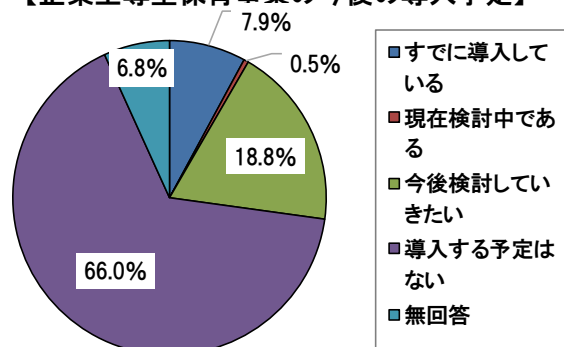


※「その他」の回答としては、「保育料金の補助」「子の看護休暇」があった。

【企業主導型保育事業を知っていますか】



【企業主導型保育事業の今後の導入予定】



【自由意見】31件

待機児童の解消・保育所整備	9件
補助金・助成金の支給	5件
病児保育	3件
学童保育の充実	3件
保育士への支援	3件
事業所内の託児所設置への支援	1件
その他	7件

4. 平成 30 年度 主な事業進捗状況

1. 結婚・妊娠・出産・子育て期における切れ目のない支援

(1) 結婚・妊娠・出産・子育てにあたたかい街こうべの実現

子育てに関する施策や施設を、5つのカテゴリーに集約し、「子育てするなら神戸！100の理由」としてまとめ、市内や近隣市で一斉にキャンペーンを展開しました。

また、子育て応援サイト「ママフレ」による情報発信や「こうべ子育て応援メール」の配信、子育て情報を広報紙KOBÉへ毎月掲載するなど、子育てに関する情報を必要な方に届ける仕組みづくりを行うとともに、「5つのいいね！」をキャッチフレーズに保育人材確保プロモーションに取り組みました。

(2) 母子保健の充実

各区役所・支所に専任の母子保健コーディネーターを配置し、妊娠期から子育て期のすべての妊産婦等の相談に総合的に対応できるよう、切れ目のない支援に努めました。また、新たに産婦健康診査の費用助成を開始するとともに、生後4か月を迎えるまでの乳児のいる全世帯を対象に新生児訪問指導・乳幼児健康診査を行い、乳児と保護者の心身の様子や養育環境を把握し、育児支援や児童虐待の防止に努めました。さらに、産後うつ病を早期発見し、重症化を予防するため、保健師などによる産後うつスクリーニングを実施し、支援が必要な母親には保健師による家庭訪問や臨床心理士によるカウンセリング等を行いました。

(3) 経済的支援の推進

中学3年生までの全ての子どもが無料もしくは低額な負担金で医療機関を受診できるよう医療費を助成しました。医療費負担が大きい小児慢性特定疾病の自己負担額の軽減を図ったほか、特定不妊治療（体外受精・顕微授精）にかかる費用及び特定不妊治療と併せて実施した男性不妊治療に要する費用を助成しました。

2. 地域における子育て支援の充実と青少年の健全育成の推進

(1) 地域施設・人材と連携した子育て支援

地域における子育て支援及び児童の健全育成の強化・充実を図るため、児童館の運営を行いました。また、学齢前の子どもが遊びを通じて体力・知力の向上を図ることができるよう、室内で安全に思い切り遊べる拠点として「こべっこあそびひろば」の整備を進めました。さらに、小中学生を対象とした食事の提供や学習支援等、放課後等に子どもが安心して過ごせる居場所づくりの取り組みを実施する地域団体等を支援しました。このほか、学童保育施設では、過密解消を図るとともに、放課後児童支援員の処遇改善や特に配慮が必要な子どもに対応する放課後児童支援員を確保し、運営体制の強化を図りました。

また、こども家庭センターの子どもたちを取り巻く施設環境を抜本的に改善し、増加する相談件数に対応するとともに、こべっこランドを再整備するため、令和3年度の完成に向けて設計業務等に着手しました。

(2) 青少年の健全育成

青少年が自由に立ち寄り、サークル活動や異世代間の交流が行えるよう家庭・学校以外の居場所としてユースプラザ等の運営を行いました。また、青少年育成協議会を中心に地域で、子どもの安全・安心の確保のための見守り活動や、地域行事において子どもに役割を与え、自主性や社会性を育むための体験活動の実施に取り組みました。さらに、地域ぐるみで子どもたちの健やかな育ちを応援するため、「神戸っ子応援団」を展開し、安定的・継続的な活動の支援を行いました。このほか、インターネットの正しい使い方や危険性などについて、啓発活動をはじめとするネット社会への対応の推進等に取り組みました。

3. 仕事と子育ての両立支援

(1) 質の高い教育・保育の総合的な提供及び多様な地域子育て支援事業の推進

一時金給付による新卒保育士等の確保や潜在保育士等の職場復帰支援、宿舍借り上げ支援の拡充など、保育士確保対策に重点的に取り組むとともに、保育所等における医療的ケア児の受け入れ体制を整備しました。また、潜在的な保育需要や女性の就労機会の増加を踏まえ、保育所等待機児童解消のため、教育・保育施設、小規模保育の整備や、幼稚園や認定こども園への移行等により約 500 人分の保育定数を確保しました。このほか、地域人材を活用し、子育ての応援をしてほしい人と子育ての応援をしたい人をマッチングすることで仕事と子育ての両立を支援するファミリー・サポート・センター事業等を実施しました。

(2) ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組

男性の育児参加や地域活動への参加に関する啓発・推進を目的としたイベント「こうベイクメンの日」などを実施しました。また、子育てしながら働きやすい環境づくりのために「イクボス養成プロジェクト」等を実施しました。

4. 教育環境の充実

「教育環境の充実」では、神戸の教育に関する総合的な中期計画である「第2期神戸市教育振興基本計画」（平成 26～30 年度）に基づいて施策を推進しました。

(1) 確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成

学ぶ力・生きる力向上支援員の配置や学習支援ツールの活用等により「個に応じた指導の推進」を図るとともに、「授業の内容・質の向上」、「学校のチーム力の向上」に取り組みました。また、「読書活動の推進」に向け学校司書の配置拡充、「英語教育の推進」としてALT（外国人英語指導助手）の重点的な配置、「防災教育」や「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」を活用した体力アップ事業などを行いました。

(2) 特別支援教育の充実

一人一人の発達に応じた特別支援学校での自立に向けた取り組みや関係機関との連携など、幼児・児童生徒への一層の支援を行いました。

(3) 幼児教育の充実

質の高い幼児期教育の提供や小学校へスムーズに繋げていくため、公開保育・授業や実践研究発表を行うなど私立及び公立の幼稚園・保育所等と小学校の連携を図り、全ての幼児を対象として幼児教育の環境向上に向けた取り組み等を行いました。

(4) 安全・安心な学校づくりに向けた環境整備

学校園施設の老朽改修や、トイレの洋式化、空調の整備、防犯・防災体制の整備など、子どもたちが安全に安心して快適な学校園生活を送ることが出来るようハードとソフトの両面から環境整備等に取り組みました。

5. 特に支援が必要な子ども・家庭への対応

(1) 児童虐待防止対策の充実

児童虐待等の相談により迅速に対応するため、こども家庭センターの職員体制を強化するとともに、児童相談システムを導入し、情報の共有化・一元化を図り、より効率的な支援を実施しました。さらに、広く市民の関心を高めるために、児童虐待防止月間（11月）のオレンジリボンキャンペーンを中心に、年間を通じた啓発に努めました。

(2) 障がい児施策の充実

身近な地域での障がい児療育を支援するため、療育体制の再構築として、平成30年4月に東部療育センターを開設しました。また、市内3か所の療育センターに共通の電子カルテシステムを導入し、相談診療業務の効率化を図りました。

(3) 貧困の連鎖防止に向けた施策の充実

生活の安定のための支援として、養育費確保のための法律相談を実施しました。また、将来の自立につながる学力育成支援として、全小・中・義務教育学校に配置している学ぶ力・生きる力向上支援員を小・中学校45校に追加配置しました。

(4) ひとり親家庭等への支援の充実

ひとり親家庭等の生活の安定のために、児童扶養手当の全部支給の所得制限を年収130万円から160万円に引き上げたほか、ひとり親家庭の相談窓口や支援施策を紹介した「ひとり親家庭のための応援ハンドブック」を送付する等、広報強化に努めました。また、ひとり親の家庭の自立に向けて、就職に有利な資格取得支援事業の実施や看護師等の資格の取得するための養成機関に通う場合に支援等を行いました。

(5) 社会的養護体制の充実

特に配慮が必要な一時保護委託児童の処遇向上を図るため、乳児院の職員体制を強化するとともに、未委託の登録里親に対し、養育技術向上を図るためのトレーニングを実施することで養育の質を確保し、里親委託率の向上を図りました。

5 神戸市子ども・子育て支援事業計画 地域子ども・子育て支援事業の実績(平成30年度)

		平成30年度		計画値との差	
		量の見込み	確保方策		
1	保育サービスコーディネーター	計画値	11箇所	11箇所	
		実績値	12箇所	12箇所	
2	延長保育	計画値	6,170人	6,170人	計画は一律に「18時以降」の保育の利用希望に基づき算出。新制度(保育標準時間(11時間)・保育短時間(8時間))移行により延長保育ニーズが変化している。
		実績値	3,494人	3,494人	
3	放課後児童健全育成事業	計画値	12,917人	12,406人	計画は一部の学年の保護者の利用希望をもとに算出。計画上の利用ニーズが過少に算出されている。学童保育に待機はなく需要に対する提供体制は確保している。
		実績値	14,288人	14,288人	
4	子育てリフレッシュステイ	シヨートステイ 計画値	5,068日	5,068日	計画は平成23～25年度の利用実績の3ヵ年平均値により算出。新制度移行により他の一時預かり事業が充実する一方施設定員の空きがなく利用できないケースが見受けられた。
		実績値	2,305日	2,305日	
	デイサービス 計画値	6,112日	6,112日		
	実績値	2,309日	2,309日		
5	新生児訪問事業	計画値	9,887件	160人	
		実績値	10,152件	161人	
6	(1)保健師による相談・指導	計画値	1,874回	58人	
		実績値	2,377回	59人	
	(2)産後ホームヘルプサービス事業	計画値	2,660回	10事業所	
		実績値	1,902回	13事業所	
	(3)養育支援ヘルパー派遣事業	計画値	140回	10事業所	
		実績値	95回	13事業所	
7	地域子育て支援拠点事業	計画値	69,516人	134箇所	
		実績値	-	141箇所	
8	(1)一時預かり事業(幼稚園型)	計画値	673,262人	673,262人	計画は、児童数の減少に伴い、利用ニーズの減少を見込んでいたが、新制度への移行に伴い、認定こども園(1号)や幼稚園での預かり保育の需要が増加している。 なお、在園児を対象としているため、需要に対する提供体制は確保できている。
		実績値	869,311人	869,311人	
	(2)一時預かり事業(幼稚園型除く)	計画値	155,634人	129,066人	
		実績値	67,066人	67,066人	
9	病児保育	計画値	23,445人	22,445人	計画上の「量の見込み」には潜在的ニーズも含まれているが、実際は必要な場合のみ一時的に利用するサービスであるため、実際の利用人数とは乖離が生じる。
		実績値	13,045人	13,045人	
10	ファミリー・サポート・センター事業	計画値	890件	725件	実際の利用人数が計画値よりも低く、さらなる認知度の向上・協力会員の増加が必要である。
		実績値	227件	227件	
11	妊婦健康診査事業	計画値	11,516人	-	
		実績値	11,429人	-	